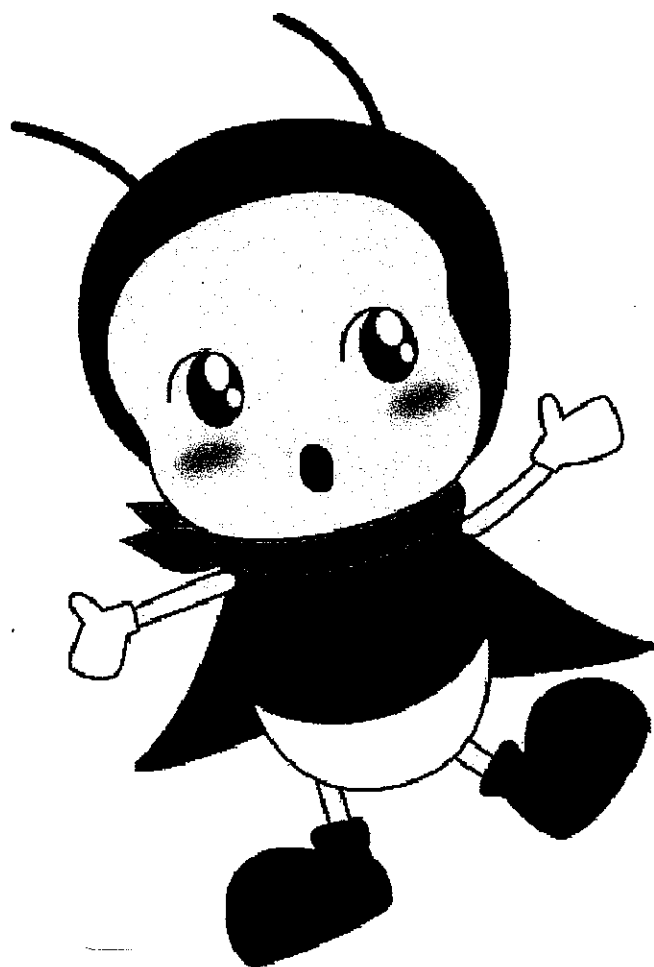


平成24年度

上田市上下水道事業年鑑



上田市上下水道局

# 目 次

## 上下水道局の概要

1 経営戦略	
(1) 上田市上水道ビジョン	3
(2) 上田市下水道ビジョン	5
(3) 平成 23 年度の重点目標とその実績	7
(4) 平成 24 年度の重点目標	11
(5) 組織	15
2 事業の状況	
(1) 事業計画及び事業区域	20
(2) 料金及び使用料等の状況	24

## 水道事業編

1 事業の概要	
(1) 事業の沿革	29
(2) 事業のあゆみ	30
(3) 事業計画	34
2 財政の状況	
(1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移	36
(2) 資本的収支及び補てん財源の推移	37
(3) 財務諸表の推移	38
(4) 資金の推移	42
(5) 費用構成の推移	43
(6) 固定資産の推移	44
(7) 企業債残高の推移	45
(8) 繰入金の推移	45

(9) 経営分析	46
----------	----

### 3 業務の状況

(1) 業務量	48
(2) 給水人口の推移	48
(3) 水道料金のちがい	49
(4) 加入金の状況	49
(5) 収納状況の推移	50
(6) 水道料金の納付方法の推移	50
(7) 口径別有収水量・調定件数・調定額	51
(8) 用途別有収水量・調定件数・調定額	52
(9) 公衆浴場組合補助金の状況	52
(10) 県営水道料金差額補助金の状況	52

### 4 施設の現況

(1) 水源（水利権等の許可状況）	54
(2) 取水施設	55
(3) 浄水施設	56
(4) 配水池・ポンプ施設	58
(5) 管路延長等の状況	60
(6) 配水量の推移	63
(7) 平成23年度の水質	64
(8) 電力使用量の推移	67
(9) 薬品使用量の推移	68

## 公共下水道事業編

### 1 事業の概要

(1) 事業の沿革	73
(2) 事業のあゆみ	73
(3) 事業計画	80

### 2 財政の状況

(1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移	83
------------------------	----

(2)	資本的収支及び補てん財源の推移	84
(3)	財務諸表の推移	85
(4)	資金の推移	88
(5)	費用構成の推移	89
(6)	固定資産の推移	90
(7)	企業債残高の推移	91
(8)	繰入金の推移	91
(9)	経営分析	92
3	業務の状況	
(1)	業務量	95
(2)	水洗化人口の推移	96
(3)	処理可能面積の推移	96
(4)	受益者負担金・分担金の状況	97
(5)	収納状況の推移	97
(6)	下水道使用料の納付方法	97
(7)	下水道排水設備資金融資利子補給制度	98
4	施設の状況	
(1)	処理場の状況	99
(2)	ポンプ場の状況	108
(3)	管渠延長等の状況	110
(4)	処理水量の推移	121
(5)	水質検査結果	122
(6)	電力（動力）使用量の推移	124
(7)	薬品使用量の推移	125

## 農業集落排水事業編

1	事業の概要	
(1)	事業の沿革	129
(2)	事業のあゆみ	129
(3)	事業計画	134

2	財政の状況	
(1)	収益的収支及び損益勘定留保資金の推移	137
(2)	資本的収支及び補てん財源の推移	138
(3)	財務諸表の推移	139
(4)	資金の推移	142
(5)	費用構成の推移	143
(6)	固定資産の推移	144
(7)	企業債残高の推移	145
(8)	繰入金の推移	145
(9)	経営分析	146
3	業務の状況	
(1)	業務量	148
(2)	水洗化人口の推移	149
(3)	加入金の状況	150
(4)	収納状況の推移	150
(5)	農集排使用料の納付方法	150
4	農業集落排水施設の状況	
(1)	処理場の状況	151
(2)	管渠延長等の状況	152
(3)	処理水量の推移	154
(4)	電力(動力)量の推移	155

## 付録

1	長野県内の上下水道料金比較	
(1)	県内19市等上下水道料金一覧表	161
(2)	長野県内の水道使用量別料金比較	162
(3)	長野県内の公共下水道使用量別使用料比較	164
(4)	長野県内の農業集落排水使用量別使用料比較	166

## 2 県内上下水道事業体の経営の状況

(1) 水道事業	168
(2) 公共下水道事業	170
(3) 農業集落排水事業	172

## 3 上下水道指定工事店の状況

(1) 指定工事事業者の推移	174
(2) 指定工事事業者指定基準	174

# 上下水道局の概要





# 1 経営戦略

平成 21 年度から平成 30 年度を計画期間とする「上田市上水道ビジョン」及び「上田市下水道ビジョン」に則り、適正で計画的な経営を行っていきます。

## (1) 上田市上水道ビジョン

### ア 安全で安心なおいしい水の安定供給

#### (ア) 安心で良質な水源の確保

- ①菅平、四阿湧水群、武石地域湧水の有効活用、②湧水水源の水質監視強化、③クリプト対策施設の検討、水源の森や河川清掃の実施

#### (イ) 安全でおいしい水の供給

- ①水質管理の徹底と水安全計画の策定、②浄水水質監視とおいしい水の管理、③貯水槽水道の管理指導

#### (ウ) 信頼される水道の構築

- ①導水、送水系統の相互融通、緊急連絡管の設置、②水質検査計画及び結果の公表、③送配水管路網の統合と配水ブロックの再編

### イ 災害に強い施設づくりの推進

#### (ア) 災害に備えた安定給水の確保

- ①耐震適合性の評価と計画的耐震化の実施、②施設の適正配置計画による自然流下配水区域の拡大、③隣接水道事業者との緊急連絡管、二系統受水によるバックアップ管路の計画

#### (イ) 迅速な応急対策と復旧

- ①配水ブロック再構築による減断水の即時復旧体制、②給水拠点への応急給水設備の設置、③危機管理マニュアルの整備、防災訓練の実施

#### (ウ) 老朽施設の計画的更新

- ①鉛製管、石綿セメント管早期解消のための布設替え計画の策定、②施設の機能評価に基づく更新計画、財政計画の策定、③アセットマネジメントの導入による維持補修計画の策定

## ウ 安定した経営基盤の確立

### (ア) 企業マインドによる健全経営

- ①企業経営の認識を高め、収入増と経費削減の取組、
- ②IT化による効率的組織機構への改革、
- ③水道事業ガイドラインの業務指標による事業管理の推進

### (イ) 業務体制の強化と効率化

- ①4 地域の水源、浄水場、送配水施設監視システムの一元化、
- ②上水道、簡易水道事業の統合と管路情報システムの構築、
- ③水運用支援、管路網解析分析支援、保全管理システムの導入

### (ウ) 親しみある開かれた水道

- ①利用者ニーズに合った窓口サービスの充実、
- ②収納サービスの多元化による収納率の向上、
- ③水質の安全、給水の安定、適正な費用負担についての総合施策、
- ④耐震化や改築更新等に必要の負担等についての情報提供

## エ 環境にやさしいエネルギー対策の貢献

### (ア) 省エネルギー対策

- ①施設の最適配置や水運用による消費電力、薬品等の節減、
- ②有収率改善事業、老朽管更新等によるエネルギー損失の低減

### (イ) エコプロジェクトの推進

- ①二酸化炭素軽減のため、太陽光発電施設の導入、
- ②ISO14100の継続実施によるCO2の削減

### (ウ) 資源の循環、地域への還元

- ①浄水汚泥の減量と建設廃材のリサイクル、
- ②浄水汚泥の100%有効活用（緑地、農地利用）の推進

(2) 上田市下水道ビジョン

ア 安定した経営基盤の確立

(ア) 経営の健全化

- ①未接続の解消や収納率の向上、使用料水準の適正化などによる経営基盤強化、
- ②管理の効率化による管理費節減、多様な業務指標や経営手法による経営効率化、
- ③事業の継続性を確保するための事業平準化等を考慮した中長期計画の策定

(イ) 業務体制の強化と効率化

- ①施設の維持管理に関する計画策定及び組織の強化・効率化、
- ②施設の適正な維持管理のための下水道管理者の専門的知識及び技術力の確保、
- ③民間活力による維持管理業務の研究、導入

(ウ) 親しみある開かれた下水道

- ①広報誌の発行、上下水道審議会の開催による情報開示、
- ②イベントの開催や各種計画、実績の公表などによる啓発・情報公開、
- ③アンケート調査や地域関係者との協働、連携による情報交換

イ 資源を活かした地球にやさしいまちづくりに貢献

(ア) 地球温暖化対策の推進

- ①費用対効果の検討を行った上で、省エネルギー対策推進、新エネルギー導入研究、
- ②下水汚泥処理過程で発生する消化ガスの有効利用、
- ③下水汚泥処理過程で発生する一酸化二窒素の削減

(イ) 資源の有効利用

- ①消化ガスの有効利用による「エネルギー自立率」の向上、
- ②下水汚泥や農業集落排水汚泥の肥料化についての調査研究、
- ③地域のニーズや特性を踏まえて「資源の有効利用計画」について調査研究

(ウ) 環境保全の取組の推進

- ①環境負荷低減のため、「エコオフィスうえだ」や「上田市下水道施設地球温暖化防止実行計画」に則った取組を推進、
- ②出前講座、広報、ホームページを利用した環境保全活動の推進、
- ③PDCA サイクルの考え方に基づいた環境保全推進体制の構築と充実

ウ 人と地球にやさしい、持続可能な水環境を創る

(ア) 快適で衛生的な生活環境を創る

- ① 汚水処理未普及箇所の解消を図るため、下水道整備を推進、
- ② 下水道使用可能区域での未接続解消、
- ③ 出前講座、施設見学会などによる下水道のイメージアップ

(イ) 地球にやさしい水を創る

- ① 処理場の水質管理体制を強化、
- ② 事業場排水指導業務の強化により下水道施設の損傷及び処理機能への影響を防止、
- ③ 汚水処理における注入薬剤等の適正使用・管理

(ウ) 持続可能な下水道を創る

- ① 人口減少を踏まえた水需要予測に基づく、処理区域、処理方法及び施設規模の適正化計画の策定と見直し、
- ② 経営の一体化、同種あるいは類似施設の維持管理の共同化を推進、
- ③ 汚水処理施設の広域化、共同化の検討

エ 安全で安心な生活快適都市うえだを支えるために

(ア) 災害に強い施設の構築

- ① 段階的・計画的な地震対策計画の策定及び重要施設の緊急的な地震対策の実施、
- ② 老朽化などによる破損から生じる路面陥没事故の発生予防、
- ③ 雨水時浸入水を減らす対策により、処理場負荷の低減と健全な処理場経営を図る

(イ) 下水道施設の長寿命化と再構築

- ① 下水道台帳システムの構築による資産管理と維持管理の一元化、
- ② 施設・設備の長寿命化や適切な維持管理を考慮したストックマネジメント、
- ③ 日常的な維持管理、予防保全の適切な計画及び体制の整備、強化

(ウ) 危機管理体制の充実

- ① 「情報収集、連絡」から「ライフライン機能を最低限確保するための応急対策」に至る迅速な対応と体制を強化、
- ② 予期せぬ事態が発生した場合でも業務を遂行できるようにするための計画策定、
- ③ 様々な事態を想定したマニュアルの整備及び教育・訓練の実施

# 上下水道局

## 重点目標

- |   |                                |
|---|--------------------------------|
| 1 | 災害に備えた施設づくりと危機管理マニュアルの見直し      |
| 2 | 経営効率化の推進                       |
| 3 | 上下水道事業と簡易水道事業の統合、安全でおいしい水の安定供給 |
| 4 | 快適で持続可能な水環境の創造と資源の地域循環の推進      |
| 5 | 塩田、川西地区の県営水道の統合推進              |

重点目標		災害に備えた施設づくりと危機管理マニュアルの見直し		上下水道局 優先順位1位	
目標の内容			目標の進捗状況(進捗度)・達成状況(達成度)		
設定理由	<p>○現在の状況や抱える課題</p> <p>上下水道は、ガス、電気と並び市民の安全で清潔かつ快適な生活環境の確保のために必要不可欠なライフラインであり、一日たりとも休むことのできない重要な施設です。</p> <p>しかしながら、近年、阪神淡路大震災を始めとして大規模地震が各地で発生し、とりわけ3月11日に発生した東日本大震災は未曾有の大災害となり、ライフラインも壊滅的な被害を受けました。</p> <p>このように、いつ、どこで大規模地震などの災害が発生するかわからない状況下においては、施設の耐震化や緊急対応マニュアルの見直しなどを行い、大規模災害に対応した最低限のライフライン機能の確保と迅速な復旧活動を考える必要があります。</p>		<p>1 災害に備えた施設づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>老朽配水管の敷設替工事を上田0.4km、真田0.3km発注しました。</li> <li>耐震配水管の布設工事を上田1.0km、真田0.4km発注しました。</li> <li>災害時の給水設備(給水車、給水タンク)は発注しました。</li> </ul> <p>2 危機管理マニュアルの見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水道管路事故対応、長時間停電対応、下水道緊急対応についてマニュアル化を進めています。</li> </ul>		
	具体的な取組項目及び方法	<p>(なにを、いつまでに、どのように、どの水準まで)</p> <p>1 災害に備えた施設づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>浄水場などの基幹上水道施設3か所の耐震診断を行います。</li> <li>浄水施設集中監視システムの更新を実施し、監視体制を強化します。</li> <li>老朽給水管の敷設替えをし、耐震化を進めます。上田0.4km、丸子0.5km、真田0.3km</li> <li>耐震給水管の布設を行います。上田1.6km、丸子1.0km、真田0.5km</li> <li>災害時の給水設備を充実します。</li> </ul> <p>2 危機管理マニュアルの見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水質事故マニュアルの策定に続き、上水道の危機管理マニュアルの見直しを進めます。</li> <li>豪雨、台風時における対応</li> <li>長時間停電への対応</li> <li>基幹管路の破裂への対応</li> <li>震災、火災の対応</li> <li>下水道緊急対応マニュアルの見直しを行います。</li> <li>大災害時のライフラインとしての最低限の機能確保に向けた応急対策</li> <li>大雨や台風等の風水害及び地震時における下水道管渠及び下水処理場の被災に対する初動対応、応急対策</li> <li>大規模災害における支援体制、被災調査等緊急対応の見直しを行います。</li> </ul> <p>○市民満足度の向上を考慮した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>迅速な災害復旧対策により市民生活を確保します。</li> <li>安全で安心なまちづくりが推進されます。</li> </ul>		<p>1 災害に備えた施設づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上水道施設の耐震化計画の見直しを行い、改めて24年度から施設の耐震診断に着手することとしました。</li> <li>上田・真田地区と丸子・武石地区についての監視システムの統合整備を実施し、より速やかな対応ができるようにしました。</li> <li>老朽配水管の布設については、上田で0.4km、丸子で0.6km、真田で0.3km行いました。</li> <li>耐震配水管の布設については、上田で1.1km、丸子で0.6km、真田で0.4km行いました。</li> <li>加圧給水車(1.7t)を1台、給水タンク(5t)を3基購入しました。</li> </ul> <p>2 危機管理マニュアルの見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>厚生労働省のマニュアル策定指針を参考に上水道危機管理マニュアルの原案を作成しましたが、マニュアルの実効性をより高めるため、上田市の実情に応じた内容の精査を行っています。</li> </ul> <p>○市民満足度の向上が図られたと思われる点</p>	
中間報告				期末報告	

重点目標		経営効率化の推進		上下水道局 優先順位2位	
目標の内容			目標の進捗状況(進捗度)・達成状況(達成度)		
設定理由	<p>○現在の状況や抱える課題</p> <p>新市発足後の課題でありました水道料金・下水道使用料の改定、下水道の管渠整備につきましては、局の重点目標として取り組んで参りました結果、料金・使用料の改定は平成23年度で完了し、管渠整備も順次完了する見込みとなっております。</p> <p>今後につきましては、10年間の財政推計を念頭に置き、料金・使用料の確実な収入を図るとともに、経営の効率化、計画的な施設設備の維持管理及び更新により、引き続き安定した経営基盤の確保に努め、「上田市水道ビジョン」、「上田市下水道ビジョン」に掲げる施策を推進していくことが課題となっております。</p>		<p>1 健全な公営企業会計の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上下水道料金の9月末における現年度分収納率は前年度同期比0.22ポイント減ですが、滞納繰越分は重点的な対応により、1.99ポイント増となっております。</li> <li>口座振替利用率は0.17ポイント減となっております。現在、口座の資金不足により振替不納にはなるが、督促状等ではきちんと納付していただいているケースがあるので、今後の支払い方法の確認作業を進めています。</li> <li>判明した下水道使用料未請求分について、23,234千円のうち、10,255千円を納入していただきました。また、現地調査を進め、折衝を行っています。</li> <li>未請求防止のため、下水道使用開始届の入力作業等について、複数のチェックを行う体制にしました。</li> </ul>		
	具体的な取組項目及び方法	<p>(なにを、いつまでに、どのように、どの水準まで)</p> <p>1 健全な公営企業会計の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度に作成した現在の料金水準による長期的な財政推計を、22年度決算数値に基づきさらに見直し、今後の建設改良事業費の上限等を見極めるとともに、維持管理費の圧縮を図り、水道事業と公共下水道事業の収支は純利益確保を、農業集落排水事業は純損失の縮小を目指します。</li> <li>各所管において「事業見直しシート」を作成し、予算に反映します。</li> <li>現年度収納率について、99%台を確保します。</li> <li>口座振替を推進し、口座振替利用率85%を確保します。</li> <li>下水道使用料の請求漏れの対応を行うとともに、下水道接続状況についての現地調査を行います。</li> <li>下水道受益者負担金・分担金の未納解消を図ります。</li> </ul> <p>2 経営の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>料金徴収業務の一層の効率化を図るため、上下水道料金等徴収事業の包括的な委託を行うための調査・検討等を行います。</li> </ul> <p>3 下水道長寿命化計画の策定及び下水道全体計画の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道の7処理場の長寿命化計画を策定し、平成24年度末完了を目指します。</li> <li>下水道基本構想と下水道全体計画の見直しを今年度末までに策定します。</li> </ul> <p>○市民満足度の向上を考慮した点</p>		<p>2 経営の健全化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上下水道料金等徴収事業の包括的な委託を行うため、先行実施市(松本市、東御市)の状況調査を行いました。引き続き他事例も調査してまいります。併せて当市の現状業務内容の調査も進めています。</li> </ul> <p>3 下水道長寿命化計画の策定及び下水道全体計画の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長寿命化計画策定に伴う管路・ポンプ場・処理場の施設調査を現在行っています。また、下水道基本構想と下水道全体計画の見直しについては、長寿命化計画との整合を図りながら作業を進めています。</li> </ul>	
中間報告				期末報告	
設定理由			<p>1 健全な公営企業会計の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業見直しシートの作成については、財政推計と整合のとれた事業実施計画の策定を行うことに転換しました。</li> <li>上下水道料金の現年度分収納率99%を達成しました。</li> <li>口座振替利用率は84%にとどまりましたが、口座の資金不足により振替不納にはなるが、督促状等ではきちんと納付していただいているケースについて、振替手数料も考慮し、支払方法の変更を行ったことによるものです。</li> <li>判明した下水道使用料未請求分について、23,234千円のうち、11,400千円を納入していただきました。</li> </ul> <p>2 経営の健全化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上下水道料金等徴収事業の包括的な委託を行うため、先行実施市(長野市、松本市、東御市)の状況調査及び分析を行いました。併せて当市の現状業務内容の調査も進めました。</li> </ul> <p>3 下水道長寿命化計画の策定及び下水道全体計画の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長寿命化計画については、施設調査を終了し、そのデータを整理中です。</li> <li>下水道基本構想における将来人口予想及び、計画汚水量の算定を行いました。</li> <li>全体計画については、基本構想を基に長寿命化計画と整合を図りながら全体計画対象施設等の策定を進めています。</li> </ul> <p>○市民満足度の向上が図られたと思われる点</p>		

平成23年度 重点目標管理シート

重点目標	上水道事業と簡易水道事業の統合、安全でおいしい水の安定供給	上下水道局 優先順位3位
<p>目標の内容</p> <p>○現在の状況や抱える課題</p> <p>将来にわたり安心しておいしい水を飲んでいただくために、上下水道局の施設整備計画等を定めた水道ビジョンに基づき、28ヶ所ある水源の統合や改良、新水源の開発、また、給水区域の見直しや3上水道と12の簡易水道の適切な運用と経営を進め、費用のかからないおいしい水をできるだけ多く供給すること、及び老朽化が進んだ施設の計画的更新と耐震化を行い、蓄えた技術を広げ継承し、安全で安心して飲めるおいしい水を安定供給することが目標です。</p>		<p>目標の進捗状況（進捗度）・達成状況（達成度）</p> <p>1 簡易水道の統合                      ・菅平上水道と真田簡易水道を統合するため、簡易水道統合整備事業の認可、送水管路新設に向けて地元協議中です。</p> <p>2 安全安心おいしい水の安定供給                      ・監視体制を強化し、水質管理の強化に向けて検討を進めています。                      ・残留塩素等について、適正な管理を継続しています。                      ・福島原子力発電所の事故を踏まえ、浄水場の元出水の放射性物質の検査を毎月実施することとしました。                      ・給水区域の見直しとバックアップ体制を整備は未実施です。                      ・真田地域・武石地域の「湧き水源」の改良について5箇所発注済みです。                      ・鉛給水管の布設替えを95戸施工済、437戸実施中です。</p>
<p>設定理由</p>	<p>(なにを、いつまでに、どのように、どの水準まで)</p> <p>1 簡易水道の統合                      ・菅平上水道と真田簡易水道を統合するため、簡易水道統合整備事業の認可、送水管路新設に向けて地元協議を行います。</p> <p>2 安全安心おいしい水の安定供給                      ・上水道集中監視システムの統合に伴う管理体制の見直しを進めます。                      ・水質管理体制の強化及び整備を進めます。                      ・給水区域の見直しとバックアップ体制を整備します。                      ・真田地域・武石地域の「湧き水源」の改良を行い水質を確保します。                      ・残留塩素、トリハロメタンの適正な管理を行います。                      ・鉛給水管の布設替えを684戸実施します。</p> <p>○市民満足度の向上を考慮した点                      ・おいしい山の水を里へ供給できます。                      ・安全・安心な水の安定供給が図れます。                      ・浄水場を必要としない湧水の活用により、災害時等、緊急事態の対策が迅速に図れます。</p>	<p>中間報告</p> <p>1 簡易水道の統合                      ・菅平上水道と真田簡易水道を統合するため、簡易水道統合整備事業の認可、送水管路新設に向けて地元協議を継続しています。</p> <p>2 安全安心おいしい水の安定供給                      ・三島平配水池への流入水の濁度計及び止水弁の設置などを行い、流入湧き水源で降雨時に濁ることのある水源の監視体制を強化しました。                      ・湧き水源の水質の状況に基づく水質検査として、水質管理の強化を図りました。                      ・残留塩素等について、適正な管理を継続しています。                      ・福島原子力発電所の事故を踏まえ、浄水場の元出水の放射性物質の毎月の検査及び各湧き水源の放射性物質の検査を実施しましたが、いずれも放射性物質は検出されませんでした。                      ・鉛給水管の布設替えを612戸実施しました。</p> <p>○市民満足度の向上が図られたと思われる点</p>
<p>具体的な取組項目及び方法</p>	<p>○市民満足度の向上を考慮した点                      ・おいしい山の水を里へ供給できます。                      ・安全・安心な水の安定供給が図れます。                      ・浄水場を必要としない湧水の活用により、災害時等、緊急事態の対策が迅速に図れます。</p>	<p>期末報告</p>

平成23年度 重点目標管理シート

重点目標	快適で持続可能な水環境の創造と資源の地域循環の推進	上下水道局 優先順位4位
<p>目標の内容</p> <p>○現在の状況や抱える課題</p> <p>下水道管渠整備につきましては、現在、平成25年度完了を目指して進めておりますが、これに応じて、下水処理場等の施設につきましても、増設あるいは老朽化に伴う更新を計画的に進めております。                      また、次世代への新たな生活排水について、上田市の下水道基本構想と下水道全体計画の見直しを今年度行い、平成24年度に事業認可変更及び都市計画変更決定を行う必要があります。                      さらに、環境保全や資源の地域循環についても推進し、そのための取組について市民の理解が深まるよう、情報発信にも配慮していく必要があります。</p>		<p>目標の進捗状況（進捗度）・達成状況（達成度）</p> <p>1 未整備地区の早期完成及び水洗化の促進                      ・管渠整備については、上田地域はL=6.0km、丸子地域はL=3.4kmを発注し、今年度目標の88%に達しました。普及率については、約96.3%になっています。</p> <p>2 下水処理場の増設及び更新                      ・西内処理場の更新工事、上田処理場・南部処理場の汚泥処理施設の増設工事については、施設規模の見直しを最新データで行い発注作業を進めています。</p> <p>3 資源の地域循環                      ・福島原子力発電所の事故後は、放射性物質の測定結果に基づき、国の指導に従い対応しています。                      ・浄水場発生土については、放射性物質が検出されたものについては保管し、不検出のものについては、改良土として再生していきます。                      ・清浄園の焼成肥料（サラ・さらさ）については、放射性物質が焼成肥料の基準値を上回っているため肥料の販売を中止しています。                      ・水道週間に合わせて、6月5日に染塵浄水場見学会を開催したところ、100人の来場がありました。また、同月に局広報誌を発行し、全戸配布しました。                      ・10月15日開催の「うたが環境フェア」に「水環境の中で・水を飲むこと、使うこと」をテーマに出展しました。</p>
<p>設定理由</p>	<p>(なにを、いつまでに、どのように、どの水準まで)</p> <p>1 未整備地区の早期完成及び水洗化の促進                      ・管渠整備を実施し、年度末普及率を97.6%にします。                      上田地域6.8km、丸子地域3.8km                      ・水洗化促進のため、年度末水洗化率88%達成を目標に、新規接続戸数が925戸となるよう、戸別訪問などに取り組みます。</p> <p>2 下水処理場の増設及び更新                      ・西内処理場の施設更新工事を平成24年度末完成目標で、発注します。                      ・上田処理場の汚泥処理施設の濃縮設備の増設を平成24年度完成目標で、発注します。                      ・南部処理場の汚泥棟の増設工事を今年度末までに完成させ、汚泥機械電気設備は平成24年度完成目標で発注します。</p> <p>3 資源の地域循環                      ・浄水場堆積物を、再生土等として地域循環を推進します。                      ・平成22年度に実施した新エネルギーの実証調査をもとに検討を進めます。                      ・清浄園で製造している農業集落排水汚泥を含む焼成肥料（サラ・さらさ）の利用促進を図ります。                      ・「あかりちゃん」を、環境保全及び資源の地域循環推進のシンボルとし、年2回発行する広報誌、水道週間に開催する染塵浄水場の一般開放、環境フェアなどの上下水道のPRイベントで活用していきます。</p> <p>○市民満足度の向上を考慮した点                      ・水洗化率の向上により、河川等の公共用水域の水質改善が図られます。                      ・下水道未普及地域の解消が図られます。                      ・資源の有効活用及び地域循環が図られます。</p>	<p>中間報告</p> <p>1 未整備地区の早期完成及び水洗化の促進                      ・管渠整備については、上田地域で5.6km完成し1.4km発注済、丸子地域で3.4km完成し0.4km発注済みであり、普及率は96.7%に達しました。                      ・新規接続戸数は、1,540戸であり、水洗化率は88.9%に達しました。</p> <p>2 下水処理場の増設及び更新                      ・西内処理場の更新工事、上田処理場・南部処理場の汚泥処理施設の増設工事については、発注を完了しました。</p> <p>3 資源の地域循環                      ・浄水場発生土については、放射性物質の測定結果に基づき国の指導に基づき対応しました。改良土として再生された量は、610.7㎡です。                      ・農業集落排水汚泥については、焼成肥料の製造、販売が中止されていることから当面、一般廃棄物として処分していくこととします。</p> <p>○市民満足度の向上が図られたと思われる点</p>
<p>具体的な取組項目及び方法</p>	<p>○市民満足度の向上を考慮した点                      ・水洗化率の向上により、河川等の公共用水域の水質改善が図られます。                      ・下水道未普及地域の解消が図られます。                      ・資源の有効活用及び地域循環が図られます。</p>	<p>期末報告</p>

重点目標	塩田、川西地区の県営水道の統合推進	上下水道局 優先順位 5位
目標の内容		目標の進捗状況（進捗度）・達成状況（達成度）
設定理由	<p>○現在の状況や抱える課題</p> <p>平成21年4月、県営水道事業の給水エリア内の各市町長、水道事業管理者・部局長、県企業局長及び水道管理事務所長をもって構成する「県営水道事業移管検討会」が、さらにこの検討会に専門的事項を調査研究するための「作業部会」（県営水道エリア内の各市町及び県企業局の水道事業担当者により構成）が設置されました。また、平成21年5月に、上田市においては上下水道局内に「県営水道統合検討プロジェクトチーム」を設置しました。</p> <p>県営水道分割統合の検討会では、上田市にある「諏訪形浄水場」は廃止し、県営水道の上田地域（塩田・川西地区）と坂城町は築屋浄水場からの給水が可能、また、長野市にある「四ツ屋水源」からは長野市と千曲市への給水は可能としましたが、千曲市と坂城町においては独自の水源確保の要望があることから、昨年度（H22年度）は、県企業局において井戸水の電気探査を実施し、平成23年度は井戸の試掘を実施する計画です。</p> <p>今後、水源が確保されても多くの技術的課題やコストも検討する必要がありますが、上田市上下水道局としましては、同じ自治体の中に2つの水道事業者が並存し、サービスや料金等が違ふことは解決しなければならない大きな課題であることから、県営水道の各自治体への分割統合に向けて、1企業・4市町での検討をさらに推進する必要があると考えます。</p>	<p>中間報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 県営水道を分割移管するための検討                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・県企業局において千曲市、坂城町での井戸水源試掘の準備をしています。</li> </ul> </li> <li>2 上田地域の水道施設情報管理システムの構築                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・上田地域の工事施設台帳のデータ化は発注済みです。</li> </ul> </li> <li>3 送水計画の立案                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・県営水道区域への送水計画立案のため、水量・水圧等についての管路網解析の準備は未実施です。</li> </ul> </li> </ol>
	具体的な取組項目及び方法	<p>(なにを、いつまでに、どのように、どの水準まで)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 県営水道を分割移管するための検討                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・県企業局における千曲市、坂城町での井戸水源試掘結果を受けて分割するための方法が確定しますので、その後、初期投資費用、資産、負債等の分割方法を1企業、4市町において検討します。</li> </ul> </li> <li>2 上田地域の水道施設情報管理システムの構築                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き上田地域の工事施設台帳のデータ化を進めます。</li> </ul> </li> <li>3 送水計画の立案                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・県営水道区域への送水計画立案のため、水量・水圧等についての管路網解析の準備を進めます。</li> </ul> </li> </ol> <p>○市民満足度の向上を考慮した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道料金の統一化が図られ不公平感が無くなります。</li> <li>・上田市域全体の上下水道窓口が一本化され、利便性の向上に繋がります。</li> </ul>



# 上下水道局

## 重点目標

- |   |                               |
|---|-------------------------------|
| 1 | 災害に備えた施設・組織づくり                |
| 2 | 経営効率化の推進                      |
| 3 | 上水道事業と簡易水道事業の統合、安全でおいしい水の安定供給 |
| 4 | 快適で持続可能な水環境の創造と資源の地域循環の推進     |
| 5 | 塩田、川西地区の県営水道の統合推進             |

重点目標	災害に備えた施設・組織づくり	部局名	上下水道局	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する		市長マニフェスト における位置付け		
現況・課題	上下水道は、ガス、電気と並び市民の安全で清潔かつ快適な生活環境の確保のために必要不可欠なライフラインであり、一日たりとも休むことの出来ない重要な施設です。特に上下水道施設は現在も建設当時（大正8年）のものが残存していることから、計画的な更新が必要であり、昨年の東日本大震災や阪神淡路大震災を始めとする未曾有の大規模地震が発生していることから、施設の耐震化についても必要があります。また、いつ、どこで発生するかわからない大震災に発生し、ライフライン機能の確保と迅速な復旧活動を行うために、緊急対応マニュアルを見直しと併に、想定訓練の実施や技術力の向上により、緊急対応力を高める必要があります。				
目的・効果	上下水道施設の更新、耐震化を行うことにより、大規模災害はもちろんのこと、日常の管破漏などの緊急事故の減少が期待できます。緊急対応マニュアルの見直し、想定訓練の実施などによって、各事故事象に合った迅速な対応が出来るようにすることで、復旧時間の短縮が期待できます。				
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	○上下水道高幹路・管網耐震化 ①老朽高幹路の布設 ②管網の耐震化 ③浄水場施設の耐震診断	①年度末 ②年度末	①上田 L=1.1km ②上田 L=4.1km ③配水池2箇所、ろ過池1箇所 （うち高幹路 L=0.9km）	①L=0.7km発注済 ②L=1.9km発注済 ③耐震診断委託の発注準備中	
②	○下水道老朽管の管更生 優先度の高い緊急輸送路埋設管等から配水池までの老朽管（陶管）の管更生工事を実施する。	平成24年度末	L=0.7km	・11月発注に向けて設計準備中。	
③	○上下水道緊急連絡管整備 隠蔽～仮石間の連絡管整備	平成24年度末	L=0.4km	・8月6日発注済、現在施工中。進捗率10%	
④	○災害時に対応できる技術者育成 ①技術伝承研究会の実施 ②作業主任資格の取得（クレーン・玉掛）	①月1回実施 ②上半期 12月末	①課内研修会 ②1名 1名	①課内から局内全体に拡大し5月から毎月1回実施 ②9月までに1名取得 1名は10月に所得予定	
⑤	○緊急対応マニュアルの見直し	上半期	管網破漏、赤水、長時間停電対応マニュアルを見直し。	・管網破漏、長時間停電対応マニュアル検討中	
⑥	○想定訓練の実施 ①日常訓練（管破漏、無断給電等） ②災害時訓練（広範囲災害訓練・停電、給水停止等） ③防災訓練	①上半期 ②下半期 ③防災訓練日	①1回 ②1回 ③1回	①7月に実施した。 ②下半期のため未実施 ③10月21日実施予定	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点				

重点目標	経営効率化の推進	部局名	上下水道局	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する		市長マニフェスト における位置付け		
現況・課題	人口減少社会が到来し、地域経済活動も縮小していく中で、料金収入は減少傾向で推移していくことが想定されます。その一方で、老朽化していく施設、設備の更新のほか、耐震化などの災害に備えた施設づくりにも取り組む必要があります。そのため、的確な財政推計に基づいて計画的に事業を実施するほか、経営の効率化を推進していくことが課題となっています。				
目的・効果	事業実施計画の策定に伴い、財政推計の見直しも行うことで、社会経済情勢に応じた事業経営を行います。経営の効率化を推進し、上下水道料金の水準を抑制する中で経営の健全化を確保していきます。公共下水道施設の長寿命化計画を策定することにより、大規模な支出の抑制や支出の平準化を図り、健全な企業経営を行います。諸課題に適切に対応していくために技術力の継承及び向上を図ります。				
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	○事業実施計画の策定に伴う財政推計の見直し 上下水道事業の実施計画を策定し、それに伴い平成22年度に行った10年間の財政推計の見直しを行う。 同時に、実施計画の進捗管理方法を確立	年度内	建設改良及び維持管理費用の実施計画策定と財政推計との整合	・上下水道局事業計画及び財政方針策定し、10/4市政経営会議に諮った。	
②	○下水道処理場、管網の長寿命化計画策定	年度末	・健全度評価（5段階） ・優先順位の設定 （更新施設、処理場、管網） ・長寿命化計画書の作成	・7処理場、3ポンプ場の調査及び健全度評価完了。整備計画書策定準備中。 ・管きょL=16.4km調査完了。健全度評価及び整備計画書策定中。	
③	○収納率の向上 ①水道料金、下水道使用料 ②下水道負担金・分担金 ・現年度分収納率の向上 ・現年・滞納分収納率の向上	年度末	①現年度分収納率 99%台 ②下水道負担金・分担金 ・現年度分収納率 98%以上 ・現年・滞納分 45%以上	①9月末現在の料金等の現年度分収納率は前年を0.49ポイント下回ったが、滞納繰越分は0.54ポイント上回った。 ②9月末現在の分担金等の収納率は前年度が6.06ポイント、滞納繰越分が2.40ポイントそれぞれ前年を下回った。 早め早めの滞納状況チェックと、督促・催告を確実に実施し、収納率向上に努めている。	
④	○経営改革の取組み ①ホームページの検討 ②広域連携事業の拡大 ③料金等徴収業務の包括委託に向けた検討 ④水道関連受付業務の見直し ⑤施設の指定管理者化の検討	平成24年度中	①及び② ③及び④ 方針に決定 ⑤検討内容のまとめ	①及び②全庁的な委嘱検討中 ③料金等徴収業務の包括委託方針について、窓口業務の委託内容と受託範囲の検討をしている。 ④関係受付業務については、料金徴収業務包括委託の、業務内容検討の中で見直しをしていく。 ⑤浄水場の委託検討の一環として、先進市視察実施	
⑤	○技術力の継承及び向上 諸課題に対応していく基礎となる技術研修の計画的な実施	平成24年度中	32項目延べ43人	・15項目延べ23人受講	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点				

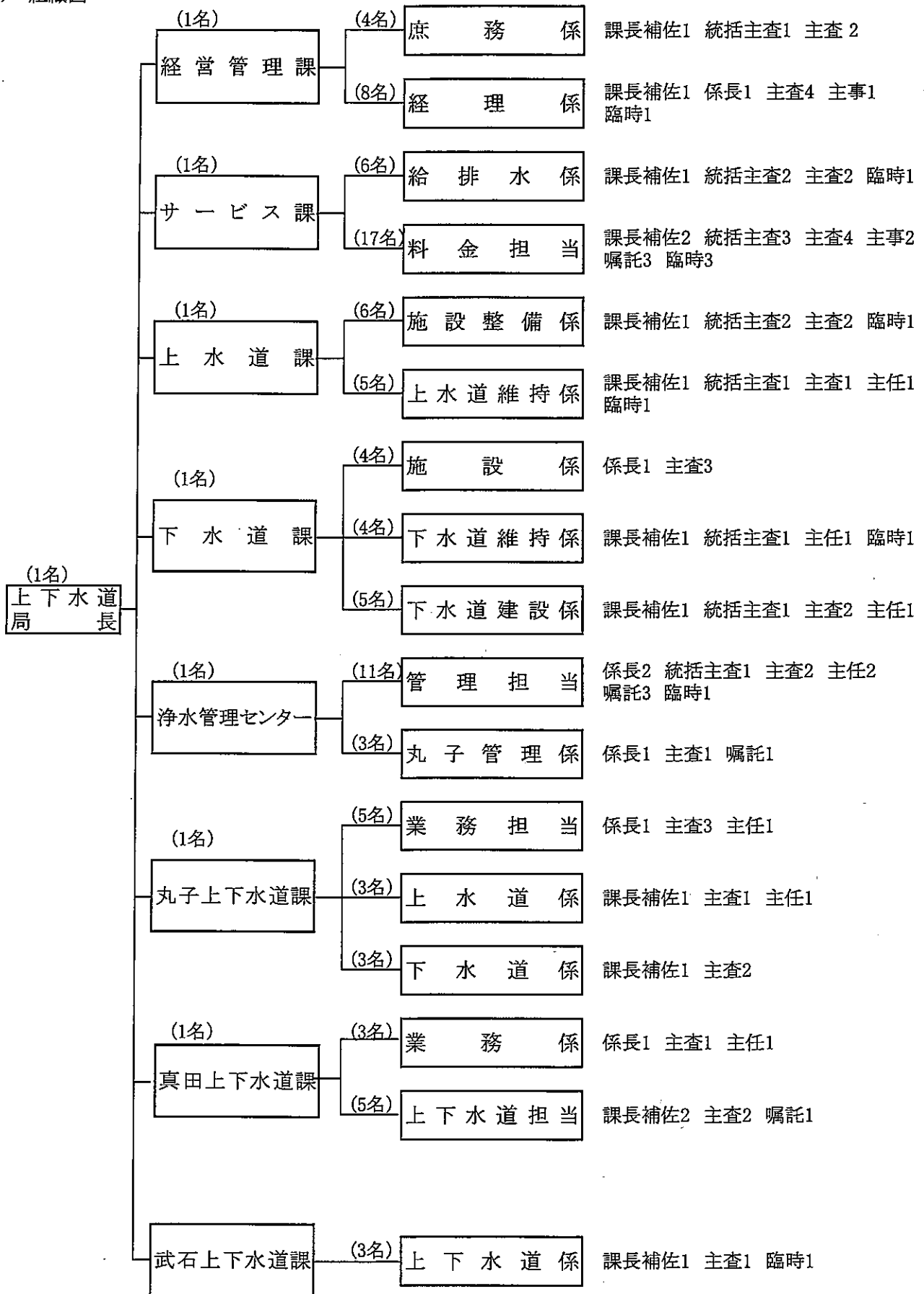
重点目標	上水道事業と簡易水道事業の統合、安全でおいしい水の安定供給		部局名	上下水道局	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			市長マニフェスト における位置付け		
状況・課題	上水道事業は、上水道3、簡易水道12の合計15事業で運営されていますが、これらの水源は河川の表流水、ダム水、地下水や湧水などで28箇所に入っています。この中で、簡易水道の湧水源の中には、降雨時における水質が不安定となるものがあり、安全な水の供給について特に注意していく必要があります。一方で、真田地区には水質が安定し、水量も豊富な湧水があることから、簡易水道の統合に当たり、この湧水の活用を検討しています。また、近年、水道水の安全性、さらには「おいしい」水への要求が高まっており、東日本大震災以降は放射能の影響についても監視していく必要が生じています。					
目的・効果	湧水水源の改修・改良を行うと併し、水質検査を充実することにより、安全な水の供給を維持していきます。安定した湧水の活用を行うことにより、現在よりも効率的に安全でおいしい水を安定供給することができるようになります。					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○水道改修・改良 地表水の流入を防ぐ工事の施工	年度末	湧水水源、検視水源	・表流水の流入箇所の調査を実施し、産沢については流入箇所が特定できたため、現在工事発注に向け設計中。検視については引続き、調査継続中。		
②	○水質検査の充実 ①真田、武石の湧水水源の検査項目、回数が増 ②湧水水源に濁度センサー ③セシウム134及び137の検査実施	①年間 ②年内 ③年間	①クリプトスポリジウム対策強化 ②4か所 ③浄水場取水 毎月 浄水場浄水 年4回 湧水検査 年2回	①定期検査に加え降雨時も含め臨時検査実施 ②発注準備中 ③順調に実施		
③	○真田地区の簡易水道統合に向けた地元協議 青平上水道と真田簡易水道の統合	年度末	地元協議終了後、整備方針決定	・地元と協議中		
④	○供給水管の右取替	年度末	600か所	・420箇所発注済		
⑤						
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		

重点目標	快適で持続可能な水環境の創造と資源の地域循環の推進		部局名	上下水道局	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			市長マニフェスト における位置付け		
状況・課題	快適で持続可能な水環境を創造するためには、まず下水道未整備箇所を早期に解消しなければなりません。その上で、汚泥量増加に伴う処理機器の耐用性減と安定した処理能力の確保を図り、さらに将来流入量予測を踏まえて処理施設及び機器についての老朽化に伴う更新計画や統合をききむけを核としていく必要があります。また、上下水道事業はエネルギーを消費し、温室効果ガスや汚泥等の排出を伴うため、資源の地域循環や再生可能エネルギーの利用などに配慮していく必要もあります。					
目的・効果	良好な生活環境を形成するため、下水道未整備箇所の整備工事を実施します。適正な維持管理体制の確立と費用の縮減を図るため、下水道基本構想を策定して長期的な下水道事業の方針を定め、併せて下水道全体計画を見直し、近年の社会情勢を反映した下水道の施設計画を策定していきます。					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○下水道未整備箇所の整備工事の実施	年度末	L=4.6km整備（総延長1.4km、本年L=3.2km） 上田地域の普及率 97.8%	・管きよL=2.8km（総延長1.4km）を準備中。 丸子地域L=400mの目標に対し、L=301m完了。進捗率75%。		
②	○水洗化率の向上 新規接続を促し、水洗化率の向上を図る。	年度末	新規接続戸数 965戸 水洗化率 90%	・5月末の新規接続戸数は587戸で、目標の60.8%となっている。 ・新規接続戸数の増加にむけ、業中の戸別訪問実施のため対象を抽出している。		
③	○安定した処理能力の確保 ①上田処理場の汚泥処理施設の更新工事 ②南部処理場の汚泥焼却電気設備の増設工事	年度末	①汚泥消化タンク等撤去 一式 汚泥濃縮設備 一式 ②汚泥乾燥機増設設備 一式	①解体・撤去が約70%完了。焼却設備が45%、電気設備が50%完了。 ②焼却設備及び電気設備が75%完了		
④	○下水道全体計画の見直し 基本構想の策定に併せて、全体計画を見直し、農業排水との統合についても検討	年度末	基本構想及び全体計画の計画目標 年度を確定 計画区域を設定	・基本構想を策定し計画変更に向けた資料収集作業を実施中。		
⑤	○浄水場産物を再生土等として有効活用	年度末	再生土化 600t	132.3m <sup>3</sup> 再生土化		
⑥	○新エネルギーの利用 平成22年度に実施した新エネルギーの実証調査結果を基に、小水力発電等について補助内容、導入効果について検討	年度内	方針の決定	・泉屋浄水場に小水力発電を導入する方針を決定。		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		

重点目標	塩田、川西地区の県営水道の統合推進			部局名	上下水道局	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する				市長マニフェストにおける位置付け		
現況・課題	長野県企業局が事業形態を検討する中で県営水道事業を分割移管する意向を表明したことから、給水エリア内の上田市、坂城町、千曲市、長野市と県企業局との間で、平成21年に協議を行う場が設置され、平成23年には坂城町及び千曲市の独自水源確保の要望を受けた。井戸試験調査が実施され、現在その調査結果の分析が行われています。分割移管の検討においては、独自水源の確保のほか、初期費用、負債の処理、送水計画の立案などが課題となっています。						
目的・効果	同じ自治体の中に2つの水道事業者が並存し、給水の申し込みや料金、サービスがそれぞれで異なる状況が解消されます。						
	取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)	期末報告(目標に対する達成状況・達成度)		
①	○県営水道を分割移管するための1企業4市町での検討	年度内	初期費用、分割方法を検討	・移管検討会作業部会が2回開催され検討中			
②							
③							
④							
⑤							
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・蒸された課題			

(5) 組織  
ア 組織図

平成24年4月1日現在



※ 課長は丸子上下水道課と武石上下水道課を兼務

## 経営管理課 上下水道局の総括に関すること

### 庶務係

局の総合調整及び庶務、議会对応、職員服務・給与、労務対応、研修、福利厚生、局広報誌、入札・契約、例規の制定・改廃、主管課として処理する事務

### 経理係

上下水道事業予算・決算、経営分析、料金改定、金銭出納、貯蔵品管理、消費税

## サービス課 上下水道の料金、宅内設備工事に関すること

### 給排水係

宅内給排水設備・工事受付審査、検査、指定工事業業者、責任技術者試験、水洗化の普及促進、農集加入金、汚水量認定、量水器購入管理、検漏メーター取替

### 料金担当

上下水道料金の調定・収納・還付充当、開閉栓、給水停止、追跡調査、検針業務統括、異動入力、減免、下水道受益者負担金・分担金

## 上水道課 上水道事業の総括に関すること

### 施設整備係

上水道事業の総合調整・認可申請、上水道事業計画・建設(設計監督)、水源開発

### 上水道維持係

上水道施設の維持管理(管路修繕、漏水調査)・運営、緊急故障対応、当番店対応

## 下水道課 下水道事業の総括に関すること

### 施設係

水質規制関係、公害防止、事業所排水指導、公共下水道・農集排水処理施設維持管理、設備台帳、処理場関係調査

### 下水道維持係

公共下水道・農集施設(管渠)の維持管理、取付管新增設、地域循環プロジェクト、管渠関係・農集調査

### 下水道建設担当

下水道事業の総合調整・認可申請、下水道事業の調査・計画、所管地域の下水道施設建設

## 浄水管理センター 浄水施設の統括に関すること

### 管理担当

染屋・石舟浄水場の運転管理、水質検査(水源、河川、浄水場、水道水)、取水・導水・送水・配水設備の維持管理

### 丸子管理係

腰越浄水場の運転管理、所管地域の水質検査(水源、河川、浄水場、水道水)、取水・導水・送水・配水設備の維持管理

丸子上下水道課 丸子地域上下水道の総括に関すること

業務係

所管地域の上下水道事業実施計画、予算・決算、収納、滞納整理、開閉栓、検針、異動入力、減免、下水道受益者負担金・分担金関係、宅内給排水設備工事受付審査、水洗化普及

上水道係

所管地域の上水道事業計画、水源の水質調査・保全、配水管工事設計積算、漏水調査

下水道係

所管地域の下水道事業計画・設計・積算、各施設・設備の維持管理

真田上下水道課 真田地域上下水道の総括に関すること

業務係

所管地域の上下水道事業予算・決算、収納、滞納整理、開閉栓、検針、異動入力、減免、宅内給排水設備工事受付審査

上下水道係

所管地域の上下水道事業計画、上下水道施設の維持管理、水源の水質調査・保全、配水管工事設計積算、漏水質規制・事業場排水指導、管渠の維持管理

武石上下水道課 武石地域上下水道の総括に関すること

上下水道係

所管地域の上下水道事業予算・決算、収納、滞納整理、開閉栓、検針、異動入力、減免、宅内給排水設備工事受付審査、上下水道施設維持管理、上下水道施設工事、水質調査・保全、緊急故障対応

	課 別	局長	課長	課長補佐	係長	統括主査	主査	主任	主事	技師	嘱託	臨時	計
職 員 数	局長	1											1
	経営管理課		1	2	1	1	6		1			1	13
	サービス課		1	3			5	6	2		3	4	24
	上水道課		1	2			3	3	1			2	12
	下水道課		1	2	1	2	5	2				1	14
	浄水管理センター		1		3	1	3	2			4	1	15
	丸子上下水道課		1	2	1		6	2					12
	真田上下水道課		1	2	1		3	1			1		9
	武石上下水道課		(1)	1			1					1	3 (1)
	計	1	7 (1)	14	7	12	33	8	3	0	8	10	103 (1)

※( )内は、局内兼務職員数(再掲)

イ 会計・階級別職員数

平成24年3月31日現在

		局長	課長	課長補佐	係長	統括主査	主査	主任	主事	技師	正規職員計	嘱託	臨時	合計
水道事業会計	上下水道局長	1									1			1
	経営管理課		1								1			1
	庶務係			1			1	1			3			3
	経理係				1		1	2	1		5			5
	小計		1	1	1		2	3	1		9			9
	サービス課		1								1			1
	給排水係				1	2		1			4			4
	料金担当					2	4	1			8	4	3	15
	小計		1	1	1	4	4	2			13	4	3	20
	上水道課		1								1			1
	施設整備係			1		1	3				5	1	1	7
	上水道維持係				1	1	1	1			4			4
	小計		1	2		2	4	1			10	1	1	12
	浄水管理センター		1								1			1
	管理担当			1	1	1	2	2			7	3	1	11
	丸子管理係				1		1				2	1		3
	小計		1	1	2	1	3	2			10	4	1	15
	丸子上下水道課													
	業務担当			1	1		2				4		1	5
	上水道係				1		1	1			3			3
小計			1	2		3	1			7		1	8	
真田上下水道課		1								1			1	
業務係				1		1				2			2	
上下水道担当			1			1				2	1		3	
小計		1	1	1		2				5	1		6	
武石上下水道課			(1)							(1)			(1)	
上下水道係				1						1		1	2	
小計			(1)	1						1	(1)	1	2	
合計	1	5	(1)	8	7	7	18	9	1	56	(1)	10	7	73
公共下水道事業会計	経営管理課													
	庶務係					1					1			1
	経理係							1			1			1
	小計					1		1			2			2
	サービス課													
	給排水係					1					1		1	2
	料金担当				1			1	1		3			3
	小計			1			1	1	1		4		1	5
	下水道課		1								1			1
	施設係				1		1				2			2
	下水道維持係			1			2				3		1	4
	下水道建設担当			1	1		3	1		1	7			7
	小計		1	2	2		6	1		1	13		1	14
	丸子上下水道課		1								1			1
	業務担当						1				1			1
下水道係			1			1	1			3			3	
小計		1	1			2	1			5			5	
真田上下水道課														
業務係								1		1			1	
上下水道担当			1							1			1	
小計			1					1		2			2	
合計	2	5	2	1	9	4	2	1		26		2	28	
農業集落排水事業会計	経営管理課													
	経理係						1				1			1
	小計						1				1			1
	下水道課													
	施設係						1				1			1
	小計						1				1			1
	丸子上下水道課													
	下水道係						1				1			1
小計						1				1			1	
真田上下水道課														
上下水道担当						1				1			1	
小計						1				1			1	
武石上下水道課														
上下水道係							1			1			1	
小計							1			1			1	
合計						4	1			5			5	

(注) ()内の人数は、兼務職員の数である。





## 2 事業の状況

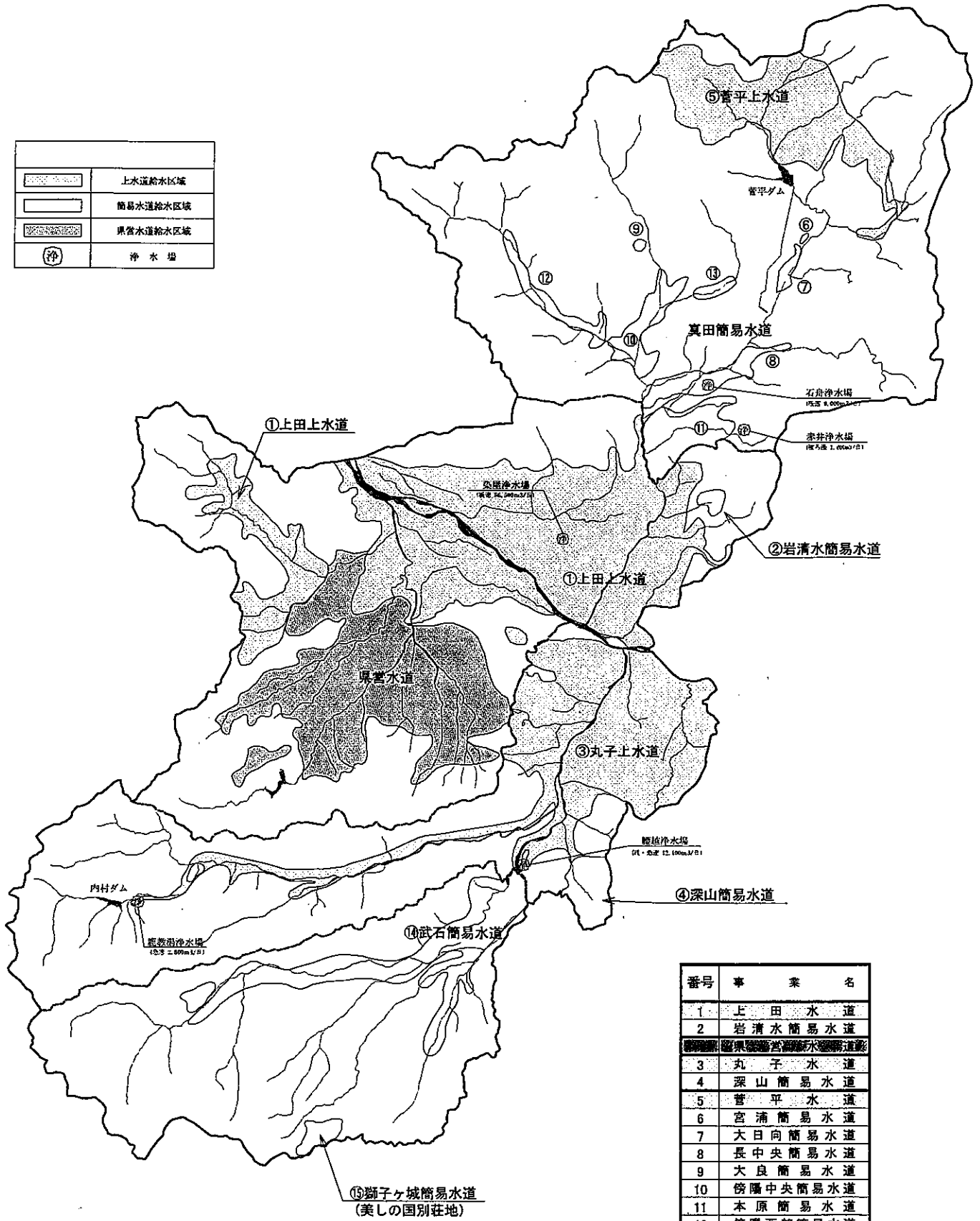
### (1) 事業計画及び事業区域

#### ア 水道事業

名称	計画給水区域	計画給水人口 (人)	計画1日 最大給水量 (m <sup>3</sup> )
上田水道事業	二の丸、常磐城一丁目、常磐城二丁目、常磐城三丁目、常磐城四丁目、常磐城五丁目、常磐城六丁目、緑が丘一丁目、緑が丘二丁目、緑が丘三丁目、天神一丁目、天神二丁目、天神三丁目、天神四丁目、大手一丁目、大手二丁目、中央一丁目、中央二丁目、中央三丁目、中央四丁目、中央五丁目、中央六丁目、中央東、中央北一丁目、中央北二丁目、中央北三丁目、中央西一丁目、中央西二丁目、常田一丁目、常田二丁目、常田三丁目、材木町一丁目、材木町二丁目、常入一丁目、踏入一丁目、踏入二丁目、国分一丁目、常入、上田、常磐城、小牧、諏訪形、御所、中之条、秋和、上塩尻、下塩尻、上田原、下之条、神畑、築地、大屋の一部、岩下、蒼久保、国分、福田、吉田、小泉の一部、上野、古里、住吉、芳田、林之郷、殿城の一部、漆戸、岡、浦野、越戸、下室賀、上室賀	113,000	65,500.0
丸子水道事業	旧丸子町地区、大屋千曲川左岸地区	27,000	15,200.0
菅平水道事業	菅平、十の原、渋沢	9,000	3,700.0
岩清水簡易水道事業	殿城の一部	360	50.0
深山簡易水道事業	深山地区	260	360.0
宮浦簡易水道事業	大日向宮浦	170	25.5
大日向簡易水道事業	大日向(渋沢、大洞、宮浦を除く。)	800	120.0
長中央簡易水道事業	角間、横沢、真田、石舟、戸沢、つくし、四日市、横尾	3,000	642.0
大良簡易水道事業	大良	110	16.5
傍陽中央簡易水道事業	穴沢、横道、田中、萩、大庭、曲尾	2,500	550.2
本原簡易水道事業	本原地区、長地区の一部	4,700	1,800.0
傍陽西部簡易水道事業	傍陽中組、岡保、入軽井沢、松井新田	800	317.0
三島平専用水道事業	大倉、三島平	98	24.5
武石簡易水道事業	旧武石村地区(白樺平地区、獅子ヶ城簡易水道給水区域を除く。)、腰越地区の一部	4,300	1,819.0
獅子ヶ城簡易水道事業	東美ヶ原高原保健休養地	2,100	531.0
計		168,198	90,655.7

上田市上水道事業区域図

	上水道給水区域
	簡易水道給水区域
	県営水道給水区域
	浄水場



番号	事業名
1	上田水道
2	岩清水簡易水道
3	丸子水道
4	深山簡易水道
5	菅平水道
6	宮浦簡易水道
7	大日向簡易水道
8	長中央簡易水道
9	大良簡易水道
10	傍陽中央簡易水道
11	本原簡易水道
12	傍陽西部簡易水道
13	三島平専用水道
14	武石簡易水道
15	獅子ヶ城簡易水道



イ 公共下水道事業

名称	計画処理区域	計画処理人口 (人)	計画処理 区域面積 (ha)	計画1日 最大処理量 (m <sup>3</sup> )
上田公共下水道事業	二の丸、常磐城一丁目、常磐城二丁目、常磐城三丁目、常磐城四丁目、常磐城五丁目、常磐城六丁目、緑が丘一丁目、緑が丘二丁目、緑が丘三丁目、天神一丁目、天神二丁目、天神三丁目、天神四丁目、大手一丁目、大手二丁目、中央一丁目、中央二丁目、中央三丁目、中央四丁目、中央五丁目、中央六丁目、中央東、中央北一丁目、中央北二丁目、中央北三丁目、中央西一丁目、中央西二丁目、常田一丁目、常田二丁目、常田三丁目、材木町一丁目、材木町二丁目、常入一丁目、踏入一丁目、踏入二丁目、国分一丁目、上田の一部、常磐城の一部、小牧の一部、諏訪形の一部、御所の一部、中之条の一部、秋和の一部、上塩尻の一部、下塩尻の一部、上田原の一部、下之条の一部、神畑の一部、築地の一部、大屋の一部、岩下の一部、蒼久保の一部、国分の一部、福田の一部、吉田の一部、小泉の一部、上野の一部、古里の一部、住吉の一部、芳田の一部、古安曾の一部、下之郷の一部、本郷の一部、五加の一部、中野の一部、小島の一部、保野の一部、舞田の一部、十人の一部、新町の一部、前山の一部、手塚の一部、別所温泉の一部	114,700	3,444	67,060
丸子公共下水道事業	腰越の一部、上丸子の一部、中丸子の一部、下丸子の一部、長瀬の一部、塩川の一部、御嶽堂の一部、生田の一部、西内の一部、鹿教湯温泉の一部、平井の一部、東内の一部	23,800	845	14,200
真田公共下水道事業	菅平の一部、横沢の一部、真田の一部、石舟の一部、戸沢の一部、つくし、横尾の一部、四日市、曲尾、萩の一部、大庭、傍陽中組、岡保、入軽井沢の一部、荒井の一部、竹室の一部、中原の一部、下塚	14,200	326	6,500

ウ 農業集落排水事業

上田農業集落排水事業	下組地区の一部、仁古田地区の一部、岡地区の一部、下之郷地区の一部、下小島地区の一部、小井田地区の一部、古安曾地区の一部、保野舞田地区の一部、豊殿南部地区の一部、富士山地区の一部、八木沢地区の一部、浦里地区の一部、室賀地区の一部、林之郷地区の一部、山田地区の一部、小泉地区の一部及び殿城地区の一部	29,300	823.5	9,454.5
丸子農業集落排水事業	藤原田の一部、東内の一部	2,150	61	711
真田農業集落排水事業	上原、中原の一部、下郷沢の一部、表木、町原の一部、出早、下原の一部、大畑の一部、田中的一部分、下横道、中横道、上横道の一部	5,200	122	1,539
武石農業集落排水事業	武石沖の一部、武石鳥屋の一部、下武石の一部、上武石の一部、武石下本入の一部、武石上本入の一部、武石小沢根の一部、武石余里の一部、腰越の一部	4,960	195	1,635
上田小規模集合排水処理施設事業	布引地区の一部	180	2	59.4
公共・農集合計		194,490	5,818.5	101,158.9

## (2) 料金及び使用料等の状況

※この表は、消費税率5%で計算されています。  
 ※平成28年度まで現行料金(別荘地除く)となります。

ア 口径13mm

(平成24年4月1日現在・2ヶ月税込・単位:円)

使用量 (㎡)	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)	使用量 (㎡)	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)
0	1,138	2,458	3,596	41	5,385	7,471	12,856
1	1,196	2,527	3,723	42	5,532	7,644	13,176
2	1,254	2,596	3,850	43	5,679	7,817	13,496
3	1,312	2,665	3,977	44	5,826	7,990	13,816
4	1,370	2,734	4,104	45	5,973	8,163	14,136
5	1,428	2,803	4,231	46	6,120	8,336	14,456
6	1,486	2,872	4,358	47	6,267	8,509	14,776
7	1,544	2,941	4,485	48	6,414	8,682	15,096
8	1,602	3,010	4,612	49	6,561	8,855	15,416
9	1,660	3,079	4,739	50	6,708	9,028	15,736
10	1,718	3,148	4,866	51	6,855	9,201	16,056
11	1,776	3,217	4,993	52	7,002	9,374	16,376
12	1,834	3,286	5,120	53	7,149	9,547	16,696
13	1,892	3,355	5,247	54	7,296	9,720	17,016
14	1,950	3,424	5,374	55	7,443	9,893	17,336
15	2,008	3,493	5,501	56	7,590	10,066	17,656
16	2,066	3,562	5,628	57	7,737	10,239	17,976
17	2,124	3,631	5,755	58	7,884	10,412	18,296
18	2,182	3,700	5,882	59	8,031	10,585	18,616
19	2,240	3,769	6,009	60	8,178	10,758	18,936
20	2,298	3,838	6,136	61	8,342	10,943	19,285
21	2,445	4,011	6,456	62	8,506	11,128	19,634
22	2,592	4,184	6,776	63	8,670	11,313	19,983
23	2,739	4,357	7,096	64	8,834	11,498	20,332
24	2,886	4,530	7,416	65	8,998	11,683	20,681
25	3,033	4,703	7,736	66	9,162	11,868	21,030
26	3,180	4,876	8,056	67	9,326	12,053	21,379
27	3,327	5,049	8,376	68	9,490	12,238	21,728
28	3,474	5,222	8,696	69	9,654	12,423	22,077
29	3,621	5,395	9,016	70	9,818	12,608	22,426
30	3,768	5,568	9,336	71	9,982	12,793	22,775
31	3,915	5,741	9,656	72	10,146	12,978	23,124
32	4,062	5,914	9,976	73	10,310	13,163	23,473
33	4,209	6,087	10,296	74	10,474	13,348	23,822
34	4,356	6,260	10,616	75	10,638	13,533	24,171
35	4,503	6,433	10,936	76	10,802	13,718	24,520
36	4,650	6,606	11,256	77	10,966	13,903	24,869
37	4,797	6,779	11,576	78	11,130	14,088	25,218
38	4,944	6,952	11,896	79	11,294	14,273	25,567
39	5,091	7,125	12,216	80	11,458	14,458	25,916
40	5,238	7,298	12,536	81	11,622	14,643	26,265

イ 口径20mm

(平成24年4月1日現在・2ヶ月税込・単位:円)

使用量 (㎡)	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)	使用量 (㎡)	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)
0	2,960	2,458	5,418	41	7,207	7,471	14,678
1	3,018	2,527	5,545	42	7,354	7,644	14,998
2	3,076	2,596	5,672	43	7,501	7,817	15,318
3	3,134	2,665	5,799	44	7,648	7,990	15,638
4	3,192	2,734	5,926	45	7,795	8,163	15,958
5	3,250	2,803	6,053	46	7,942	8,336	16,278
6	3,308	2,872	6,180	47	8,089	8,509	16,598
7	3,366	2,941	6,307	48	8,236	8,682	16,918
8	3,424	3,010	6,434	49	8,383	8,855	17,238
9	3,482	3,079	6,561	50	8,530	9,028	17,558
10	3,540	3,148	6,688	51	8,677	9,201	17,878
11	3,598	3,217	6,815	52	8,824	9,374	18,198
12	3,656	3,286	6,942	53	8,971	9,547	18,518
13	3,714	3,355	7,069	54	9,118	9,720	18,838
14	3,772	3,424	7,196	55	9,265	9,893	19,158
15	3,830	3,493	7,323	56	9,412	10,066	19,478
16	3,888	3,562	7,450	57	9,559	10,239	19,798
17	3,946	3,631	7,577	58	9,706	10,412	20,118
18	4,004	3,700	7,704	59	9,853	10,585	20,438
19	4,062	3,769	7,831	60	10,000	10,758	20,758
20	4,120	3,838	7,958	61	10,164	10,943	21,107
21	4,267	4,011	8,278	62	10,328	11,128	21,456
22	4,414	4,184	8,598	63	10,492	11,313	21,805
23	4,561	4,357	8,918	64	10,656	11,498	22,154
24	4,708	4,530	9,238	65	10,820	11,683	22,503
25	4,855	4,703	9,558	66	10,984	11,868	22,852
26	5,002	4,876	9,878	67	11,148	12,053	23,201
27	5,149	5,049	10,198	68	11,312	12,238	23,550
28	5,296	5,222	10,518	69	11,476	12,423	23,899
29	5,443	5,395	10,838	70	11,640	12,608	24,248
30	5,590	5,568	11,158	71	11,804	12,793	24,597
31	5,737	5,741	11,478	72	11,968	12,978	24,946
32	5,884	5,914	11,798	73	12,132	13,163	25,295
33	6,031	6,087	12,118	74	12,296	13,348	25,644
34	6,178	6,260	12,438	75	12,460	13,533	25,993
35	6,325	6,433	12,758	76	12,624	13,718	26,342
36	6,472	6,606	13,078	77	12,788	13,903	26,691
37	6,619	6,779	13,398	78	12,952	14,088	27,040
38	6,766	6,952	13,718	79	13,116	14,273	27,389
39	6,913	7,125	14,038	80	13,280	14,458	27,738
40	7,060	7,298	14,358	81	13,444	14,643	28,087





# 水道事業編



# 1 事業の概要

## (1) 事業の沿革

上田市の水道事業は、平成 18 年 3 月、上田市、丸子町、真田町、武石村の 4 市町村の合併と経営の統合により、給水人口 14 万 2 千人余りとなり、3 上水道事業、11 簡易水道、1 専用水道の合計 15 事業で新たな上田市水道事業を発足しました。

これら水道事業における水源の状況は、千曲川をはじめ神川、依田川の表流水、内村川のダム水、地下水や湧水など 28 箇所を数え、浄水処理方式は、緩速ろ過、急速ろ過、膜ろ過の 3 種類に、送配水施設においては 170 箇所と多種多様な施設で運営されています。

また、市内には、市営水道のほかに 2 市 1 町に送水する県営水道があり、上田市内では 2 万 4 千人に給水されています。

現在、水道の普及率は 99.8 パーセントに達し、市民のほとんどが水の供給を受けることができるようになった一方、水道施設の老朽化による大規模更新や耐震化の必要が生じてきたこと、さらには人口が減少傾向に転じるなど、水道事業は大きな転換期を迎えています。

このように水道事業を取巻く状況が大変厳しいなか、簡易水道事業の経営基盤の強化を図ることを目的に統合を進め、上水道事業への移行を求められている簡易水道事業においては、平成 26 年度に一次統合として、菅平上水道事業と真田地域簡易水道事業の統合、二次統合として、上田上水道事業と岩清水簡易水道・丸子上水道事業・深山簡易水道・武石地域簡易水道事業も含め、すべての水道事業を平成 28 年度までに一本化し、簡易水道事業の運営強化を図っていく予定となっています。

また、水道事業の現状と将来見通しを分析評価し、目指すべき将来像を描いた上田市水道ビジョンでは、「うるおいある水源を守り安全でおいしい水をお届けします」を基本理念に、

- 1 安全で安心なおいしい水の安定供給
- 2 災害に強い施設づくりの推進
- 3 安定した経営基盤の確立
- 4 環境にやさしいエネルギー対策への貢献

の 4 つの基本目標を掲げました。

今までは、上田、丸子、真田、武石の 4 地域それぞれが水道事業を進めてきましたが、統合により相互連携による水運用、良質な水源の利用が可能になったことで、水道経営の健全性を維持しながら、これらの利点を生かした水道施設再構築に向けた取組みを進めていきます。

## (2) 事業のあゆみ

### ア 上田地域

大正 8 年 5 月 1 日に、上田市は市制を施行したが、その最大の目的と特色は、水道の建設にあったといわれている。当時の上田市は、世帯数が 5,342 戸、人口は 30,247 人であったが、井戸の総数は 510 程度であり、1 つの井戸を 10 戸ぐらいで使用していたようである。しかし、湧出量が少ないことや水質が悪いことから毎年チフスや赤痢等の伝染病がまん延し、これによる死亡者も相次いでいたことから、上水道建設は市民の大念願であった。

水道事業は、大正 12 年 6 月に竣工したが、上田市が誕生して最初の事業が水道の建設であり、予算額は 85 万円（当時の年間予算は約 18 万円）という、正に空前の大事業であった。それから、88 年の歳月を歩み旧上田市の水道は、拡張と改良などの整備を重ね、産業・経済・文化の発展と市民生活の福祉向上を担って、現在に至っている。

地域	年	認可等	内 容
上 田	大正 12 年	給水開始	千曲川伏流水を水源とする染屋浄水場を建設し、給水を開始
	昭和 9 年	水源拡張工事	使用量の増大に対応するための水源補水工事
	昭和 20 年	第 2 次水源拡張工事	枅網用水利用に変更するための水源補水工事
	昭和 28 年	第 1 次拡張事業	神川水源の新設と染屋浄水場の拡張工事
	昭和 33 年		北部地区、城下地区への配水管拡張工事
	昭和 38 年	第 2 次拡張事業	川辺・塩尻・神川・殿城地区合併に伴う配水管拡張工事
	昭和 46 年	第 3 次拡張事業	菅平ダム建設への参画と真田町石舟浄水場の新設による殿城簡易水道の統合
	昭和 51 年	第 4 次拡張事業	川西村水道事業の合併による配水管の整備
	昭和 53 年	第 5 次拡張事業	維持管理時代に対応した施設整備
	平成 10 年	第 6 次拡張事業	芳田地区全域に拡張
平成 18 年	合併による経営の統合	計画給水人口 113,000 人 上田水道事業、岩清水簡易水道事業の 2 事業で運営	

## イ 丸子地域

丸子町が誕生した大正元年当時は、東西に細長い地域であることから、簡易水道 6 箇所、簡易給水施設 2 箇所、専用水道が数箇所存在していたが、一般家庭のほとんどは井戸・湧水・沢水を飲料水として利用していた。

しかし、毎年のように赤痢が発生していたことや、農村部の都市化や地域産業の振興に伴う水需要の増加などから、昭和 31 年の町村合併が終了するや、上水道建設に対する熱意が、婦人会を中心とした「水道貯金」の励行により高まり、昭和 32 年に 1 億 7,000 万円の事業計画を議会で議決。昭和 32 年の認可取得により、計画人口 24,730 人で上水道の建設が開始された。埋設される配水管の多くは、手掘りによる市民の共同作業で進めるなど大変な努力がされたものである。

地域	年	許可等	内 容
丸 子	昭和 35 年	給水開始	計画給水人口 16,620 人、依田川を水源とする腰越浄水場を建設し、給水を開始
	昭和 36 年	給水開始	計画給水人口 8,110 人、内村川を水源とする鹿教湯浄水場を建設し、給水を開始
	昭和 37 年	第 1 次拡張事業	霊泉寺・尾野山地区へのポンプアップによる拡張工事
	昭和 48 年	第 2 次拡張事業	腰越浄水場の拡張工事により、昭和 51 年藤原田簡易水道、昭和 52 年腰越簡易水道を統合
	昭和 56 年	第 2 次拡張事業	須川湖ハイランド専用水道の寄付により統合
	昭和 59 年	第 2 次拡張事業	内村ダム建設に伴い、ダムを水源とする鹿教湯浄水場を建設
	平成元年	認可変更	箱畳工業団地建設に伴う配水管拡張工事
	平成 2 年	認可変更	池の芝、千石地区リゾート開発に伴う配水管拡張工事
	平成 11 年		郷仕川原簡易水道の上水道への統合
	平成 18 年	合併による経営の統合	計画給水人口 27,000 人 丸子水道事業、深山簡易水道事業の 2 事業で運営

## ウ 真田地域

水道が設置される以前は、共同井戸、沢の水、集落によっては川の水を飲料水として使用していた。しかし、長村において集団赤痢が発生し、約 80 人の患者が出た経験から、婦人会・青年団が中心となって上水道に対する機運が高まり、昭和 29 年ごろから現有の自然湧水を利用した水道施設ができる。そして、昭和 33 年 10 月 1 日当時の傍陽村、長村、本原村の 3 ヶ村が合併し真田町となったことを踏まえ、村単位で水道組合を設立し、水道事業が開始された。

一方、菅平高原水道は、2 ヶ所の湧水を水源とした小規模な水道であったが、観光客の増大や昭和 41 年の松代群発地震により、現状水源では不足する状態となった。このため、7.5km 先である「つちやの沢」から水源を求め、事業費 1 億 7,600 万円で菅平全域と別荘団地に給する上水道事業が、昭和 42 年から開始された。この水は、四阿山の湧水であり昔から集中豪雨があっても水量・水質に変化のない「神の水」として、地元で大切にされた水である。

地域	年	許可等	内 容
真       田	昭和 34 年	給水開始	長中央簡水、傍陽中央簡水が完成し、給水開始
	昭和 38 年	給水開始	本原簡水が完成し、給水開始
	昭和 39 年	給水開始	その他集落単位の水道組合を真田簡易水道として発足
	昭和 44 年	上水道の新設	菅平上水道が完成し、給水開始
	昭和 61 年	簡易水道の統合	傍陽中央簡水と穴沢簡水の統合による施設整備
	平成 4 年	簡易水道の統合	傍陽西部簡水と中組簡水、入軽井沢簡水の統合による施設整備
	平成 7 年	認可変更	菅平上水道の拡張工事
	平成 8 年	認可変更	本原簡水の浄水方法の変更として膜ろ過施設を建設
	平成 18 年	合併による経営の統合	計画給水人口 21,178 人 菅平水道事業、宮浦簡水、大日向簡水、長中央簡水、大良簡水、傍陽中央簡水、本原簡水、傍陽西部簡水、三島平専用水道の計 9 事業で運営

## エ 武石地域

明治 22 年市町村制度の施行により誕生した武石村の水道は、過半数の家が流水を使用していたため、農耕期になれば流水が極めて減少し、かつ雨降り後は泥水として全く使用できなくなる状況にあった。このようにほとんどの家庭で衛生環境が悪く、伝染病の発生率が高いことから、昭和 30 年に上水道建設委員会を発足し、事業費 4,100 万円で全村を対象とした事業を計画する。

特に、水源地設定におけるワサビ畑の補償では多くの関係者の協力があり、また台所改善を目指す婦人労働による戸別割り当て掘削など、全村挙げた積極的奉仕がされた。こうして、昭和 31 年に「鍛横沢」「唐沢」「上権現」「上余里」地籍の湧水を利用した、すべて自然流下方式による水道の給水が開始された。

地域	年	許可等	内 容
武	昭和 31 年	給水開始	武石村上水道の給水を開始 計画給水人口 5,600 人
	昭和 38 年	水源の拡張工事	水源水量減少に対応するための唐沢水源拡張工事
	昭和 40 年	簡易水道の新設	美ヶ原高原白樺平別荘開発に伴う簡易水道の新設
	昭和 43 年	認可変更	上水道から簡易水道に認可変更
	昭和 50 年	認可変更	増大する給水人口に対応するための権現水源の新設
石	昭和 62 年	拡張工事	石綿管路の布設替工事の実施
	平成 18 年	合併時	計画給水人口 6,100 人。武石簡易水道、獅子ヶ城簡易水道の 2 事業で運営
	平成 20 年	合併による経営の統合	上田市上水道事業に経営統合

## (3) 事業計画

## ア 上田地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画				
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量 (ℓ)	一日 最大給水 量 (m <sup>3</sup> )	一日 平均給水 量 (m <sup>3</sup> )	
上 田	上田上水道	創 設	T9.07.10	内務省8長衛 第93号	T9.07	T12.01	850	-	40,000	97	3,880	-
		第1次拡張	S25.11.30	厚生省長衛 第203号	S25.11	S28.05	55,000	S40	60,000	300	18,000	-
		第2次拡張	S37.03.31	厚生省長環 第119号	S37.03	S38.03	15,800	S48	63,700	300	18,660	-
		第3次拡張	S38.12.26	厚生省収環 第502号	S39.04	S42.03	200,000	S59	66,000	405	26,720	-
		第3次変更(1)	S40.12.06	厚生省環 第828号	S40.04	S47.03	865,500	S59	103,000	480	49,500	-
		第4次拡張	S47.03.31	厚生省衛 第276号	S47.04	S52.03	545,000	S61	107,000	600	64,200	-
		第5次拡張	S53.03.30	厚生省衛 第215号	S53.04	S53.07	18,000	S65	101,000	641	64,700	-
	第6次拡張	H10.07.14	厚生省収生衛 第921号	-	H24.03	9,200,000	H23	113,000	580	65,500	37,060	
岩清水簡易水道	創 設	T14.06.26	-	-	-	-	-	360	139	50	31	

## イ 丸子地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画				
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量 (ℓ)	一日 最大給水 量 (m <sup>3</sup> )	一日 平均給水 量 (m <sup>3</sup> )	
丸	丸子上水道	創 設	S32.12.09	厚生省長衛 第969号	S33.04	S35.08	150,000	S47	24,730	234	5,777	-
		第1回変更	S35.03.31	厚生省長衛 第285号	S35.09	S36.08	203,000	S47	24,730	234	5,777	-
		第1次拡張	S37.12.28	厚生省長環 第428号	S38.09	S39.05	13,337	S47	24,730	234	5,777	-
		第2次拡張	S48.03.31	厚生省長環 第303号	S48.09	S53.03	860,000	S60	27,000	563	15,200	-
		第1回変更	H1.09.30	長野県指令 元食 第37-6号	H2.09	H3.03	85,000	H15	27,000	563	15,200	-
		第2回変更	H2.08.31	長野県指令 2食 第27-5号	H3.09	S37.07	700,000	H15	27,000	563	15,200	9,773
鹿教湯簡易水道	創 設	S28.03.26	-	-	S28.05	2,784	S38	1,150	131	151	553	
	変 更	-	-	-	-	-	-	1,500	153	230	-	
深山簡易水道	創 設	S28.07.16	-	-	S29.03	11,363	S38	1,800	150	270	75	
	変 更	-	-	-	-	-	-	-	-	360	-	
(郷仕川原簡易水道)	創 設	S30.03.30	-	-	S30.05	1,450	S40	200	150	30	-	
	変 更	-	-	-	-	-	-	-	-	50	-	
(藤原田簡易水道)	創 設	S35.07.26	-	-	S30.05	6,720	S45	670	150	100.5	-	
	変 更	S38.04.19	長野県指令 38環 第55-18号	-	-	-	-	870	-	-	-	
(須川湖ハイランド専用 水道)	創 設	S47.01.18	-	-	S47.10	14,475	S57	670	200	134	-	



ウ 真田地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画				
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量(ℓ)	一日 最大給水 量(m <sup>3</sup> )	一日 平均給水 量(m <sup>3</sup> )	
真	菅平高原上水道	創 設	S42.03.31	長野県指令 42環 第12-2号	S42.04	S45.03	200,000	S51	9,000	411	3,700	-
		第1回変更	H7.12.28	長野県指令 7食 第28-1号	H7.07	H8.03	963,085	H21	9,000	411	3,700	-
	宮浦簡易水道	創 設	S30.07.15	長野県指令 30環 第356号	S30.07	S30.08	870	S39	170	150	25.5	-
	大日向簡易水道	創 設	S33.05.23	長野県指令 33環 第70-2号	S33.11	S34.08	5,060	S42	800	150	120.0	-
	長中央簡易水道	創 設	S33.05.23	長野県指令 33環 第70号	S33.08	S34.03	14,501	S34	3,000	214	642	-
	大良簡易水道	創 設	S30.11.05	長野県指令 30環 第684号	S30.12	S31.03	940	S39	110	150	16.5	-
	(穴沢簡易水道)	創 設	S26.06.28	長野県指令 26河 第912号	S26.08	S27.04	1,808	S35	250	150	37.5	-
	傍陽中央簡易水道 (穴沢簡水は、 S62.3.31廃止統合)	創 設	S33.12.01	長野県指令 33環 第283号	S34.04	S35.10	16,230	S44	3,200	150	480	-
		第1回変更	S62.03.31	長野県指令 61食 第133-26号	S62.06	S62.12	46,200	H6	2,500	220	550.2	-
	本原簡易水道	創 設	S30.07.15	長野県指令 30環 第356号	S30.07	S30.08	870	S39	170	150	25.5	-
第1次拡張		H7.06.26	長野県指令 7食 第29-3号	H7.06	H17.03	830,000	H16	4,700	383	1,800	-	
傍陽西部簡易水道 (中組簡水、軽井沢 簡水、松井新田簡 水を廃止統合)	創 設	S32.06.10	長野県指令 32環 -	-	-	-	S41	640	150	96	-	
	創 設	S35.08.03	長野県指令 35環 -	-	-	-	S44	690	150	103.5	-	
	創 設	S35.12.20	長野県指令 35環 -	-	-	-	S44	130	150	19.5	-	
	第1回変更	H4.05.25	長野県指令 4食 第15-8号	H6.09	H8.03	848,000	H13	800	396	317	-	
三島平専用水道(飲 料水供給施設を廃 止し、専用水道とす る)	創 設	H2.03.20	-	-	-	-	H11	98	250	24.5	-	
	第1回変更	H15.03.24	14真上 第127-2号	-	H15.04	-	H24	98	250	24.5	-	

エ 武石地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画				
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量(ℓ)	一日 最大給水 量(m <sup>3</sup> )	一日 平均給水 量(m <sup>3</sup> )	
武	武石簡易水道	創 設	S43.03.30	長野県指令 42環 第12-26号	-	S43.03	14,000	S53	4,300	274	1,178	-
		第1次変更	S50.06.12	長野県指令 50環街水 第3-13号	-	S51.04	82,079	S59	4,300	329	1,415	-
石	獅子ヶ城簡易水道	創 設	S52.03.31	長野県指令 52環水 第8-27号	S52.04	S52.07	-	S61	320	250	80	-
		第1次変更	S61.02.28	長野県指令 60食 第5-19号	S60.12	S63.03	-	H8	340	235	79.9	-
		第2次変更	S62.07.22	長野県指令 60食 第51-5号	S62.06	H4.03	294,813	H9	1,540	203	312.8	-
		第3次変更	H3.11.11	長野県指令 3食 第21-14号	H3.11	H4.03	66,670	H12	2,100	253	531	-
	第4次変更	H5.03.30	長野県指令 5食 第 号	H5.05	H5.09	134,491	H15	2,100	253	531	-	

## 2 財政の状況

### (1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
水道事業収益		2,657,432,980	△2.55%	2,727,084,626
営業収益		2,464,733,244	△2.24%	2,521,261,598
営業外収益		192,699,736	△6.38%	205,823,028
特別利益		-	—	-
水道事業費用		2,430,402,641	0.36%	2,421,780,486
営業費用		2,085,027,253	1.51%	2,054,072,688
営業外費用		345,292,603	△6.04%	367,488,909
特別損失		82,785	△62.18%	218,889
収支差引額		227,030,339	△25.64%	305,304,140

(税込・単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
損益勘定留保資金発生額		1,005,777,538	0.23%	1,003,469,434
減価償却費		958,656,485	△2.00%	978,175,945
固定資産除却費		47,048,567	86.01%	25,293,489
固定資産売却損		72,486	皆増	-
固定資産譲渡損		-	—	-
繰延勘定償却		-	—	-
固定資産除却損		-	—	-
消費税資本的収支調整額(△)		-	—	-
欠損金(△)		-	—	-
欠損金処理額		-	—	-
その他		-	—	-
損益勘定留保資金補てん額		539,654,958	55.17%	347,780,497
過年度不足分補てん額		-	—	-
過年度分修正		-	—	-
損益勘定留保資金残高		2,099,442,792	28.54%	1,633,320,212

## (2) 資本的収支及び補てん財源の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
資本的収入		249,737,030	△42.11%	431,432,520
負担金		34,682,220	△71.34%	121,001,520
企業債		87,000,000	△52.85%	184,500,000
固定資産売却代金		522,810	皆増	-
他会計補助金		84,485,000	0.67%	83,922,000
出資金		-	皆減	15,723,000
国庫(県)補助金		43,047,000	63.76%	26,286,000
国庫補助金		43,047,000	63.76%	26,286,000
県補助金		-	――	-
返還金		-	――	-
その他資本的収入		-	――	-
資本的支出		1,103,689,655	5.27%	1,048,465,121
建設改良事業費		624,967,510	8.73%	574,804,353
企業債償還金		478,722,145	1.07%	473,660,768
開発費		-	――	-
退職給与金		-	――	-
試験研究費		-	――	-
災害損失		-	――	-
返還金		-	――	-
投資		-	――	-
その他資本的支出		-	――	-
収支差引額		△853,952,625	38.40%	△617,032,601
翌年度繰越充当額		-	皆減	5,222,000

(税込・単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
補てん財源		853,952,625	37.24%	622,254,601
消費税資本的収支調整額		19,225,301	29.72%	14,820,089
繰越工事資金		5,222,000	△11.38%	5,892,500
引継金		-	――	-
引継貯蔵品		-	――	-
損益勘定留保資金		539,654,958	55.17%	347,780,497
利益剰余金処分額		289,850,366	14.22%	253,761,515
減債積立金		289,850,366	14.22%	253,761,515
建設改良積立金		-	――	-
未処分利益剰余金		-	――	-
その他		-	――	-
補てん不足額		-	――	-

## (3) 財務諸表の推移

## ア 比較損益計算書

(単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
営業収益		2,348,141,407	△2.24%	2,401,986,154
給水収益		2,331,213,073	△2.26%	2,385,070,156
受託工事収益		6,213,543	△6.69%	6,659,180
その他の営業収益		10,714,791	4.47%	10,256,818
営業費用		2,057,770,482	1.50%	2,027,372,084
原水及び浄水費		305,688,354	4.05%	293,800,980
配水及び給水費		134,496,196	6.39%	126,413,871
量水器費		60,815,901	38.83%	43,804,579
受託工事費		33,518,108	44.79%	23,149,662
営業費		61,030,700	△0.09%	61,083,636
総係費		455,366,171	△3.96%	474,139,922
減価償却費		958,656,485	△2.00%	978,175,945
資産減耗費		48,198,567	79.82%	26,803,489
その他の営業費用		-	-	-
営業利益・損失		290,370,925	△22.49%	374,614,070
営業外収益		189,342,694	△7.05%	203,702,530
受取利息及び配当金		5,074,392	△14.13%	5,909,153
加入金		41,041,000	18.64%	34,594,000
他会計補助金		71,552,000	1.13%	70,753,000
施設管理費		-	-	-
国庫補助金		-	-	-
雑収益		71,675,302	△22.47%	92,446,377
営業外費用		272,868,379	△5.34%	288,257,766
支払利息及び企業債取扱諸費		247,399,974	△3.95%	257,571,535
繰延勘定償却		-	-	-
雑支出		25,468,405	△17.00%	30,686,231
経常利益・損失		206,845,240	△28.69%	290,058,834
特別利益		-	-	-
固定資産売却益		-	-	-
過年度損益修正益		-	-	-
その他特別利益		-	-	-
特別損失		78,847	△62.18%	208,468
固定資産売却損		-	-	-
過年度損益修正損		-	-	-
固定資産譲渡損		-	-	-
固定資産除却損		-	-	-
臨時損失		-	-	-
その他特別損失		-	-	-
災害派遣費		78,847	△62.18%	208,468
当年度純利益・損失		206,766,393	△28.66%	289,850,366
前年度繰越利益剰余金・欠損金		-	-	-
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金		206,766,393	-	289,850,366

イ 剰余金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
利益剰余金	前年度繰入額	289,850,366	14.22%	253,761,515
	当年度処分額	289,850,366	14.22%	253,761,515
	当年度末残高	-	—	-
	積立金合計	-	—	-
(剰余金・欠損金)の部	前年度利益剰余金処分額	289,850,366	14.22%	253,761,515
	減債積立金	289,850,366	14.22%	253,761,515
	前年度欠損金処理額	-	—	-
	当年度純利益・損失	206,766,393	△28.66%	289,850,366
	当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金	206,766,393	△28.66%	289,850,366
資本剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	680,000	△86.07%	4,880,000
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	191,650,000	0.36%	190,970,000
	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	40,999,076	63.77%	25,034,286
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	152,130,362	36.89%	111,131,286
	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	81,276,859	0.01%	81,271,954
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	454,545,901	21.77%	373,269,042
	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	13,144,920	△86.03%	94,127,450
当年度処分額	-	—	-	
当年度末残高	430,440,104	3.15%	417,295,184	
前年度処分額	-	—	-	
当年度発生高	20,270,186	△3.60%	21,027,144	
当年度処分額	-	—	-	
当年度末残高	133,070,432	17.97%	112,800,246	
翌年度繰越資本剰余金		1,361,836,799	12.97%	1,205,465,758

ウ 比較貸借対照表

(単位:円)

項目	年度	平成23年度末		平成22年度末
			対前年度比	
固定資産		27,448,816,908	△1.46%	27,855,222,666
有形固定資産		27,301,651,349	△1.45%	27,703,132,152
土地		751,098,463	△0.08%	751,693,759
土木建物		2,002,405	0.00%	2,002,405
構築物		492,700,130	△4.01%	513,295,167
機械及び装置		24,832,914,116	△1.80%	25,289,310,034
車両運搬具		1,153,199,526	5.85%	1,089,502,680
工具器具及び備品		22,883,387	35.22%	16,922,735
建設仮勘定		36,479,036	△6.69%	39,092,372
無形固定資産		10,374,286	690.12%	1,313,000
電話加入権		147,150,559	△3.24%	152,075,514
施設利用権		1,252,000	0.00%	1,252,000
水権利		144,658,559	△3.24%	149,506,014
その他無形固定資産		1,240,000	△5.88%	1,317,500
投資資産		-	-	-
投資有価証券		15,000	0.00%	15,000
流動資産		15,000	0.00%	15,000
現金及び預金		3,076,016,133	13.42%	2,711,956,205
未貯蔵品		2,685,173,279	19.01%	2,256,299,479
原料		363,584,869	△11.86%	412,520,731
水量		18,080,985	6.42%	16,990,995
その他流動資産		10,522,900	4.76%	10,044,570
繰延勘定資産		7,558,085	8.81%	6,946,425
繰延費用		9,177,000	△64.90%	26,145,000
繰延費用		-	-	-
繰延費用		-	-	-
資産合計		30,524,833,041	△0.14%	30,567,178,871
固定負債		606,715,596	9.04%	556,416,687
引当金		606,715,596	9.04%	556,416,687
修繕引当金		446,893,943	10.98%	402,681,236
退職給与引当金		159,821,653	3.96%	153,735,451
流動負債		153,808,485	△29.40%	217,868,513
未払借金		151,523,418	△29.30%	214,313,407
その他流動負債		2,285,067	△35.72%	3,555,106
その他流動負債		-	-	-
負債合計		760,524,081	△1.78%	774,285,200
資本		28,195,705,768	△0.36%	28,297,577,547
自己資本		18,576,412,891	1.59%	18,286,562,525
引継資本		17,491,498,651	0.00%	17,491,498,651
繰入資本		56,563,500	0.00%	56,563,500
借入資本		1,028,350,740	39.25%	738,500,374
借入業債		9,619,292,877	△3.91%	10,011,015,022
借入業債		9,619,292,877	△3.91%	10,011,015,022
剰余金		1,568,603,192	4.90%	1,495,316,124
資本剰余金		1,361,836,799	12.97%	1,205,465,758
受贈財産評価額		191,650,000	0.36%	190,970,000
国庫(県)補助金		152,130,362	36.89%	111,131,286
他会計補助金		454,545,901	21.77%	373,269,042
工事負担金		430,440,104	3.15%	417,295,184
他会計負担金		133,070,432	17.97%	112,800,246
利益剰余金		206,766,393	△28.66%	289,850,366
当年度末処分利益剰余金・未処理欠損金		206,766,393	△28.66%	289,850,366
資本合計		29,764,308,960	△0.10%	29,792,893,671
負債資本合計		30,524,833,041	△0.14%	30,567,178,871



## (4) 資金の推移

(単位:円)

項目	年度		平成22年度
	平成23年度	対前年度比	
受 入 資 金	2,958,876,632	△6.98%	3,180,746,271
事 業 収 益	2,425,849,840	△2.18%	2,479,980,158
前 年 度 未 収 金	280,109,936	△16.49%	335,412,904
企 業 債 金	87,000,000	△52.85%	184,500,000
国 庫 補 助 金	9,742,000	68.37%	5,786,000
工 事 負 担 金	47,496,620	△35.06%	73,141,500
他 会 計 補 助 金	84,485,000	0.67%	83,922,000
一 時 借 入 金	-	-	-
他 会 計 負 担 金	21,181,000	皆増	-
前 払 金 戻 入 金	351,700	△53.06%	749,191
契 約 保 証 金	2,021,250	56.50%	1,291,500
還 付 預 り 金	-	皆減	536
そ の 他 預 り 金	4,853	△97.97%	239,482
資 産 売 却 代 金	-	-	-
事 業 費 戻 入 金	111,623	皆増	-
資 本 的 支 出 戻 入 金	-	-	-
固 定 資 産 売 却 代 金	522,810	皆増	-
一 般 会 計 出 資 金	-	皆減	15,723,000
支 払 資 金	2,530,002,832	2.31%	2,472,885,938
事 業 費 用	1,187,941,109	△1.97%	1,211,860,067
前 年 度 未 払 金	202,961,007	△23.22%	264,338,462
貯 蔵 品	21,811,575	98.04%	11,013,460
建 設 改 良 費 金	506,583,663	49.89%	337,971,061
企 業 債 償 還 金	478,722,145	1.07%	473,660,768
一 時 借 入 金 返 済 金	-	-	-
短 期 貸 付 金	-	-	-
前 払 金	126,214,520	△25.14%	168,593,410
契 約 保 証 金 返 還 金	2,682,750	325.83%	630,000
還 付 金	3,074,870	△33.70%	4,637,634
そ の 他 預 り 金	11,193	△93.82%	181,076
収 支 差 引 額	428,873,800	△39.41%	707,860,333
前 年 度 末 現 金 預 金 残 高	2,256,299,479	45.71%	1,548,439,146
当 年 度 末 現 金 預 金 残 高	2,685,173,279	19.01%	2,256,299,479



## (5) 費用構成の推移

(税抜・単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
経常費用		2,330,638,861	0.65%	2,315,629,850
受託工事費 材料及び不用品売却原価		33,518,108	44.79%	23,149,662
費用合計		2,297,120,753	0.20%	2,292,480,188

項目	年度	平成23年度			平成22年度	
			構成比	対前年度比		構成比
費用合計		2,297,120,753	100.00%	0.20%	2,292,480,188	100.00%
維持管理費		1,091,064,294	47.50%	3.25%	1,056,732,708	46.10%
職員給与費		404,154,474	17.59%	△3.87%	420,417,699	18.34%
動力費		89,648,446	3.90%	10.88%	80,852,165	3.53%
光熱水費		4,978,408	0.22%	11.25%	4,475,146	0.20%
通信運搬費		17,879,888	0.78%	4.85%	17,053,490	0.74%
修繕費		242,392,847	10.55%	10.08%	220,202,913	9.61%
材料費		15,501,203	0.67%	7.69%	14,394,788	0.63%
薬品費		14,911,351	0.65%	50.91%	9,880,737	0.43%
路面復旧費		-	0.00%	-	-	0.00%
委託料		140,281,138	6.11%	11.51%	125,804,764	5.49%
その他		161,316,539	7.02%	△1.43%	163,651,006	7.14%
資本費		1,206,056,459	52.50%	△2.40%	1,235,747,480	53.90%
支払利息		247,399,974	10.77%	△3.95%	257,571,535	11.24%
減価償却費		958,656,485	41.73%	△2.00%	978,175,945	42.67%

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
A 費用合計 (円)		2,297,120,753	0.20%	2,292,480,188
B 年間有収水量 (m <sup>3</sup> )		15,196,795	0.20%	15,166,729
給水原価 (A/B) (円/m <sup>3</sup> )		151.16	0.00%	151.15

## (6) 固定資産の推移

### ア 有形固定資産

(単位:円)

資産名	平成23年度		平成22年度
	対前年度比		
土地	751,098,463	△0.08%	751,693,759
施設用地	751,098,463	△0.08%	751,693,759
立木	2,002,405	0.00%	2,002,405
建物	492,700,130	△4.01%	513,295,167
事務所用建物	26,366,407	△4.28%	27,546,750
施設用建物	458,848,431	△3.90%	477,491,075
その他建物	7,485,292	△9.35%	8,257,342
構築物	24,832,914,116	△1.80%	25,289,310,034
原水及び浄水設備	3,090,125,924	△1.56%	3,139,210,608
配水設備	21,742,788,192	△1.84%	22,150,099,426
機械及び装置	1,153,199,526	5.85%	1,089,502,680
電気設備	96,042,342	△9.50%	106,129,614
ポンプ設備	141,608,032	△12.72%	162,241,571
塩素滅菌設備	49,491,708	△8.03%	53,815,689
量水器	124,352,703	△0.58%	125,081,161
その他機械装置	741,704,741	15.49%	642,234,645
車両運搬具	22,883,387	35.22%	16,922,735
工具器具及び備品	36,479,036	△6.69%	39,092,372
建設仮勘定	10,374,286	690.12%	1,313,000

(注) 金額は減価償却累計額を減じた純額で掲載している。

### イ 無形固定資産

(単位:円)

資産名	平成23年度		平成22年度
	対前年度比		
電話加入権	1,252,000	0.00%	1,252,000
施設利用権	144,658,559	△3.24%	149,506,014
水利権	1,240,000	△5.88%	1,317,500

### ウ 投資

(単位:円)

資産名	平成23年度		平成22年度
	対前年度比		
投資有価証券	15,000	0.00%	15,000

## (7) 企業債残高の推移

## ア 借入先別内訳

(単位:円)

借入先	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
財政融資資金	特別会計からの引継ぎ額	-	-	-
	借入額	-	皆減	9,800,000
	返済額	328,676,030	5.97%	310,145,397
	年度末未償還残高	6,715,806,105	△4.67%	7,044,482,135
公営企業金融	特別会計からの引継ぎ額	-	-	-
	借入額	87,000,000	△50.20%	174,700,000
	返済額	150,046,115	△8.24%	163,515,371
	年度末未償還残高	2,903,486,772	△2.13%	2,966,532,887
合計	特別会計からの引継ぎ額	-	-	-
	借入額	87,000,000	△52.85%	184,500,000
	返済額	478,722,145	1.07%	473,660,768
	年度末未償還残高	9,619,292,877	△3.91%	10,011,015,022

## イ 利率別年度末残高

(単位:円)

利率	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
1%未満		-	-	-
1.0%以上2.0%未満		2,410,305,625	△0.24%	2,416,212,539
2.0%以上3.0%未満		4,689,788,757	△4.23%	4,896,684,124
3.0%以上4.0%未満		1,251,548,424	△5.82%	1,328,912,495
4.0%以上5.0%未満		1,267,650,071	△7.42%	1,369,205,864
5.0%以上6.0%未満		-	-	-
6.0%以上7.0%未満		-	-	-
7.0%以上7.5%未満		-	-	-
7.5%以上8.0%未満		-	-	-
8.0%以上		-	-	-

## (8) 繰入金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
損益勘定	営業収益	1,350,081	828.31%	145,435
	基準内繰入金	1,350,081	828.31%	145,435
	基準外繰入金	-	-	-
勘定繰入金	営業外収益	71,552,000	1.13%	70,753,000
	基準内繰入金	62,881,000	1.34%	62,050,000
	基準外繰入金	8,671,000	△0.37%	8,703,000
資本勘定繰入金	計	72,902,081	2.83%	70,898,435
	基準内繰入金	64,231,081	3.27%	62,195,435
	基準外繰入金	8,671,000	△0.37%	8,703,000
合計	資本勘定繰入金	105,666,000	△13.11%	121,611,900
	基準内繰入金	99,120,000	△13.81%	114,997,900
	基準外繰入金	6,546,000	△1.03%	6,614,000
合計	計	178,568,081	△7.24%	192,510,335
	基準内繰入金	163,351,081	△7.81%	177,193,335
	基準外繰入金	15,217,000	△0.65%	15,317,000

(9) 経営分析

ア 労働の生産性

項目		平成23年度		平成22年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
平均給与 (千円)	上田市	8,420	↓160	8,580	職員給与費 損益勘定所属職員数	職員1人当たりの職員給与費を示し、高すぎても低すぎてもよくない。
	同規模事業者平均			8,635		
	全国平均			9,089		
労働生産性 (千円)	上田市	48,920	↓100	49,020	営業収益 損益勘定所属職員数	職員1人当たりの営業収益を示し高いほどよい。
	同規模事業者平均			72,695		
	全国平均			65,290		
労働分配率 (%)	上田市	17.21	↓0.29	17.50	職員給与費 営業収益 ×100	営業収益のうち、職員に分配される割合を示し高すぎても低すぎてもよくない。
	同規模事業者平均			11.88		
	全国平均			13.92		
職員1人あたり 有収水量 (㎡/人)	上田市	316,600	↑7,075	309,525	有収水量 損益勘定所属職員数	高いほど効率的な経営がなされていると言える。
	同規模事業者平均			415,804		
	全国平均			359,630		

イ 施設の効率性

項目		平成23年度		平成22年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
施設利用率 (%)	上田市	54.65	↓0.59	55.24	一日平均配水量 配水能力 ×100	施設の能力のうち、実際に利用されている割合を表す指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			63.12		
	全国平均			61.34		
負荷率 (%)	上田市	85.26	↓0.28	85.54	一日平均配水量 一日最大配水量 ×100	高いほどよい。なお、この値が低いとピーク時以外に利用しない容量が生じ、非効率となる。
	同規模事業者平均			86.98		
	全国平均			86.13		
最大稼働率 (%)	上田市	64.10	↓0.48	64.58	一日最大配水量 配水能力 ×100	高いほどよいが、100%に近い場合は施設能力が限界に近いため、注意が必要である。
	同規模事業者平均			72.58		
	全国平均			71.21		
有収率 (%)	上田市	84.11	↑0.83	83.28	有収水量 年間配水量 ×100	配水量のうち、実際に料金収入に結びつく水量の割合。高いほどよい。
	同規模事業者平均			89.94		
	全国平均			90.09		
配水管 使用効率 (㎡/m)	上田市	17.91	↓0.15	18.06	年間配水量 管路総延長	管1mあたり、年間どのくらいの水が流れたかをみる指標。高いほど効率的である。
	同規模事業者平均			22.12		
	全国平均			24.06		

ウ 経営資本の効率性及び財政状態の健全性

項目		平成23年度		平成22年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
経営資本 営業利益率 (%)	上田市	0.95	↓0.28	1.23	$\frac{\text{営業利益}}{\text{平均経営資本}} \times 100$	投下した経営資本と営業利益との関係を表す指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			1.40		
	全国平均			1.47		
営業収益 営業利益率 (%)	上田市	12.37	↓3.23	15.60	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうちどの程度の割合が利益であるのかを示す指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			13.07		
	全国平均			13.59		
経営資本 回転率 (回)	上田市	0.08	0.00	0.08	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均経営資本}}$	投下した経営資本と営業収益との関係を表す指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			0.11		
	全国平均			0.11		
経常収支比率 (%)	上田市	108.88	↓3.65	112.53	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$	経常的な収益・費用の関係を表す指標。100%以上なら経常利益が出ている。高いほどよい。
	同規模事業者平均			109.88		
	全国平均			110.18		
供給単価 (円/㎡)	上田市	153.40	↓3.86	157.26	$\frac{\text{給水収益}}{\text{有収水量}}$	料金対象水量1㎡当たりの料金。高いほど料金水準が高いことを示す。
	同規模事業者平均			166.29		
	全国平均			172.06		
給水原価 (円/㎡)	上田市	151.16	↑0.01	151.15	$\frac{\text{給水費用}}{\text{有収水量}}$	水を1㎡供給するためのコスト。高いほど料金水準を高くする必要がある。
	同規模事業者平均			161.73		
	全国平均			169.84		
企業債 元利償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	31.15	↑0.49	30.66	$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$	企業債発行額が事業規模に適正かどうかを判断する基準。低いほどよい。
	同規模事業者平均			23.96		
	全国平均			28.20		
企業債 元金償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	20.54	↑0.68	19.86	$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$	料金収入のうち、企業債返済に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	同規模事業者平均			16.99		
	全国平均			20.13		
企業債利息対 料金収入比率 (%)	上田市	10.61	↓0.19	10.80	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	料金収入のうち、企業債利息に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	同規模事業者平均			6.97		
	全国平均			8.07		
減価償却率 (%)	上田市	3.47	↓0.01	3.48	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{減価償却対象資産}} \times 100$	償却資産に投資した資金の回収速度を示す。高いほど回収が早くなる。
	同規模事業者平均			3.40		
	全国平均			3.53		

(注) 平均経営資本=(総資本(負債資本合計)-建設仮勘定-投資)の前年度末と当年度末の平均

(注) 給水費用=経常費用-(受託工事費+附帯事業費+材料及び不用品売却原価)

(注) 減価償却費対象資産=有形固定資産+無形固定資産-(土地+建設仮勘定)+減価償却費

項目		平成23年度		平成22年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
固定資産 構成比率 (%)	上田市	89.92	↓1.21	91.13	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$	資産合計に対する固定資産の割合を示す指標。低い方が望ましい。
	同規模事業者平均			88.50		
	全国平均			89.88		
自己資本 構成比率 (%)	上田市	66.00	↑1.28	64.72	$\frac{\text{資本}}{\text{総資本}} \times 100$	企業の自己資本調達度を判断する指標。50%以上が望ましい。
	同規模事業者平均			70.87		
	全国平均			66.22		
固定比率 (%)	上田市	136.26	↓4.55	140.81	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本}} \times 100$	自己資本で固定資産をどの程度賅っているかをみる指標。理論上では100%以下が望ましい。
	同規模事業者平均			124.87		
	全国平均			135.73		
固定負債 構成比率 (%)	上田市	33.50	↓1.07	34.57	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本に対する固定負債の割合を示す指標。低いほどよい。
	同規模事業者平均			27.19		
	全国平均			31.77		
固定資産 長期資本比率 (%)	上田市	90.38	↓1.40	91.78	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本+固定負債}} \times 100$	固定資産への投資の健全性をみる指標。100%以下がよい。
	同規模事業者平均			90.25		
	全国平均			91.72		
流動比率 (%)	上田市	1,999.91	↑755.15	1,244.76	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	企業の短期的な支払能力をみる指標。100%以上で高いほどよい。
	同規模事業者平均			589.42		
	全国平均			502.83		
酸性試験比率 (当座比率) (%)	上田市	1,982.18	↑757.21	1,224.97	$\frac{\text{現金預金+未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	流動比率よりもさらに即時的な支払能力をみる指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			540.38		
	全国平均			426.72		

(注) この表では、借入資本金を資本ではなく固定負債に分類して算出を行っている。

\* 同規模事業者平均は、給水人口10万人以上15万人未満の事業者の平均である。

\* 全国平均は、末端給水事業(上水道事業のみ)の平均である。

\* 出典:地方公営企業年鑑

### 3 業務の状況

#### (1) 業務量

	平成23年度		平成22年度	
		対前年度比		
A	行政区域内人口 (人)	162,538	△0.23%	162,916
B	給水区域内人口 (人)	138,463	△0.21%	138,754
C	年度末給水人口 (人)	138,149	△0.20%	138,424
C/A	普及率 (対行政区域内) (%)	84.99	/	84.97
C/B	普及率 (対給水区域内) (%)	99.77		99.76
D	給水区域内戸数 (戸)	56,330	0.92%	55,819
E	年度末給水戸数 (戸)	56,195	0.94%	55,674
E/D	普及率 (%)	99.76	/	99.74
F	年間配水量 (m <sup>3</sup> )	18,067,848	△0.79%	18,212,521
G	年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	15,196,795	0.20%	15,166,729
G/F	有収率 (%)	84.11	/	83.28
	供給単価 (円/m <sup>3</sup> )	153.40	/	157.26
	給水原価 (円/m <sup>3</sup> )	151.16	/	151.15
	薬品及び電力使用量			
	滅菌用次亜塩素酸ソーダ (kg)	135,181	△6.44%	144,480
	沈澱用ポリ塩化アルミニウム (kg)	124,180	△24.72%	164,960
	ポリシカ鉄凝集剤 (kg)	101,460	—	—
	揚水電力量 (kwh)	5,672,576	6.93%	5,304,912
	水道料金調定件数 (件)	355,929	0.77%	353,199

(注) 人口は、外国人登録者を含む。

#### (2) 給水人口の推移

(単位:人)

事業	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
上田水道事業		99,705	0.10%	99,610
丸子水道事業		23,169	△0.77%	23,348
菅平水道事業		1,264	△1.94%	1,289
岩清水簡易水道事業		196	△1.01%	198
深山簡易水道事業		123	△4.65%	129
宮浦簡易水道事業		41	△4.65%	43
大日向簡易水道事業		234	△4.10%	244
長中央簡易水道事業		2,382	△0.71%	2,399
大良簡易水道事業		3	0.00%	3
傍陽中央簡易水道事業		1,838	△2.03%	1,876
本原簡易水道事業		4,531	△0.02%	4,532
傍陽西部簡易水道事業		628	△1.88%	640
三島平専用水道事業		54	△6.90%	58
小計		134,168	△0.15%	134,369
武石簡易水道事業		3,965	△1.78%	4,037
獅子ヶ城簡易水道事業		16	△11.11%	18
計		138,149	△0.20%	138,424

(3) 水道料金のちがい

(1ヶ月あたり、ただし菅平(別荘)と獅子ヶ城は年額・税込・単位:円)

区分	地区	平成23年6月検針日～平成24年5月検針日			
		上田	須川湖ハイランド	菅平(別荘)	獅子ヶ城
[基本料金]					
13mm		569	1,304	26,838	23,268
20mm		1,480		27,468	24,024
25mm		2,628		28,098	24,528
30mm		4,732			29,820
40mm		9,364			
50mm		16,279			
75mm		36,230			
100mm		66,365			
125mm		105,839			
150mm		142,720			
[水量料金]					
・口径13～25mm					
1～10m <sup>3</sup>		58	260	0	0
11～30m <sup>3</sup>		147			
31～50m <sup>3</sup>		164			
51～100m <sup>3</sup>		173			
101m <sup>3</sup> ～120m <sup>3</sup>					105
121m <sup>3</sup> ～				210	
・口径30～150mm					
1m <sup>3</sup> ～		173			

(注1) 菅平(別荘)の料金は隔測とした。

(4) 加入金の状況

(税込・単位:円)

期間	平成18年3月6日～
口径	
13mm	48,300
20mm	120,750
25mm	241,500
30mm	346,500
40mm	661,500
50mm	1,260,000
75mm	3,255,000
100mm	4,410,000
125mm以上	管理者が別に定める額
備考	新規導入

(5) 収納状況の推移

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
				前年との差		
平成22年度	2,504,323,643	2,481,652,304	22,671,339	99.09%	0.27	27,904,199
平成23年度	2,447,773,705	2,424,611,976	23,161,729	99.05%	△0.04	19,251,615

(注) それぞれ、翌年度5月末日時点の数値である。

(6) 水道料金の納付方法の推移(1期当たり平均)

(単位:件)

納付方法	年度	平成23年度		平成22年度		
		構成比	対前年度比	構成比		
口座振替		30,906	82.74%	0.41%	30,779	83.75%
直接納付		6,446	17.26%	3.97%	6,200	16.25%
コンビニエンスストア		4,238	11.35%	6.51%	3,979	9.73%
その他		2,208	5.91%	△0.59%	2,221	6.52%
合計		37,352	100.00%	1.01%	36,979	100.00%

(注) 旧上田市で実施していたコンビニ収納を平成18年7月から全地域で始めた。



## (7) 口径別有収水量・調定件数・調定額

## ア 有収水量

(単位:m<sup>3</sup>)

	平成23年度			平成22年度	
		構成比	対前年度比		構成比
13mm	10,329,002	67.97%	△0.21%	10,350,841	68.25%
20mm	951,434	6.26%	0.72%	944,595	6.23%
25mm	752,196	4.95%	1.59%	740,407	4.88%
30mm	266,085	1.75%	△4.39%	278,314	1.84%
40mm	654,315	4.31%	△2.65%	672,127	4.43%
50mm	995,475	6.55%	0.51%	990,472	6.53%
75mm	920,471	6.06%	△1.22%	931,831	6.14%
100mm	241,574	1.59%	51.51%	159,447	1.05%
125mm	38,908	0.26%	△16.64%	46,676	0.31%
150mm	47,335	0.31%	△9.00%	52,019	0.34%
合計	15,196,795	100.00%	0.20%	15,166,729	100.00%

## イ 調定件数

(単位:件)

	平成23年度			平成22年度	
		構成比	対前年度比		構成比
13mm	328,223	92.22%	0.68%	326,002	92.30%
20mm	17,010	4.78%	3.13%	16,493	4.67%
25mm	6,428	1.81%	△0.14%	6,437	1.82%
30mm	1,113	0.31%	1.00%	1,102	0.31%
40mm	1,685	0.47%	△1.40%	1,709	0.48%
50mm	980	0.28%	0.10%	979	0.28%
75mm	410	0.12%	1.49%	404	0.11%
100mm	68	0.02%	11.48%	61	0.02%
125mm	6	0.00%	0.00%	6	0.00%
150mm	6	0.00%	0.00%	6	0.00%
合計	355,929	100.00%	0.77%	353,199	100.00%

## ウ 調定額 (税込)

(単位:円)

	平成23年度			平成22年度	
		構成比	対前年度比		構成比
13mm	1,466,218,158	59.90%	△3.81%	1,524,367,925	60.87%
20mm	174,489,823	7.13%	△1.70%	177,503,709	7.09%
25mm	146,368,747	5.98%	△0.92%	147,725,487	5.90%
30mm	56,828,843	2.32%	△4.05%	59,227,680	2.37%
40mm	144,225,226	5.89%	△2.17%	147,419,276	5.89%
50mm	202,625,482	8.28%	△0.30%	203,227,148	8.12%
75mm	188,443,264	7.70%	△0.85%	190,067,128	7.59%
100mm	50,701,270	2.07%	45.11%	34,939,846	1.40%
125mm	7,989,371	0.33%	△13.65%	9,252,785	0.37%
150mm	9,883,521	0.40%	△6.69%	10,592,659	0.42%
合計	2,447,773,705	100.00%	△2.26%	2,504,323,643	100.00%

## (8) 用途別有収水量・調定件数・調定額

## ア 有収水量

(単位: m<sup>3</sup>)

	平成23年度	
		構成比
家庭用	11,560,682	76.07%
浴場用	17,243	0.11%
官公署用	393,532	2.59%
学校用	296,583	1.95%
病院用	308,963	2.03%
事務所用	337,395	2.22%
営業用	1,266,788	8.34%
工場用	909,080	5.98%
その他	106,529	0.70%
合計	15,196,795	100.00%

## イ 調定件数

(単位: 件)

	平成23年度	
		構成比
家庭用	331,588	93.16%
浴場用	30	0.01%
官公署用	3,450	0.97%
学校用	398	0.11%
病院用	991	0.28%
事務所用	6,031	1.69%
営業用	8,860	2.49%
工場用	2,270	0.64%
その他	2,311	0.65%
合計	355,929	100.00%

## ウ 調定額 (税込)

(単位: 円)

	平成23年度	
		構成比
家庭用	1,713,609,781	70.01%
浴場用	3,468,958	0.14%
官公署用	90,443,046	3.69%
学校用	67,532,432	2.76%
病院用	60,274,373	2.46%
事務所用	73,781,244	3.01%
営業用	240,364,887	9.82%
工場用	175,858,045	7.18%
その他	22,440,939	0.92%
合計	2,447,773,705	100.00%

## (9) 公衆浴場組合補助金の状況

年度	組合員数	使用水量 (m <sup>3</sup> )	補助金額 (円)	対前年比 (%)
22	3	4,026	790,000	
23	3	3,778	781,000	98.9

出典: 生活環境課

## (10) 県営水道料金差額補助金の状況

年度	件数 (件)	補助金額 (円)	対前年比 (%)
22	5,244	16,278,858	
23	5,279	16,827,975	103.4

出典: 市民課



## 4 施設の現況

### (1) 水源(水利権等の許可状況)

水源名	種別	位置	河川名	水利権 許可年月日	取水量 (㎥/日)
泉町水源	表流水	上田市小牧字坂下969-8	千曲川	平成24.4.9	36,288
新屋水源	表流水	上田市上野字堀越1789-2	神川(菅平ダム)	平成24.4.9	20,995
真田水源	表流水	上田市真田町長字下中井3784-5	神川(菅平ダム)	平成24.4.9	8,985
室賀水源	湧水	上田市上室賀字氷沢2987-1			290
岩清水水源	湧水	上田市殿城			50
依田川水源	表流水	上田市腰越字繁倉848-1	依田川	平成20.5.12	12,900
内村川水源	表流水	上田市西内字熊倉1766-11	内村川(内村ダム)	平成20.5.12	2,900
深山水源	湧水	上田市腰越			360
つちや水源	湧水	上田市真田町長1278-2442・2443			3,000
産子清水水源	湧水	上田市菅平高原1223-4697			300
裏ダボス水源	深井戸	上田市菅平高原1223-2344			400
宮浦水源	湧水	上田市真田町長1106			25.5
和熊水源	湧水	上田市真田町長1793-2			120
角間水源	湧水	上田市真田町長2808-3			642
旗見原水源	湧水	上田市真田町長4682			195.1
松井新田水源	深井戸	上田市真田町傍陽9052			317
小碓水源	湧水	上田市真田町傍陽3571			16.5
大松水源	湧水	上田市真田町傍陽国有林班48-3			600
菅ノ沢水源	湧水	上田市真田町傍陽1905-3			42
奈良尾第1水源	湧水	上田市真田町本原国有林班28-イ			600
奈良尾第2水源	表流水	上田市真田町本原4524-1	大沢川	平成16.4.1	1,400
長坂水源	湧水	上田市武石上本入2384-1			187
唐沢水源	湧水	上田市武石上本入1520			1,425
権現水源	湧水	上田市武石上本入572			176
余里水源	湧水	上田市武石余里1035-二			87
獅子ヶ城第1水源	深井戸	上田市武石小沢根576-46			80
獅子ヶ城第2水源	深井戸	上田市武石小沢根576-631			239
獅子ヶ城第3水源	湧水	上田市武石小沢根576-627			475
合計					93,095.1

(2) 取水施設(表流水)

ア 泉町水源地 (上田水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
頭首工名	上田農水頭首工	
水利権取水量	0.42m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	供用	
沈砂池	RC造 2,100m <sup>3</sup>	1池
ポンプ井	RC造 118m <sup>3</sup>	1池

イ 新屋取入口 (上田水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
水利権取水量	0.243m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	供用	
分水槽	RC造 7.0m <sup>3</sup>	1池
沈砂池	RC造 362m <sup>3</sup>	1池

ウ 真田取入口 (上田水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
頭首工名	真田水源頭首工	
水利権取水量	0.104m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	供用	
沈砂池	RC造 102m <sup>3</sup>	1池

エ 依田川取入口 (丸子水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
頭首工名	依田川頭首工	
水利権取水量	0.149m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	供用	

オ 内村ダム取入口 (丸子水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
名称	内村ダム	
水利権取水量	0.034m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	供用	

カ 奈良尾第2水源地 (本原簡易水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
水利権取水量	0.0162m <sup>3</sup> /s	
沈砂池	RC造 37.2m <sup>3</sup>	1池

(3) 浄水施設

ア 染屋浄水場

位置 上田市古里2250番地

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 56,500m <sup>3</sup> /日、(現況浄水能力46,800m <sup>3</sup> /日)	
着水井	RC造 79m <sup>3</sup>	1井
混和池	RC造 70m <sup>3</sup>	1池
ブロック形成池	RC造 1,594m <sup>3</sup>	1池
沈殿池	傾斜板方式 4,779m <sup>3</sup>	1池
緩速ろ過池	RC造 ろ過面積 780m <sup>2</sup> /池、ろ過速度 4.0~6.0m/日	13池
次亜塩注入機	150cc/分 340cc/分	4台、2台
配水池	RC造 2,000m <sup>3</sup> 、PC造 6,000m <sup>3</sup> 、PC造 4,800m <sup>3</sup> 、PC造 4,800m <sup>3</sup>	4池
排水処理施設	加圧脱水機 206m <sup>3</sup> /日	1式
管理棟	RC造 2階建 280m <sup>2</sup> 、123.9m <sup>2</sup>	2棟
水質検査棟	RC造 2階建 331.9m <sup>2</sup>	1棟

イ 石舟浄水場

位置 上田市真田町長4100番地

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 9,000m <sup>3</sup> /日、(現況浄水能力9,000m <sup>3</sup> /日)	
着水井	RC造 17.2m <sup>3</sup>	1井
混和池	RC造 12.0m <sup>3</sup>	1池
ブロック形成池	RC造 387m <sup>3</sup>	1池
沈殿池	RC造 4,250m <sup>3</sup>	1池
緩速ろ過池	RC造 ろ過面積 780m <sup>2</sup> /池、ろ過速度 4.0~6.0m/日	5池
次亜塩注入機	240cc/分	2台
配水池	PC造 2,400m <sup>3</sup> 、PC造 2,100m <sup>3</sup>	2池
管理棟	RC造 2階建 280m <sup>2</sup>	1棟

ウ 腰越浄水場

位置 上田市腰越845番地

(緩速系) 建設年月日:昭和35年12月1日

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 4,200m <sup>3</sup> /日、(現況浄水能力4,200m <sup>3</sup> /日)	
沈砂池	RC造 15m <sup>3</sup>	1池
着水井	RC造 30m <sup>3</sup>	1池
ブロック形成池	RC造 204m <sup>3</sup>	2池
沈殿池	RC造 904m <sup>3</sup>	2池
緩速ろ過池	RC造 ろ過面積 300m <sup>2</sup> /池、ろ過速度 3.0~6.0m/日	4池
次亜塩注入機	55cc/分	2台
配水池	RC造 1,880m <sup>3</sup>	2池

エ 腰越浄水場  
(急速系)

建設年月日:昭和51年3月31日

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 8,200m <sup>3</sup> /日、(現況浄水能力8,200m <sup>3</sup> /日)	
沈砂池	RC造 145m <sup>3</sup>	2池
着水井	RC造 40m <sup>3</sup>	1池
混和池	RC造 19m <sup>3</sup>	1池
フロック形成池	RC造 233m <sup>3</sup>	2池
沈殿池	RC造 548m <sup>3</sup>	2池
急速ろ過池	RC造 ろ過面積 23.1m <sup>2</sup> /池、ろ過速度 70m~120m/日	4池
次亜塩注入機	88cc/分	2台
配水池	RC造 1,770m <sup>3</sup>	2池
管理棟	RC造 2階建 1,473m <sup>2</sup>	1棟

オ 鹿教湯浄水場 建設年月日:昭和59年3月31日

位置 上田市西内1766番地13

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 2,800m <sup>3</sup> /日、(現況浄水能力2,800m <sup>3</sup> /日)	
着水井	RC造 46.0m <sup>3</sup>	1井
混和池	RC造 8.4m <sup>3</sup>	1池
フロック形成池	RC造 76m <sup>3</sup>	2池
沈殿池	RC造 173m <sup>3</sup>	2池
急速ろ過池	RC造 4.2m <sup>2</sup> ろ過速度50~80m/日	8池
次亜塩注入機	18cc/分 55cc/分	2台 2台
配水池	RC造 1,560m <sup>3</sup>	2池
管理棟	RC造 2階建 1,028.8m <sup>2</sup>	1棟

カ 赤井浄水場 建設年月日:平成8年3月20日

位置 上田市真田町本原3703番地

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 1,800m <sup>3</sup> /日、(現況浄水能力1,800m <sup>3</sup> /日)	
循環水槽	RC造 26m <sup>3</sup>	1池
浄水機	膜ろ過浄水能力300m <sup>3</sup> /日	6基
次亜塩注入機	16cc/分	8基
機械室	鉄骨造 264m <sup>2</sup>	1棟

(4) 配水池・ポンプ施設

染屋系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
染屋第1	1	RC	2,000			
染屋第2	1	PC	6,000			
染屋第3	1	PC	4,800			
染屋第4	1	PC	4,800			
泉町				3	送水	36,000
須川	1	RC	38	2	送水	144
倉升第1	1	RC	560	2	送水	4,320
倉升第2	1	PC	1,500			
久保田				2	送水	2,880
半過	1	RC	77	2	送水	324
越戸	1	RC	64			
上洞	1	RC	35	2	送水	302
岡第1	1	RC	64			
岡第2	1	PC	840			
岡第3	1	PC	500			
浦野	2	RC	280			
上室賀第1	2	RC	157	2	送水	907
上室賀第2	2	RC	16	2	送水	504
神科	1	PC	2,500	2	送水	4,608
(小計)	20		24,231	19		49,989

石舟系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
石舟第1	1	PC	2,100			
石舟第2	1	PC	2,400			
小井田第1	1	RC	570			
小井田第2	1	PC	2,500			
大目木	1	RC	400			
赤坂	1	RC	130	2	送水	216
樋之沢	1	RC	110			
北部	1	RC	300			
大屋	1	RC	160			
氷沢	1	RC	17	2	送水	144
滝の宮	1	RC	190			
山口	1	PC	2,000	2	送水	5,328
岩清水	1	RC	63			
長入	1	RC	19			
(小計)	14		10,959	6		5,688

腰越系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
腰越低区第1	1	RC	1,880			
腰越低区第2	1	RC	1,770			
腰越高区	1	PC	700	2	送水	2,736
池の芝第1				3	送水	490
池の芝第2				3	送水	490
池の芝	1	PC	500			
平戸	1	RC	72	2	送水	115
練合	2	RC	45	2	送水	504
藤原田	2	RC	150	2	送水	490
箱量	1	RC	80	2	送水	86
尾野山	1	RC	73	2	送水	432
二本木	1	RC	70			
茂沢	1	RC	70			
須川湖高区	1	RC	40	2	送水	316
須川湖低区	1	RC	40			
郷仕川原	1	RC	10			
上平				3	加圧	432
宮原				3	加圧	576
南方				3	加圧	432
南原				3	加圧	720
茂沢				3	加圧	936
(小計)	16		5,500	35		8,755

鹿教湯系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
鹿教湯浄水	1	RC	1,560			
鹿教湯	1	RC	500			
虚空蔵	1	RC	250			
霊泉寺	1	RC	40	2	送水	216
新屋	1	RC	94			
新屋	1	PC	250			
(小計)	6		2,694	2		216



真田系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
宮浦	1	RC	24			
宮前	1	RC	18	2	加圧	100
和熊	1	RC	39			
角間	1	RC	320			
横沢	1	RC	49			
長谷寺	1	RC	88			
真田	1	PC	500			
横尾	1	RC	79			
三島平	1	RC	50			
横道	2	RC	289			
穴沢高区	1	RC	48	2	送水	91
穴沢低区	1	RC	23			
萩	1	RC	114			
大良	1	RC	18			
松井新田	1	RC	155	1	揚水	800
				2	加圧	864
中組	1	RC	180			
赤井	2	RC	180			
本原中央	1	PC	1,000			
本原中央	1	RC	216			
番匠	1	RC	55			
熊久保	1	RC	9			
(小計)	23		3,454	7		1,855

菅平系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
四阿高原第1				3	送水	3,312
四阿高原第2	1	RC	90	3	送水	2,304
四阿高原加圧P				2	加圧	2,016
高区	1	RC	480			
高原	2	RC	600			
カントリー	1	RC	216	2	送水	600
裏ダボス	1	RC	500	1	送水	400
東組	2	RC	280			
穴水	1	RC	120			
西北	1	RC	180	2	送水	720
大松	1	RC	73	2	送水	403
中ノ沢	1	RC	480			
渋沢	1	RC	50			
(小計)	13		3,069	15		9,755

武石系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
長坂ポンプ室				2	送水	187
内の山ポンプ室				1	加圧	
上本入第1配水池	1	RC	200			
上本入第2配水池	1	RC	90			
上本入第3配水池	1	RC	18			
上本入第4配水池	1	RC	26			
上本入第5配水池	1	RC	18			
中央第1配水池	1	RC	280			
中央第2配水池	1	RC	48			
中央第3配水池	1	PC	400			
中央第3配水池	1	RC	293			
中央第4配水池	1	PC	300			
余里第1配水池	1	RC	90			
余里第2配水池	1	RC	56			
(小計)	12		1,819	3		187

獅子ヶ城系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
第1水源				1	送水	170
第1送水ポンプ室				2	送水	403
第1配水池	1		100			
第2水源				1	送水	259
第2送水ポンプ室				2	送水	576
第2配水池	1		125			
第3配水池	1		90			
第4配水池	1		156			
第3送水ポンプ室				2	送水	576
第4送水ポンプ室				2	送水	250
第5送水ポンプ室				2	送水	250
(小計)	4		471	12		2,484

(5) 管路延長等の状況

ア 用途・管種別延長

合計 (単位:m)

用途・管種	年度 年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
铸铁管	40,425.0	0.0 0.0	0.0 725.9	41,150.9
ダクタイル铸铁管 (耐震型継手を有す)	13,703.6	375.5 1,025.8	0.0 281.0	12,583.3
ダクタイル铸铁管 (上記以外)	719,151.1	21.6 134.7	643.7 0.0	719,638.5
鋼管	29,248.1	0.0 0.0	325.0 0.0	29,573.1
石綿セメント管	5,475.0	0.0 0.0	1,762.9 0.0	7,237.9
硬質塩化ビニル管	110,572.7	0.0 0.0	607.8 0.0	111,180.5
ポリエチレン管 (HPPE)	17,297.0	349.0 3,205.3	0.0 0.0	13,742.7
ステンレス管	532.4	0.0 0.0	0.0 0.0	532.4
その他(不詳等)	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
導送配水管延長計	936,404.9	746.1 4,365.8	3,339.4 1,006.9	935,639.3

上田地域 (単位:m)

用途・管種	年度 年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
铸铁管	40,425.0	0.0 0.0	0.0 725.9	41,150.9
ダクタイル铸铁管 (耐震型継手を有す)	10,798.7	51.1 760.9	0.0 281.0	10,267.7
ダクタイル铸铁管 (上記以外)	408,549.6	21.6 56.5	574.0 0.0	409,045.5
鋼管	22,390.9	0.0 0.0	60.1 0.0	22,451.0
石綿セメント管	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
硬質塩化ビニル管	34,464.5	0.0 0.0	110.6 0.0	34,575.1
ポリエチレン管 (HPPE)	3,229.8	119.1 762.7	0.0 0.0	2,348.0
ステンレス管	309.4	0.0 0.0	0.0 0.0	309.4
その他(不詳等)	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
導送配水管延長計	520,167.9	191.8 1,580.1	744.7 1,006.9	520,147.6

イ 用途・口径別延長

合計 (単位:m)

用途・口径	年度 年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
導水管	300mm未満	29,391.0	72.0 0.0	29,319.0
	300以上500mm未満	2,847.3	0.0 0.0	2,847.3
	導水管延長計	32,238.3	72.0 0.0	32,166.3
送水管	300mm未満	63,869.2	0.0 264.9	63,869.2
	送水管延長計	63,869.2	0.0 264.9	63,869.2
配水管	75mm	133,503.5	0.0 193.1	134,039.2
	100mm	402,832.1	369.6 3,324.4	2,697.2 0.0
	125mm	2,292.4	0.0 0.0	2,292.4
	150mm	157,893.1	324.4 106.0	213.2 0.0
	200mm	61,529.3	51.1 406.4	442.2 0.0
	250mm	38,891.9	0.0 0.0	38,891.9
	300mm	15,583.5	0.0 359.3	359.3 0.0
	350mm	12,241.4	0.0 0.0	12,241.4
	400mm	10,136.7	0.0 0.0	10,136.7
	450mm	4,860.5	0.0 0.0	4,860.5
	500mm	533.0	0.0 0.0	533.0
	配水管延長計	840,297.4	745.1 4,389.2	4,440.7 0.0
導送配水管延長計	936,404.9	817.1 4,654.1	4,705.6 0.0	

上田地域 (単位:m)

用途・口径	年度 年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
導水管	300mm未満	19,419.0	0.0 0.0	19,419.0
	300以上500mm未満	2,847.3	0.0 0.0	2,847.3
	導水管延長計	22,266.3	0.0 0.0	22,266.3
送水管	300mm未満	28,014.0	0.0 0.0	28,014.0
	送水管延長計	28,014.0	0.0 0.0	28,014.0
配水管	75mm	11,315.3	0.0 14.4	96.4 0.0
	100mm	275,725.8	140.7 1,111.3	1,057.8 0.0
	125mm	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0
	150mm	85,377.9	0.0 48.0	155.2 0.0
	200mm	40,538.0	51.1 406.4	442.2 0.0
	250mm	28,179.0	0.0 0.0	28,179.0
	300mm	10,763.5	0.0 359.3	359.3 0.0
	350mm	7,940.1	0.0 0.0	7,940.1
	400mm	9,515.0	0.0 0.0	9,515.0
	450mm	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0
	500mm	533.0	0.0 0.0	533.0
	配水管延長計	469,887.6	191.8 1,939.4	2,110.9 0.0
導送配水管延長計	520,167.9	191.8 1,939.4	2,110.9 0.0	

ウ ずい道・水路延長

合計 (単位:m)

用途	年度 年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
ずい道・水路延長	1,314.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1,314.0

上田地域 (単位:m)

用途	年度 年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
ずい道・水路延長	1,314.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1,314.0

エ 消火栓数

合計 (単位:基)

種類	年度	平成23年度		平成22年度
		設置数	撤去数	
地上式	2,596	11	8	2,593
地下式	1,197	16	9	1,190
合計	3,793	27	17	3,783

上田地域 (単位:基)

種類	年度	平成23年度		平成22年度
		設置数	撤去数	
地上式	603	1	1	603
地下式	1,174	14	9	1,169
合計	1,777	15	10	1,772

丸子地域

(単位:m)

年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
2,754.8	324.4 125.4	0.0 0.0	2,305.0
116,843.1	0.0 69.7	69.7 0.0	116,843.1
1,961.6	0.0 0.0	125.4 0.0	2,087.0
1,600.5	0.0 0.0	1,762.9 0.0	3,363.4
42,121.0	0.0 0.0	389.3 0.0	42,510.3
7,352.7	0.0 2,334.7	0.0 0.0	5,018.0
196.2	0.0 0.0	0.0 0.0	196.2
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
172,829.9	324.4 2,529.8	2,347.3 0.0	172,323.0

真田地域

年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
10.6	0.0 0.0	0.0 0.0	10.6
79,616.9	0.0 8.5	0.0 0.0	79,608.4
908.2	0.0 0.0	0.0 0.0	908.2
1,474.5	0.0 0.0	0.0 0.0	1,474.5
3,249.0	0.0 0.0	0.0 0.0	3,249.0
609.3	157.9 0.0	0.0 0.0	451.4
26.8	0.0 0.0	0.0 0.0	26.8
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
85,895.3	157.9 8.5	0.0 0.0	85,728.9

菅平地域

年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
139.5	0.0 139.5	0.0 0.0	0.0
57,532.9	0.0 0.0	0.0 0.0	57,532.9
2,051.4	0.0 0.0	139.5 0.0	2,190.9
2,400.0	0.0 0.0	0.0 0.0	2,400.0
23,852.2	0.0 0.0	107.9 0.0	23,960.1
2,791.8	0.0 107.9	0.0 0.0	2,683.9
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
88,767.8	0.0 247.4	247.4 0.0	88,767.8

丸子地域

(単位:m)

年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
395.0	0.0 0.0	0.0 0.0	395.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
395.0	0.0 0.0	0.0 0.0	395.0
8,741.2	0.0 125.4	125.4 0.0	8,741.2
8,741.2	0.0 125.4	125.4 0.0	8,741.2
36,661.2	0.0 170.2	632.4 0.0	37,123.4
43,306.2	71.0 2,105.2	1,531.5 0.0	42,661.5
1,665.4	0.0 0.0	0.0 0.0	1,665.4
41,762.2	324.4 58.0	58.0 0.0	41,437.8
16,730.3	0.0 0.0	0.0 0.0	16,730.3
8,964.9	0.0 0.0	0.0 0.0	8,964.9
4,820.0	0.0 0.0	0.0 0.0	4,820.0
4,301.3	0.0 0.0	0.0 0.0	4,301.3
621.7	0.0 0.0	0.0 0.0	621.7
4,860.5	0.0 0.0	0.0 0.0	4,860.5
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
163,693.7	395.4 2,333.4	2,221.9 0.0	163,186.8
172,829.9	395.4 2,458.8	2,347.3 0.0	172,323.0

真田地域

年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
6,167.0	0.0 0.0	0.0 0.0	6,167.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
6,167.0	0.0 0.0	0.0 0.0	6,167.0
3,447.0	0.0 0.0	0.0 0.0	3,447.0
3,447.0	0.0 0.0	0.0 0.0	3,447.0
35,886.2	0.0 8.5	0.0 0.0	35,877.7
26,860.1	157.9 0.0	0.0 0.0	26,702.2
135.0	0.0 0.0	0.0 0.0	135.0
12,531.0	0.0 0.0	0.0 0.0	12,531.0
869.0	0.0 0.0	0.0 0.0	869.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
76,281.3	157.9 8.5	0.0 0.0	76,114.9
85,895.3	157.9 8.5	0.0 0.0	85,728.9

菅平地域

年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
130.0	0.0 0.0	0.0 0.0	130.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
130.0	0.0 0.0	0.0 0.0	130.0
19,665.0	0.0 139.5	139.5 0.0	19,665.0
19,665.0	0.0 139.5	139.5 0.0	19,665.0
23,187.0	0.0 0.0	0.0 0.0	23,187.0
30,878.8	0.0 107.9	107.9 0.0	30,878.8
492.0	0.0 0.0	0.0 0.0	492.0
10,964.0	0.0 0.0	0.0 0.0	10,964.0
1,703.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1,703.0
1,748.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1,748.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
68,972.8	0.0 107.9	107.9 0.0	68,972.8
88,767.8	0.0 247.4	247.4 0.0	88,767.8

丸子地域

(単位:m)

年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0

真田地域

年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0

菅平地域

年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0

丸子地域

(単位:基)

	平成23年度		平成22年度
	設置数	撤去数	
712	8	5	709
20	2	0	18
732	10	5	727

真田地域

	平成23年度		平成22年度
	設置数	撤去数	
620	0	0	620
2	0	0	2
622	0	0	622

菅平地域

	平成23年度		平成22年度
	設置数	撤去数	
335	2	2	335
0	0	0	0
335	2	2	335

武石地域

用途・管種	年度 年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
铸铁管	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
ダクタイル铸铁管 (耐震型継手を有す ダクタイル铸铁管 (上記以外)	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	42,934.0	0.0 0.0	0.0 0.0	42,934.0
鋼管	1,001.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1,001.0
石綿セメント管	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
硬質塩化ビニル管	4,880.0	0.0 0.0	0.0 0.0	4,880.0
ポリエチレン管 (HPPE)	3,313.4	72.0 0.0	0.0 0.0	3,241.4
ステンレス管	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
その他(不詳等)	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
導送配水管延長計	52,128.4	72.0 0.0	0.0 0.0	52,056.4

獅子ヶ城地域

用途・管種	年度 年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
铸铁管	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
ダクタイル铸铁管 (耐震型継手を有す ダクタイル铸铁管 (上記以外)	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	13,674.6	0.0 0.0	0.0 0.0	13,674.6
鋼管	935.0	0.0 0.0	0.0 0.0	935.0
石綿セメント管	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
硬質塩化ビニル管	2,006.0	0.0 0.0	0.0 0.0	2,006.0
ポリエチレン管 (HPPE)	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
ステンレス管	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
その他(不詳等)	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
導送配水管延長計	16,615.6	0.0 0.0	0.0 0.0	16,615.6

武石地域

用途・口径	年度 年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
導水管	300mm未満	72.0 0.0	0.0 0.0	3,143.0
	300以上500mm未満	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	導水管延長計	72.0 0.0	0.0 0.0	3,143.0
送水管	300mm未満	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	送水管延長計	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
配水管	75mm	0.0 0.0	0.0 0.0	24,895.4
	100mm	0.0 0.0	0.0 0.0	15,802.0
	125mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	150mm	0.0 0.0	0.0 0.0	6,527.0
	200mm	0.0 0.0	0.0 0.0	1,689.0
	250mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	300mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	350mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	400mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	450mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	500mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
配水管延長計	0.0 0.0	0.0 0.0	48,913.4	
導送配水管延長計	72.0 0.0	0.0 0.0	52,056.4	

獅子ヶ城地域

用途・口径	年度 年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
導水管	300mm未満	0.0 0.0	0.0 0.0	65.0
	300以上500mm未満	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	導水管延長計	0.0 0.0	0.0 0.0	65.0
送水管	300mm未満	0.0 0.0	0.0 0.0	4,002.0
	送水管延長計	0.0 0.0	0.0 0.0	4,002.0
配水管	75mm	0.0 0.0	0.0 0.0	1,558.4
	100mm	0.0 0.0	0.0 0.0	10,259.2
	125mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	150mm	0.0 0.0	0.0 0.0	731.0
	200mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	250mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	300mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	350mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	400mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	450mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	500mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
配水管延長計	0.0 0.0	0.0 0.0	12,548.6	
導送配水管延長計	0.0 0.0	0.0 0.0	16,615.6	

武石地域

用途・管種	年度 年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
ずい道・水路延長	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0

獅子ヶ城地域

用途・管種	年度 年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
ずい道・水路延長	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0

武石地域

種類	年度	平成23年度		平成22年度
		設置数	撤去数	
地上式	258	0	0	258
地下式	1	0	0	1
合計	259	0	0	259

獅子ヶ城地域

種類	年度	平成23年度		平成22年度
		設置数	撤去数	
地上式	68	0	0	68
地下式	0	0	0	0
合計	68	0	0	68

(6) 配水量の推移

合計 (単位: m<sup>3</sup>)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	1,440,386	2.46%	1,405,795
5月	1,493,603	△1.07%	1,509,828
6月	1,497,740	△0.17%	1,500,297
7月	1,600,087	△1.43%	1,623,380
8月	1,641,131	△3.25%	1,696,298
9月	1,492,302	△2.21%	1,525,955
10月	1,520,365	0.37%	1,514,783
11月	1,442,698	△1.61%	1,466,296
12月	1,502,594	△1.38%	1,523,661
1月	1,504,302	△3.21%	1,554,123
2月	1,445,373	3.05%	1,402,542
3月	1,487,267	△0.15%	1,489,562
計	18,067,848	△0.79%	18,212,521
1日平均配水量	49,501		49,897

上田地域 (単位: m<sup>3</sup>)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	983,479	2.24%	961,960
5月	1,025,316	△0.47%	1,030,181
6月	1,016,687	△1.12%	1,028,174
7月	1,078,969	△1.10%	1,091,006
8月	1,087,561	△3.57%	1,127,800
9月	1,010,367	△1.22%	1,022,846
10月	1,025,481	△0.17%	1,027,209
11月	981,112	△0.98%	990,837
12月	1,015,939	△0.85%	1,024,614
1月	995,753	△3.69%	1,033,885
2月	964,581	2.88%	937,537
3月	985,555	△1.64%	1,001,944
計	12,170,800	△0.87%	12,277,993
1日平均配水量	33,345		33,638

丸子地域 (単位: m<sup>3</sup>)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	279,854	4.28%	268,380
5月	291,612	3.93%	280,572
6月	286,435	0.45%	285,162
7月	301,782	△2.95%	310,943
8月	306,402	△4.65%	321,339
9月	269,898	△10.76%	302,433
10月	286,919	△6.02%	305,282
11月	274,119	△7.69%	296,944
12月	294,351	△5.60%	311,808
1月	303,163	△4.93%	318,879
2月	282,122	△0.49%	283,516
3月	294,364	△0.72%	296,491
計	3,471,021	△3.09%	3,581,749
1日平均配水量	9,510		9,813

真田地域 (単位: m<sup>3</sup>)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	86,961	0.78%	86,286
5月	78,840	△18.56%	96,810
6月	91,022	△1.28%	92,202
7月	97,969	△4.22%	102,287
8月	99,886	0.22%	99,668
9月	90,933	△3.99%	94,716
10月	91,114	3.41%	88,110
11月	87,833	△2.12%	89,739
12月	91,522	△1.72%	93,122
1月	90,971	△4.35%	95,107
2月	84,845	2.67%	82,635
3月	89,271	△2.88%	91,919
計	1,081,167	△2.83%	1,112,602
1日平均配水量	2,962		3,048

菅平地域 (単位: m<sup>3</sup>)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	43,383	11.97%	38,747
5月	46,795	△1.68%	47,594
6月	52,892	22.84%	43,056
7月	68,666	5.60%	65,024
8月	92,892	4.68%	88,736
9月	64,509	19.77%	53,859
10月	54,610	27.78%	42,738
11月	51,501	23.76%	41,614
12月	55,491	18.95%	46,653
1月	69,593	20.63%	57,689
2月	68,545	31.03%	52,311
3月	70,881	39.32%	50,875
計	739,758	17.63%	628,897
1日平均配水量	2,027		1,723

武石地域 (単位: m<sup>3</sup>)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	46,405	△6.51%	49,635
5月	50,355	△6.40%	53,796
6月	50,379	△2.01%	51,410
7月	52,327	△2.72%	53,791
8月	53,098	△8.39%	57,959
9月	55,226	6.72%	51,750
10月	61,985	21.20%	51,144
11月	47,571	1.44%	46,898
12月	44,648	△5.35%	47,171
1月	44,313	△8.20%	48,270
2月	44,906	△2.98%	46,283
3月	46,120	△4.03%	48,059
計	597,333	△1.46%	606,166
1日平均配水量	1,637		1,661

獅子ヶ城地域 (単位: m<sup>3</sup>)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	304	△61.37%	787
5月	685	△21.71%	875
6月	325	10.92%	293
7月	374	13.68%	329
8月	1,292	62.31%	796
9月	1,369	289.89%	351
10月	256	△14.67%	300
11月	562	112.88%	264
12月	643	119.45%	293
1月	509	73.72%	293
2月	374	43.85%	260
3月	1,076	292.70%	274
計	7,769	51.88%	5,115
1日平均配水量	21		14

## (7) 平成23年度の水質

## ア 基準項目 (法令で達成しなければならないと定められている項目)

	項目名	単位	基準値	染屋浄水場系	石舟浄水場系	腰越浄水場系	鹿教湯浄水場系
				給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値
1	一般細菌	個/ml	100 以下	5	4	1	1
2	大腸菌		検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出
3	カドミウム	mg/l	0.003 以下	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
4	水銀	mg/l	0.0005 以下	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満
5	セレン	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
6	鉛	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
7	ヒ素	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
8	六価クロム	mg/l	0.05 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
9	シアン	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
10	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/l	10 以下	1.67	1.67	0.83	0.73
11	フッ素	mg/l	0.8 以下	0.09	0.06	0.05	0.05 未満
12	ほう素	mg/l	1.0 以下	0.07	0.11	0.02 未満	0.02 未満
13	四塩化炭素	mg/l	0.002 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
14	1,4-ジオキサン	mg/l	0.05 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
15	シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	0.04 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
16	ジクロロメタン	mg/l	0.02 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
17	テトラクロロエチレン	mg/l	0.01 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
18	トリクロロエチレン	mg/l	0.01 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
19	ベンゼン	mg/l	0.01 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
20	塩素酸	mg/l	0.6 以下	0.10	0.15	0.08	0.22
21	クロロ酢酸	mg/l	0.02 以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
22	クロロホルム	mg/l	0.06 以下	0.027	0.026	0.019	0.036
23	ジクロロ酢酸	mg/l	0.04 以下	0.005	0.005	0.009	0.012
24	ジブロモクロロメタン	mg/l	0.1 以下	0.003	0.002	0.001 未満	0.001 未満
25	臭素酸	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
26	総トリハロメタン	mg/l	0.1 以下	0.041	0.036	0.021	0.039
27	トリクロロ酢酸	mg/l	0.2 以下	0.007	0.008	0.009	0.012
28	ブロモジクロロメタン	mg/l	0.03 以下	0.011	0.009	0.002	0.003
29	ブロモホルム	mg/l	0.09 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
30	ホルムアルデヒド	mg/l	0.08 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
31	亜鉛	mg/l	1.0 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.04	0.02
32	アルミニウム	mg/l	0.2 以下	0.03	0.02	0.03	0.02 未満
33	鉄	mg/l	0.3 以下	0.01 未満	0.01	0.04	0.04
34	銅	mg/l	1.0 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.02
35	ナトリウム	mg/l	200 以下	19.2	13.9	6.2	8.4
36	マンガン	mg/l	0.05 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005	0.042
37	塩化物イオン	mg/l	200 以下	12.9	8.3	9.1	16.0
38	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/l	300 以下	58	62	25	58
39	蒸発残留物	mg/l	500 以下	139	129	122	155
40	陰イオン界面活性剤	mg/l	0.2 以下	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
41	ジェオスミン	mg/l	0.00001 以下	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満
42	2-メチルイソボルネオール	mg/l	0.00001 以下	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満
43	非イオン界面活性剤	mg/l	0.02 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
44	フェノール類	mg/l	0.005 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
45	有機物等(TOC)	mg/l	3 以下	0.8	0.8	0.7	0.8
46	pH値		5.8以上8.6以下	8.0	8.4	7.5	7.6
47	味		異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
48	臭気		異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
49	色度	度	5 以下	1.0	1.2	1.4	2.8
50	濁度	度	2 以下	0.01 未満	0.01	0.06	0.42

項目名	単位	長坂水系 給水栓水	東組水系 給水栓水	真田水系 給水栓水	傍陽西部水系 給水栓水	傍陽中央水系 給水栓水	大良水系 給水栓水
		最大値	最大値	最大値	最大値	最大値	最大値
一般細菌	個/ml	3	1	1	4	1	3
大腸菌		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
カドミウム	mg/l	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
水銀	mg/l	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満
セレン	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
鉛	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ヒ素	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001	0.001 未満	0.001 未満
六価クロム	mg/l	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
シアン	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/l	0.38	0.21	1.48	0.24	0.69	1.07
フッ素	mg/l	0.09	0.05 未満	0.05	0.12	0.10	0.14
ほう素	mg/l	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.03	0.02	0.02 未満
四塩化炭素	mg/l	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
1,4-ジオキサン	mg/l	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
ジクロロメタン	mg/l	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
テトラクロロエチレン	mg/l	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
トリクロロエチレン	mg/l	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
ベンゼン	mg/l	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
塩素酸	mg/l	0.07	0.05 未満	0.05 未満	0.08	0.05 未満	0.05 未満
クロロ酢酸	mg/l	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
クロロホルム	mg/l	0.002	0.001 未満	0.002	0.003	0.010	0.019
ジクロロ酢酸	mg/l	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002	0.003
ジブromクロロメタン	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001	0.001 未満
臭素酸	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
総トリハロメタン	mg/l	0.002	0.001 未満	0.002	0.005	0.014	0.023
トリクロロ酢酸	mg/l	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.003
ブromジクロロメタン	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.002	0.004	0.004
ブromホルム	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ホルムアルデヒド	mg/l	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
亜鉛	mg/l	0.02	0.02	0.02	0.01 未満	0.01 未満	0.05
アルミニウム	mg/l	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.06
鉄	mg/l	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01	0.05
銅	mg/l	0.03	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
ナトリウム	mg/l	3.4	5.6	5.6	20.5	13.8	10.5
マンガン	mg/l	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
塩化物イオン	mg/l	0.8	4.8	1.4	12.4	8.6	2.8
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/l	16	22	29	52	40	47
蒸発残留物	mg/l	18	66	75	94	88	143
陰イオン界面活性剤	mg/l	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
ジェオスミン	mg/l						
2-メチルイソボルネオール	mg/l						
非イオン界面活性剤	mg/l	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
フェノール類	mg/l	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
有機物等(TOC)	mg/l	0.9 未満	0.2 未満	0.3	0.2 未満	0.5	0.6
pH値		8.1	7.5	8.2	8.1	8.0	8.3
味		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	度	0.3	0.3	3.4	0.4	0.6	1.7
濁度	度	0.38	0.04	0.41	0.02	0.02	0.30

イ 水質管理目標設定項目（将来にわたって安全性を確保するために、監視していくことが望ましい項目）

採水日：H23.5.11

採水日：H23.7.6

項目名	単位	目標値	染屋浄水場系 給水栓水	石舟浄水場系 給水栓水
1 アンチモン	mg/l	0.015 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
2 ウラン	mg/l	0.002 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
3 ニッケル	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満
4 亜硝酸態窒素	mg/l	0.05 以下	0.01 未満	0.01 未満
5 1,2-ジクロロエタン	mg/l	0.004 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
8 トルエン	mg/l	0.4 以下	0.0005 未満	0.0005 未満
9 フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	mg/l	0.1 以下	0.01 未満	0.01 未満
10 亜塩素酸	mg/l	0.6 以下	----	----
12 二酸化塩素	mg/l	0.6 以下	----	----
13 ジクロロアセトニトリル	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満
14 抱水クロラール	mg/l	0.02 以下	0.002 未満	0.002 未満
15 農薬類		検出値と目標値 の比の和として、 1以下	0.001 未満	0.001 未満
16 残留塩素	mg/l	1 以下	0.2	0.3
17 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/l	10以上100以下	45	56
18 マンガン	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満
19 遊離炭酸	mg/l	20 以下	2.7	2.2
20 1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	0.3 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
21 メチル-tert-ブチルエーテル	mg/l	0.02 以下	0.0005 未満	0.0005 未満
22 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	mg/l	3 以下	1.5	1.8
23 臭気強度(TON)		3 以下	1	1
24 蒸発残留物	mg/l	30以上200以下	83	105
25 濁度	度	1 以下	0.01 未満	0.01
26 pH値		7.5 程度	7.8	8.4
27 腐食性(ランゲリア指数)		-1程度以上とし 極力0に近づける	-1.2	-0.2
28 従属栄養細菌	個/ml	2000 以下	4	12
29 1,1-ジクロロエチレン	mg/l	0.1 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
30 アルミニウム	mg/l	0.1 以下	0.02	0.02

6、7、11番は欠番

項目名	単位	目標値	腰越浄水場系 給水栓水	鹿教湯浄水場系 給水栓水
1 アンチモン	mg/l	0.015 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
2 ウラン	mg/l	0.002 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
3 ニッケル	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満
4 亜硝酸態窒素	mg/l	0.05 以下	0.01 未満	0.01 未満
5 1,2-ジクロロエタン	mg/l	0.004 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
8 トルエン	mg/l	0.4 以下	0.0005 未満	0.0005 未満
9 フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	mg/l	0.1 以下	0.01 未満	0.01 未満
10 亜塩素酸	mg/l	0.6 以下	----	----
12 二酸化塩素	mg/l	0.6 以下	----	----
13 ジクロロアセトニトリル	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満
14 抱水クロラール	mg/l	0.02 以下	0.003	0.005
15 農薬類		検出値と目標値 の比の和として、 1以下	----	----
16 残留塩素	mg/l	1 以下	0.1	0.4
17 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/l	10以上100以下	19	54
18 マンガン	mg/l	0.01 以下	0.005	0.003
19 遊離炭酸	mg/l	20 以下	4.7	4.8
20 1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	0.3 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
21 メチル-tert-ブチルエーテル	mg/l	0.02 以下	0.0005 未満	0.0005 未満
22 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	mg/l	3 以下	1.8	1.4
23 臭気強度(TON)		3 以下	2	2
24 蒸発残留物	mg/l	30以上200以下	53	88
25 濁度	度	1 以下	0.06	0.01 未満
26 pH値		7.5 程度	7.1	7.4
27 腐食性(ランゲリア指数)		-1程度以上とし 極力0に近づける	-2.4	-1.4
28 従属栄養細菌	個/ml	2000 以下	11	2
29 1,1-ジクロロエチレン	mg/l	0.1 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
30 アルミニウム	mg/l	0.1 以下	0.03	0.01

ウ その他の項目

採水日：H23.8.18

採水日：H23.7.6

項目名	単位	染屋浄水場系 原水	石舟浄水場系 原水
1 クリプトスポリジウム	(個/10L)	0	0
2 ジアルジア	(個/10L)	0	0

項目名	単位	腰越浄水場系 原水	鹿教湯浄水場系 原水
1 クリプトスポリジウム	(個/10L)	0	0
2 ジアルジア	(個/10L)	0	0



(8) 電力使用量の推移

合計 (単位:kWh)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	428,169	14.26%	374,743
5月	417,715	5.64%	395,423
6月	423,211	10.50%	382,981
7月	516,688	26.06%	409,860
8月	549,706	△3.50%	569,626
9月	561,265	△5.28%	592,582
10月	488,385	△0.25%	489,589
11月	416,356	2.53%	406,101
12月	435,390	7.25%	405,946
1月	564,136	25.86%	448,232
2月	445,926	2.23%	436,179
3月	425,629	8.12%	393,650
計	5,672,576	6.93%	5,304,912

上田地域 (単位:kWh)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	291,727	19.01%	245,135
5月	277,267	4.71%	264,798
6月	288,761	9.27%	264,252
7月	376,448	35.88%	277,039
8月	386,855	△1.01%	390,819
9月	383,382	△9.27%	422,541
10月	339,551	△4.32%	354,868
11月	280,048	0.79%	277,861
12月	300,364	7.59%	279,163
1月	414,336	41.76%	292,286
2月	292,963	0.54%	291,392
3月	264,550	0.83%	262,385
計	3,896,252	7.56%	3,622,539

丸子地域 (単位:kWh)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	71,854	6.32%	67,583
5月	72,650	10.15%	65,955
6月	63,333	6.30%	59,577
7月	64,115	△5.25%	67,670
8月	64,274	△13.67%	74,452
9月	63,957	△11.72%	72,450
10月	59,860	△11.64%	67,747
11月	59,087	△12.82%	67,777
12月	66,432	△6.26%	70,868
1月	61,941	△25.01%	82,598
2月	60,190	△16.04%	71,686
3月	58,319	△11.16%	65,643
計	766,012	△8.15%	834,006

真田地域 (単位:kWh)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	16,255	8.06%	15,042
5月	16,522	17.44%	14,069
6月	17,645	31.67%	13,401
7月	17,751	31.07%	13,543
8月	19,312	37.03%	14,093
9月	20,341	28.26%	15,859
10月	20,696	32.78%	15,587
11月	18,215	27.96%	14,235
12月	13,839	△7.21%	14,915
1月	13,991	△16.91%	16,839
2月	13,837	△16.26%	16,524
3月	19,547	31.36%	14,880
計	207,951	16.18%	178,987

菅平地域 (単位:kWh)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	45,666	8.15%	42,223
5月	46,227	5.97%	43,623
6月	49,376	17.86%	41,892
7月	54,181	15.76%	46,805
8月	74,945	△5.44%	79,254
9月	86,622	13.44%	76,358
10月	62,276	31.82%	47,244
11月	54,970	29.61%	42,411
12月	50,367	34.58%	37,426
1月	69,204	36.04%	50,870
2月	74,543	44.36%	51,637
3月	78,704	73.29%	45,418
計	747,081	23.45%	605,161

武石地域 (単位:kWh)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	1,847	22.24%	1,511
5月	1,896	△25.35%	2,540
6月	1,585	41.01%	1,124
7月	1,911	56.26%	1,223
8月	1,943	0.31%	1,937
9月	2,083	18.55%	1,757
10月	1,804	0.89%	1,788
11月	1,942	7.47%	1,807
12月	1,802	11.10%	1,622
1月	2,206	△9.11%	2,427
2月	1,831	10.57%	1,656
3月	1,970	△8.24%	2,147
計	22,820	5.95%	21,539

獅子ヶ城地域 (単位:kWh)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	820	△74.76%	3,249
5月	3,153	△28.95%	4,438
6月	2,511	△8.19%	2,735
7月	2,282	△36.26%	3,580
8月	2,377	△73.80%	9,071
9月	4,880	34.92%	3,617
10月	4,198	78.26%	2,355
11月	2,094	4.18%	2,010
12月	2,586	32.48%	1,952
1月	2,458	△23.47%	3,212
2月	2,562	△21.99%	3,284
3月	2,539	△20.08%	3,177
計	32,460	△23.95%	42,680

(9) 薬品使用量の推移

ア ポリ塩化アルミニウム(PAC)

上田地域

(単位:kg)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	9,300	△7.55%	10,060
5月	12,600	25.75%	10,020
6月	7,900	△21.24%	10,030
7月	17,600	△41.45%	30,060
8月	16,600	65.17%	10,050
9月	17,700	75.42%	10,090
10月	6,100	△69.55%	20,030
11月	1,300	△87.14%	10,110
12月	100	△98.59%	7,110
1月	400	皆増	0
2月	2,300	皆増	0
3月	3,100	皆増	0
計	95,000	△19.19%	117,560

丸子地域

(単位:kg)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月		皆減	7,980
5月	} 5,800	△75.75%	
6月			7,950
7月			7,950
8月			8,020
9月			0
10月			0
11月		——	0
12月		——	0
1月		——	0
2月		——	0
3月		皆減	7,960
計	5,800	△85.45%	39,860

イ ポリシリカ鉄(PSI)

丸子地域

(単位:kg)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	5,215	皆増	0
5月	7,586	皆増	0
6月	6,356	皆増	0
7月	6,983	皆増	0
8月	8,352	皆増	0
9月	6,380	皆増	0
10月	5,637	皆増	0
11月	6,124	皆増	0
12月	6,240	皆増	0
1月	6,055	皆増	0
2月	5,869	皆増	0
3月	4,500	皆増	0
計	75,297	皆増	0

ウ 次亜塩素酸ナトリウム

合計 (単位:kg)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	8,599	5632.67%	150
5月	11,708	5.00%	11,150
6月	12,123	△29.48%	17,190
7月	15,324	36.09%	11,260
8月	16,960	△2.02%	17,310
9月	12,980	△20.27%	16,280
10月	10,267	0.36%	10,230
11月	10,430	△40.77%	17,610
12月	7,772	△23.73%	10,190
1月	8,962	32.38%	6,770
2月	7,814	△23.54%	10,220
3月	8,155	△54.97%	18,110
計	131,094	△10.50%	146,470

上田地域 (単位:kg)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	6,000	皆増	
5月	7,800	△22.00%	10,000
6月	7,600	△24.53%	10,070
7月	10,600	5.16%	10,080
8月	11,800	17.41%	10,050
9月	10,200	1.49%	10,050
10月	7,600	△24.68%	10,090
11月	6,700	△33.47%	10,070
12月	6,100	△38.94%	9,990
1月	5,600	皆増	
2月	5,200	△48.46%	10,090
3月	6,100	△39.30%	10,050
計	91,300	△9.19%	100,540

丸子地域 (単位:kg)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	2,599	皆増	0
5月	2,632	皆増	0
6月	3,423	△42.85%	5,990
7月	3,604	皆増	0
8月	3,220	△46.86%	6,060
9月	2,700	△55.52%	6,070
10月	2,587	皆増	0
11月	2,610	△56.50%	6,000
12月	1,672	皆増	0
1月	2,802	△53.38%	6,010
2月	2,519	皆増	0
3月	915	△85.10%	6,140
計	31,283	△13.75%	36,270

真田地域 (単位:kg)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	0	—	0
5月	1,000	0.00%	1,000
6月	1,000	0.00%	1,000
7月	1,000	0.00%	1,000
8月	1,800	80.00%	1,000
9月	0	—	0
10月	0	—	0
11月	1,000	△28.57%	1,400
12月	0	—	0
1月	500	△16.67%	600
2月	0	—	0
3月	1,100	△38.89%	1,800
計	7,400	△5.13%	7,800

武石地域 (単位:kg)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
4月	0	皆減	150
5月	276	84.00%	150
6月	100	△23.08%	130
7月	120	△33.33%	180
8月	140	△30.00%	200
9月	80	△50.00%	160
10月	80	△42.86%	140
11月	120	△14.29%	140
12月	0	皆減	200
1月	60	△62.50%	160
2月	95	△26.92%	130
3月	40	△66.67%	120
計	1,111	△40.27%	1,860



# 公共下水道事業編



# 1 事業の概要

## (1) 事業の沿革

上田市の公共下水道事業は、昭和 42 年公共下水道の事業の認可を受け、旧上田市の中心市街地から着手し、以来管渠施設の整備と下水処理場の建設を進めてきました。

公共下水道は、上田地域では千曲川右岸地域の上田処理区・神川東処理区を「上田下水浄化センター」、千曲川左岸地域の南部処理区・中塩田処理区を「南部クリーンパーク」、別所温泉処理区を「別所温泉浄化センター」の 3 つの施設で処理しています。

真田地域では、菅平処理区を「菅平浄化センター」、真田処理区を「真田浄化センター」の 2 つの施設で処理し、丸子地域では丸子処理区(丸子分区・依田分区)を「丸子浄化センター」、西内処理区を「西内浄化センター」の 2 つの施設で処理しています。

平成 18 年 3 月の新上田市の誕生に伴い、千曲川右岸地域に 4 処理区・千曲川左岸地域に 5 処理区を抱え、処理区域面積 4,615ha、計画処理人口 152,700 人を目標に下水道管渠の建設と終末処理場の拡張を行い千曲川をはじめとする公共用水域の水質汚濁の防止、快適で文化的な生活環境作りを目指しています。

なお、全地域の管渠建設工事については、平成 25 年度の概成を目標としています。

## (2) 事業のあゆみ

### ア 上田地域

上田地域の公共下水道事業は、昭和 42 年に当初事業認可を取得し、下水道事業に着手した。その後、管渠施設の整備と下水処理場の建設を進め、昭和 47 年には上田終末処理場の供用開始に至り、さらに平成 7 年に別所温泉終末処理場、平成 11 年に南部終末処理場の供用開始に至っている。

また、下水道全体計画は、当初昭和 42 年の 1,129ha (千曲川右岸の市街地) から昭和 55 年には千曲川左岸の南部処理区を加えて 2,230ha に拡大し、平成 2 年には別所温泉処理区、平成 7 年には中塩田処理区、平成 8 年には神川東処理区を加えて現在 3,444ha となっている。

昭和39年	4月	建設部都市計画係にて認可事務開始
昭和42年	3月	公共下水道の設置を市議会で議決
	9月	第1期計画決定(公共:上田処理区)487.4ha
	10月	事業計画認可(公共:上田処理区)190.5ha 管渠布設開始
昭和44年	5月	第1期受益者負担金省令公布(m <sup>2</sup> 当たり90.76円) 賦課区域面積168.4ha 終末処理場建設開始
昭和46年	7月	建設部に下水道課を新設
	10月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)
昭和47年	4月	下水道条例公布
	5月	下水道課に普及係、建設係を設置

昭和47年	7月	終末処理場運転開始供用開始告示57ha 終末処理場を上小衛生施設組合に管理委託
昭和51年	1月	第1期計画決定変更(公共:上田処理区)(計画面積合計550ha)
	3月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)225.4ha (認可面積合計415.9ha)
昭和53年	4月	終末処理場の管理委託を民間管理会社に変更
	7月	下水道使用料の3か年次分改定
	12月	第2期受益者負担金条例公布(m <sup>2</sup> 当たり200円) 賦課区域面積138.7ha
昭和56年	3月	計画決定変更(公共:上田処理区)(計画面積合計1,155ha)
	7月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)583ha(認可面積合計998.9ha)
昭和58年	12月	第3期受益者負担金条例公布(m <sup>2</sup> 当たり270円) 下水道使用料改定
昭和59年	4月	第3期工事区域の内、前期分賦課区域公告307.8ha
昭和61年	10月	下水道課に下水浄化センター設置3係となる
昭和62年	1月	終末処理場の用地拡大計画決定
	2月	終末処理場の用地拡大事業計画変更認可
昭和62年	12月	下水道使用料改定
昭和63年	3月	ポンプ場位置変更の計画決定
昭和63年	8月	ポンプ場位置変更の事業計画変更認可
平成元年	4月	下水道使用料改定(消費税導入) 第3期工事区域の内、後期分賦課区域公告255.3ha
平成2年	3月	ポンプ場位置変更、終末処理場用地減少の計画変更
	7月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)136.1ha(認可面積合計1,135ha)
	12月	上塩尻ポンプ場運転開始
	3月	第4期受益者負担金条例公布(m <sup>2</sup> 当たり360円)
平成3年	4月	第4期工事区域の賦課区域公告136.1ha
	10月	計画決定(特環:別所温泉処理区)68ha(計画面積合計1,223ha)
	12月	事業計画認可(特環:別所温泉処理区)68ha(認可面積合計1,203ha)
平成4年	4月	下水道使用料改定
	10月	下塩尻ポンプ場運転開始
	12月	受益者負担金条例公布(特環:m <sup>2</sup> 当たり470円)
平成5年	4月	別所温泉処理区の賦課区域公告61.9ha
	7月	計画決定変更(公共:上田処理区)655ha(公共:南部処理区)850ha (計画面積合計2,728ha)
	11月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)330ha(公共:南部処理区)292ha (認可面積合計1,825ha)
平成6年	12月	第5期受益者負担金条例公布(m <sup>2</sup> 当たり510円)
平成7年	4月	第5期工事区域の賦課区域公告545ha
	5月	機構改革により農村下水道課と合併
	7月	下水道使用料改定
	12月	別所温泉浄化センター運転開始一部供用開始
平成8年	1月	事業計画変更認可(特環:別所温泉処理区)事業完了年月日、事業費の変更



平成8年	12月	上田市下水浄化センター内汚泥焼却炉運転開始
平成9年	4月	機構改革により建設部下水道課から水道局下水道課、水道局計画管理課の2課となる。 下水道使用料改定
平成10年	2月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)345ha(公共:南部処理区)304ha 事業計画認可(特環:中塩田処理区)98ha(認可面積合計2,572ha)
	12月	第6期受益者負担金(分担金)条例公布(m <sup>2</sup> 当たり560円)
平成11年	2月	事業認可(特環:神川東処理区)98ha(認可面積合計2,670ha)
	4月	下水道使用料改定
	7月	計画決定変更(公共:上田処理区)70ha(計画面積合計2,798ha)
	10月	事業計画変更認可(公共:南部処理区)34ha(特環:中塩田処理区)136ha (認可面積合計2,840ha)
	12月	南部終末処理場運転開始
平成12年	4月	機構改革により計画管理課を営業課と改称する。
	6月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)70ha (特環:神川東処理区)125ha (認可面積合計3,035ha)
	11月	計画決定変更北部汚水中継ポンプ場廃止
平成13年	4月	水道局を上下水道局と改称し、事業管理者を置く。 下水道事業に地方公営企業法を全部適用する。 下水道使用料改定
	6月	計画決定変更(公共:南部処理区)15ha(計画面積合計2,813ha) 事業計画変更認可(公共:南部処理区)235ha (特環:中塩田処理区)128ha (認可面積合計3,398ha)
平成14年	10月	事業計画変更認可(特環:神川東処理区)58ha (認可面積合計3,456ha)
平成15年	3月	事業計画変更認可 (特環:別所温泉処理区)事業年度の変更 平成14年度→平成19年度 (認可面積合計3,456ha)
	4月	中塩田処理区一部供用開始(約2,500戸7,000人)
	12月	神川東処理区一部供用開始(約1,100戸2,900人) 神川東ポンプ場運転開始
平成16年	3月	計画決定変更(公共:上田処理区) 国分污水ポンプ場をマンホール形式ポンプ場に変更 事業計画変更認可(公共:上田処理区) 国分污水ポンプ場をマンホール形式ポンプ場に変更
	10月	事業計画変更認可(公共:上田終末処理場・南部終末処理場) 設備の構造及び能力の変更 下水道法施行令の改定に伴う計画放流水の変更
平成20年	3月	計画決定変更(公共:上田処理区・南部処理区 特環:別所温泉処理区) 事業年度及び事業費の変更 事業計画変更認可(公共:上田処理区・南部処理区 特環:別所温泉処理区・中塩田処理区・神川東処理区)計画諸元及び事業区域・工事終了予定年月日の変更

## イ 丸子地域

丸子地域の公共下水道事業は、昭和55年2月に西内処理区の当初事業認可を取得し、下水道事業に着手した。その後、昭和62年12月に西内終末処理場の供用開始に至り、さらに平成11年3月に丸子終末処理場の供用開始に至っている。

また、下水道全体計画は当初昭和52年4月の西内処理区(47ha)から、平成2年3月に丸子処理区を加え、その後、平成20年3月に見直し計画を立案し、現在845haとなっている。

### ・公共(丸子処理区)

平成2年	3月	基本計画策定
平成4年度		終末処理場位置決定
平成5年	3月	第2次都市計画変更決定
平成5年	11月	下水道法及び都市計画変更決定(99.0ha) 管渠工事着手
平成6年度		第1回変更事業認可(幹線管渠路線変更) 処理場用地買収(土地開発公社) 処理場実施(基本)設計業務委託(日本下水道事業団)
平成7年度		処理場用地買戻し(~10年度) 処理場実施(詳細)設計業務委託(日本下水道事業団)
平成7年	5月	第1回変更事業認可(幹線管渠路線変更)
平成8年度		処理場建設工事に係る基本協定締結(日本下水道事業団) 処理場第1期建設工事着手(水処理施設:2,400m <sup>3</sup> /日) (汚泥処理設備:2,400m <sup>3</sup> /日) 事業計画見直し業務委託(日本下水道事業団) 公共下水道事業受益者負担金に関する条例制定
平成9年	8月	第2回変更事業認可(区域、計画人口、計画汚泥量変更)510.0ha
平成10年度		平成11年3月27日一部供用開始
平成11年度		処理場第2期基本協定変更(日本下水道事業団) (水処理施設:9,600m <sup>3</sup> /日)
平成12年度		全体計画見直し業務委託(日本下水道事業団)
平成14年度		第3次都市計画変更決定
平成14年	8月	第3回変更事業認可(区域、計画人口、計画汚泥量変更)716.0ha (水処理施設:12,000m <sup>3</sup> /日)
平成15年度		事業再評価の実施(事業継続)
平成16年度		事業再評価の実施(事業継続) 議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日) 下水道使用料改定諮問(アップ答申を得る) 議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日)
平成17年度		都市計画決定区域の変更 地方公営企業法を全部適用
平成20年	3月	第4回変更事業認可(区域、計画人口、計画汚泥量変更)752.0ha

・特環(西内処理区)

昭和52年度	基本計画策定
昭和54年度	処理場位置決定 公共下水道事業特別会計設置
昭和55年度	下水道係新設 処理場用地買収
昭和55年 3月	下水道法事業認可(47.0ha)
昭和56年度	処理場用地買収
昭和57年度	管渠工事着手 事業計画見直し業務委託(日本下水道事業団)
昭和58年 10月	第1回変更事業認可(区域及び計画汚水量変更)49.1ha
昭和59年度	処理場実施(基本)設計業務委託(日本下水道事業団) 特定環境保全公共下水道審議会条例制定 下水道事業受益者分担に関する条例制定
昭和60年度	処理場実施(詳細)設計業務委託(日本下水道事業団)
昭和60年 5月	第2回変更事業認可(処理方式変更:回転円盤→OD) 処理場用地買収 処理場建設工事に係る基本協定締結(日本下水道事業団) 公共下水道都市計画決定 処理場第1期建設工事着手(水処理施設:2,200m <sup>3</sup> /日) (汚泥処理設備:1,650m <sup>3</sup> /日)
昭和62年度	下水道条例制定 下水道条例施行規則制定 下水道指定工事店の指定等に関する規則制定 水洗便所改造資金融資あっ旋要綱制定 処理場管理本館及び水処理施設完成 一部供用開始(12月15日)
昭和63年度	下水道事業受益者分担に関する条例施行規則制定 処理場第1期建設工事完了
平成元年度	下水道条例の一部改正 下水道条例施行規則の一部改正 49.1haの管渠整備完了 事業計画見直し業務委託(日本下水道事業団)
平成2年度	処理場第2期実施(詳細)設計業務委託(下水道事業団) 処理場第2期建設工事着手(水処理施設:1,100m <sup>3</sup> /日) (汚泥処理設備:1,650m <sup>3</sup> /日) 処理場汚泥処理設備全設備完了
平成2年 8月	第3回変更事業認可(区域の変更)64.8ha
平成3年度	処理場全体計画施設完了 全体事業計画の見直し業務委託(日本下水道事業団)
平成4年 5月	第4回変更事業認可(全体計画区域の拡大)79.1ha
平成5年度	計画区域内の管渠整備概成

平成6年度	下水道条例の全部改正 下水道条例施行規則の全部改正 下水道排水設備指定工事店規則の全部改正
平成7年度	第5回変更事業認可(事業期間の延伸)
平成11年度	下水道使用料改定諮問(審議会5回開催、24.6%アップ答申を得る) 議会3月定例会、使用料24.6%アップ改定案提出 継続審議
平成12年度	議会6月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成13年1月1日) 全体事業計画の見直し業務委託(日本下水道事業団)
平成16年度	事業再評価の実施(事業継続) 議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日) 下水道使用料改定諮問(アップ答申を得る) 議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日)
平成16年 11月	都市計画決定区域の変更
平成17年 3月	第6回変更事業認可(計画区域拡大)86.0ha
平成17年度	地方公営企業法を全部適用
平成20年 3月	第7回変更事業認可(計画人口、計画汚水量変更)

#### ウ 真田地域

真田地域の公共下水事業は、昭和52年に菅平処理区の当回事業認可を取得し、下水道事業に着手した。その後、昭和60年6月に菅平浄化センターの供用開始に至り、さらに平成9年4月に真田浄化センターの供用開始に至っている。

また、下水道全体計画は当初の菅平処理区(210ha)から、平成4年度に真田処理区を加え、その後、平成10年度に真田処理区の見直し、平成13年度に菅平処理区の見直し計画(区域の縮小)を立案し、現在326haとなっている。

#### ・特環(真田処理区)

平成4年	3月	基本計画策定
	12月	下水道法事業認可
平成5年	3月	処理場用地買収 処理場地質調査
平成6年	6月	処理場水処理棟建設工事着手
平成7年	7月	処理場管理汚泥棟建設工事着手 処理場水処理機械電気設備工事着手(1/2系列 1,600m <sup>3</sup> /日)
平成8年	3月	第1回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成予定の延伸及び全体計画の一部見直し)
	7月	処理場汚泥設備工事着手 処理場場内整備工事
平成9年	4月	平成9年4月1日一部供用開始(1/2系列1,600m <sup>3</sup> /日) 処理場汚泥処理設備工事着手
平成10年	11月	全体計画区域の見直し(全体計画区域の拡大及び排水量原単位の見直し) 第2回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成期限の延伸)

平成11年	12月	第3回変更事業認可(区域の拡大)
平成13年	10月	処理場水処理機械電気工事着手(2/2系列 1,600m <sup>3</sup> /日)
平成14年	2月	154ha管渠整備完了
	3月	2/2系列目供用開始(1,600m <sup>3</sup> /日)
平成16年	2月	第4回変更事業認可(計画処理量の変更及び工事完成予定の延伸) (3,200m <sup>3</sup> /日→2,400m <sup>3</sup> /日)
平成20年	3月	事業計画変更認可(計画諸元、施設計画の変更及び工事終了予定年月日の変更、計画処理量変更) (2,400m <sup>3</sup> /日→3,200m <sup>3</sup> )
	4月	地方公営企業法を全部適用

・特環(菅平処理区)

昭和52年	2月	基本計画策定 下水道法事業認可 処理場用地買収
	6月	処理場実施設計 処理場造成工事 管渠工事着手
昭和53年	5月	処理場実施設計 処理場造成工事
昭和54年	9月	第1回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成予定の延伸) 処理場土木工事着手
昭和55年	7月	処理場建築工事着手
昭和57年	9月	処理場機械設備工事着手
昭和58年	1月	第2回変更事業認可(放流渠の位置の変更及び工事完成予定の延伸)
昭和59年	9月	処理場電気設備工事着手
昭和60年	6月	1/2系列供用開始(2,250m <sup>3</sup> /日)(6月24日)
昭和62年	12月	第3回変更事業認可(工事完成予定の延伸)
昭和63年	8月	第4回変更事業認可(区域の拡大)
平成元年	12月	3/4系列目供用開始(1,125m <sup>3</sup> /日)
平成4年	7月	第5回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成予定の延伸)
	12月	4/4系列目供用開始(1,125m <sup>3</sup> /日)
平成5年	9月	172ha管渠整備完了
平成9年	7月	第6回変更事業認可(工事完成予定の延伸)
平成13年	3月	第7回変更事業認可(工事完成予定の延伸)
平成14年	3月	全体計画見直し(区域の縮小及び水処理方式の変更)
平成15年	3月	第8回変更事業認可(水処理方式の変更)
平成19年	12月	OD法で処理開始(水処理方式の変更) ※OD法=酸化溝法(オキシデーシオンディッチ法)
平成20年	3月	事業計画変更認可(計画諸元、施設計画の変更及び工事終了予定年月日の変更)
	4月	地方公営企業法を全部適用

## (3) 事業計画

項目		単位	上田公共下水道事業					
			公 共		特 環			
			上田処理区	南部処理区	別所温泉 処理区	中塩田 処理区	神川東 処理区	
目標年次	全体計画	年	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	
	認可計画	年	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	
計画処理区域	全体計画	ha	1,869	859	70	364	282	
	認可計画	ha	1,869	859	70	364	282	
計画処理人口	常住人口	人	52,100	29,400	1,300	9,900	9,900	
	観光人口(宿泊)	人	—	—	1,400	—	—	
	観光人口(日帰り)	人	6,200	—	2,200	2,300	—	
生活・営業 汚水量原単位	日平均	生活	L/日・人	290	270	230	220	220
		営業	L/日・人	120	50		40	40
		営業用水率	%	40	20		20	20
		計	L/日・人	410	320	230	260	260
	日最大	L/日・人	550	430	330	350	350	
	時間最大	L/日・人	940	730	560	600	600	
地下水量原単位		L/日・人	110	60	70	50	70	
計画汚水量(日最大)	生活・営業	m <sup>3</sup> /日	28,660	12,640	430	3,470	3,470	
	地下水量	m <sup>3</sup> /日	5,730	1,760	90	500	690	
	工場	m <sup>3</sup> /日	4,180	880	—	—	90	
	観光	m <sup>3</sup> /日	527	—	737	127	—	
	その他	m <sup>3</sup> /日	3,000					
	計	m <sup>3</sup> /日	42,097	15,280	1,257	4,097	4,250	
計画処理水量(日平均)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	33,482	11,960	898	3,162	3,340	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	33,802	11,960	898	3,162	3,340	
計画処理水量(日最大)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	42,097	15,280	1,257	4,097	4,250	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	37,912	14,116	1,242	3,801	4,064	
計画処理水量(時間最大)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	69,028	24,980	2,065	6,647	6,810	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	69,668	24,980	2,065	6,647	6,810	

項目		単位	丸子公共下水道事業			真田公共下水道事業		
			公共	特環		特環		
			丸子処理区 (丸子分区)	丸子処理区 (依田分区)	西内処理区	菅平処理区	真田処理区	
目標年次	全体計画	年	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	
	認可計画	年	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	
計画処理区域	全体計画	ha	559	200	86	172	154	
	認可計画	ha	557	195	86	172	154	
計画処理人口	常住人口	人	14,600	5,500	1,100	900	5,000	
	観光人口(宿泊)	人	--	--	2,200	6,400	--	
	観光人口(日帰り)	人	--	--	400	1,900	--	
生活・営業 汚水量原単位	日平均	生活	L/日・人	240	220		275	220
		営業	L/日・人	70	40			40
		営業用水率	%	30	20			20
		計	L/日・人	310	260	440	275	260
	日最大	L/日・人	410	350	590	670	350	
	時間最大	L/日・人	700	600	890	1,340	700	
地下水量原単位		L/日・人	60	50	120	130	50	
計画汚水量(日最大)	生活・営業	m <sup>3</sup> /日	5,990	1,930	650	600	1,750	
	地下水量	m <sup>3</sup> /日	880	280	130	120	250	
	工場	m <sup>3</sup> /日	2,630	10	120	--	--	
	観光	m <sup>3</sup> /日	--	--	1,192	3,742		
	その他	m <sup>3</sup> /日			360		0	
	計	m <sup>3</sup> /日	9,500	2,220	2,452	4,462	2,000	
計画処理水量(日平均)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	7,780	1,720	1,957	1,918	1,550	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	7,850	1,750	2,017	1,918	1,590	
計画処理水量(日最大)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	9,500	2,220	2,452	4,462	2,000	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	8,736	2,090	2,442	4,376	1,990	
計画処理水量(時間最大)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	16,360	3,600	3,508	8,814	3,750	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	16,510	3,660	3,608	8,814	3,830	





## 2 財政の状況

### (1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
下水道事業収益		4,870,487,129	△2.39%	4,989,683,218
営業収益		2,475,725,253	△2.65%	2,543,131,704
営業外収益		2,394,761,876	△1.18%	2,423,317,423
特別利益		-	皆減	23,234,091
下水道事業費用		4,693,884,531	△0.93%	4,737,862,944
営業費用		3,299,016,559	1.05%	3,264,816,292
営業外費用		1,394,854,432	△5.30%	1,472,993,752
特別損失		13,540	△74.40%	52,900
収支差引額		176,602,598	△29.87%	251,820,274

(税込・単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
損益勘定留保資金発生額		2,306,729,719	2.19%	2,257,231,414
減価償却費		2,211,472,996	△0.29%	2,217,794,267
固定資産除却費		95,256,723	141.91%	39,376,505
固定資産売却損		-	皆減	60,642
固定資産譲渡損		-	—	-
繰延勘定償却		-	—	-
固定資産除却損		-	—	-
消費税資本的収支調整額(△)		-	—	-
欠損金(△)		-	—	-
欠損金処理額		-	—	-
その他		-	—	-
損益勘定留保資金補てん額		2,222,233,690	13.20%	1,963,121,043
過年度不足分補てん額		-	—	-
過年度分修正		-	—	-
損益勘定留保資金残高		3,816,792,704	2.26%	3,732,296,675

## (2) 資本的収支及び補てん財源の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
資 本 的 収 入		1,530,794,081	12.71%	1,358,194,273
企業債		803,800,000	38.30%	581,200,000
国庫補助金		327,312,250	31.61%	248,698,000
受益者負担金		94,799,936	△34.24%	144,164,480
工事負担金		419,895	△97.17%	14,837,360
他会計補助金		304,462,000	△17.29%	368,091,000
固定資産売却代金		-	皆減	683,433
貸付金返還金		-	——	-
他会計長期借入金		-	——	-
他会計出資金		-	——	-
他会計負担金		-	——	-
その他資本的収入		-	皆減	520,000
資 本 的 支 出		4,050,624,103	11.60%	3,629,542,643
建設改良費		1,428,916,754	35.35%	1,055,730,219
企業債償還金		2,620,503,910	1.94%	2,570,706,051
補助金返還金		375,889	△87.90%	3,106,373
受益者負担金返還金		827,550	皆増	-
他会計長期借入金返還金		-	——	-
投資		-	——	-
開発費		-	——	-
退職給与金		-	——	-
試験研究費		-	——	-
災害損失		-	——	-
その他資本的支出		-	——	-
収 支 差 引 額		△2,519,830,022	10.94%	△2,271,348,370
翌年度繰越充当額		24,616,800	△50.52%	49,751,250

(税込・単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
補 て ん 財 源		2,544,446,822	9.62%	2,321,099,620
消費税資本的収支調整額		31,634,176	187.78%	10,992,568
繰越工事資金		49,751,250	162.78%	18,932,450
損益勘定留保資金		2,222,233,690	13.20%	1,963,121,043
引継金		-	——	-
利益剰余金処分額		240,827,706	△26.59%	328,053,559
減債積立金		240,827,706	△26.59%	328,053,559
建設改良積立金		-	——	-
未処分利益剰余金		-	——	-
その他		-	——	-
補 て ん 不 足 額		-	——	-

## (3) 財務諸表の推移

## ア 比較損益計算書

(単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
営業収益		2,357,873,530	△2.65%	2,422,079,665
下水道使用料		2,357,035,030	△2.64%	2,421,041,475
一般会計負担金		-	—	-
受託事業収益		-	—	-
その他営業収益		838,500	△19.23%	1,038,190
営業費用		3,264,947,281	1.12%	3,228,637,807
管渠費用		130,643,516	△20.11%	163,530,188
ポンプ場費用		32,855,664	77.64%	18,495,889
処理場費用		601,478,389	3.47%	581,295,584
受託事業費用		-	—	-
水質規制費用		2,342,100	0.60%	2,328,240
普及促進費用		4,073,099	8.77%	3,744,797
業務係費用		61,946,867	4.12%	59,493,960
総係費用		124,877,927	△12.41%	142,578,377
減価償却費用		2,211,472,996	△0.29%	2,217,794,267
資産減耗費用		95,256,723	141.91%	39,376,505
その他営業費用		-	—	-
営業利益・損失		△907,073,751	12.46%	△806,558,142
営業外収益		2,395,951,699	△1.18%	2,424,683,412
受取利息及び配当金		7,523,347	△39.28%	12,391,242
国庫補助金		-	—	-
他会計補助金		2,385,323,000	△0.96%	2,408,478,000
その他雑収益		3,105,352	△18.58%	3,814,170
営業外費用		1,343,896,630	△3.96%	1,399,374,890
支払利息及び企業債取扱諸費		1,317,262,640	△3.67%	1,367,402,670
繰延勘定償却		-	—	-
その他雑支出		26,633,990	△16.70%	31,972,220
経常利益・損失		144,981,318	△33.72%	218,750,380
特別利益		-	皆減	22,127,707
固定資産売却益		-	—	-
過年度損益修正益		-	皆減	22,127,707
その他特別利益		-	—	-
特別損失		12,896	△74.40%	50,381
固定資産売却損		-	—	-
過年度損益修正損		-	—	-
災害派遣費		12,896	△74.40%	50,381
その他特別損失		-	—	-
当年度純利益・損失		144,968,422	△39.80%	240,827,706
前年度繰越利益剰余金・欠損金		-		-
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金		144,968,422		240,827,706

イ 剰余金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
利益剰余金	前年度繰入額	240,827,706	△26.59%	328,053,559
	前年度処分額	240,827,706	△26.59%	328,053,559
	当年度末残高	-	—	-
	積立金合計	-	—	-
(欠損金)の部	前年度利益剰余金処分額	240,827,706	△26.59%	328,053,559
	減債積立金	240,827,706	△26.59%	328,053,559
	前年度欠損金処理額	-	—	-
	当年度純利益・損失	144,968,422	△39.80%	240,827,706
	当年度末処分利益剰余金・未処理欠損金	144,968,422	△39.80%	240,827,706
資本剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	312,533,625	33.07%	234,857,257
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	5,883,692,639	5.61%	5,571,159,014
	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	90,825,645	△34.89%	139,489,921
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	1,470,538,256	6.58%	1,379,712,611
	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	401,471	△97.18%	14,238,847
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	149,388,302	0.27%	148,986,831
剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	294,553,667	△17.05%	355,087,430
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	2,758,398,182	11.96%	2,463,844,515
	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	191,530,000	皆増	-
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	223,650,708	596.28%	32,120,708
	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	-	皆減	495,238
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	495,238	0.00%	495,238
	翌年度繰越資本剰余金	10,486,163,325	9.27%	9,596,318,917

ウ 比較貸借対照表

(単位:円)

項目	年度	平成23年度末		平成22年度末																
			対前年度比																	
固	定	資	産	112,023,554,655	△0.66%	112,768,948,030														
有	形	固	定	資	産	112,021,404,027	△0.66%	112,766,583,946												
	土	建	構	地	物	3,542,700,412	0.00%	3,542,700,412												
	機	械	及	装	置	6,803,261,080	△1.61%	6,914,798,691												
	車	両	運	搬	具	84,967,335,632	△0.40%	85,306,978,339												
	工	具	器	具	及	備	15,805,663,257	△3.14%	16,317,473,017											
	建	設	仮	勘	定	3,391,873	△20.83%	4,284,559												
	無	形	固	定	資	産	25,809,239	△9.32%	28,463,207											
	地	上	役	権	権	873,242,534	33.96%	651,885,721												
	地	上	役	権	権	2,150,628	△9.03%	2,364,084												
	地	上	役	権	権	256,854	△25.00%	342,472												
	地	上	役	権	権	1,893,774	△6.32%	2,021,612												
流	動	資	産	金		5,745,942,315	10.60%	5,195,237,291												
現	金	及	び	預	金	5,206,908,830	17.15%	4,444,744,051												
現	預	金		金	金	31,000	0.00%	31,000												
未	営	業	未	収	金	5,206,877,830	17.15%	4,444,713,051												
営	業	外	未	収	金	489,189,985	△12.92%	561,776,740												
そ	の	他	未	収	金	308,784,797	△6.31%	329,569,271												
前	の	他	未	収	金	4,413,100	皆増	-												
	の	他	未	収	金	175,992,088	△24.21%	232,207,469												
	の	他	未	収	金	49,843,500	△73.59%	188,716,500												
繰	延	勘	定	金		-	-	-												
資	産	合	計			117,769,496,970	△0.17%	117,964,185,321												
固	定	負	債	金		1,018,142,819	13.18%	899,583,228												
引	当	引	当	金	金	1,018,142,819	13.18%	899,583,228												
修	繕	引	当	金	金	942,382,552	14.18%	825,384,017												
退	職	給	与	引	当	金	75,760,267	2.10%	74,199,211											
流	動	負	債	金		741,421,570	171.80%	272,778,432												
未	払	未	払	金	金	737,808,427	173.32%	269,940,848												
営	業	未	払	金	金	100,904,747	33.15%	75,783,057												
営	業	外	未	払	金	195,777,983	258.17%	54,660,600												
そ	の	他	未	払	金	441,125,697	216.23%	139,497,191												
そ	の	他	流	動	負	債	3,613,143	27.33%	2,837,584											
預	り			金	金	3,613,143	27.33%	2,837,584												
負	債	合	計			1,759,564,389	50.09%	1,172,361,660												
資	本	金				105,378,800,834	△1.47%	106,954,677,038												
自	己	資	本	金	金	46,077,415,593	0.53%	45,836,587,887												
引	組	入	資	本	金	44,460,380,516	0.00%	44,460,380,516												
借	入	資	本	金	金	1,617,035,077	17.50%	1,376,207,371												
借	入	資	本	金	金	59,301,385,241	△2.97%	61,118,089,151												
企	業			債	債	59,301,385,241	△2.97%	61,118,089,151												
剰	余	金				10,631,131,747	8.07%	9,837,146,623												
資	本	剰	余	金	金	10,486,163,325	9.27%	9,596,318,917												
国	庫	補	助	金	金	5,883,692,639	5.61%	5,571,159,014												
受	益	者	負	担	金	1,470,538,256	6.58%	1,379,712,611												
工	事	負	担	金	金	149,388,302	0.27%	148,986,831												
他	会	計	補	助	金	2,758,398,182	11.96%	2,463,844,515												
受	贈	財	産	評	価	額	223,650,708	596.28%	32,120,708											
そ	の	他	資	本	的	収	入	495,238	0.00%	495,238										
利	益	剰	余	金		144,968,422	△39.80%	240,827,706												
	当	年	度	未	処	分	利	益	剰	余	金	・未	処	理	欠	損	金	144,968,422	△39.80%	240,827,706
資	本	合	計			116,009,932,581	△0.67%	116,791,823,661												
負	債	資	本	合	計		117,769,496,970	△0.17%	117,964,185,321											

## (4) 資金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
収	入	6,460,131,596	△12.61%	7,392,528,935
事業収益		4,646,244,880	△2.14%	4,747,682,205
前年度未収金		443,151,148	△70.46%	1,500,326,478
企業債		803,800,000	38.30%	581,200,000
国庫補助金		163,176,000	426.82%	30,974,000
受益者負担金		94,861,076	△34.23%	144,232,080
工事負担金		240,165	△98.38%	14,842,610
他会計補助金		304,462,000	△17.29%	368,091,000
一時借入金		-	-	-
短期貸付金入		-	-	-
前払金戻入		600	△90.00%	6,000
契約保証金		3,297,000	△16.89%	3,966,900
還付預り金		0	皆減	4,229
その他預り金		-	-	-
資産売却代金		0	皆減	683,433
その他資本的収入		0	皆減	520,000
特別会計引継		-	-	-
事業費用戻入		898,727	皆増	-
支	出	5,697,966,817	△14.80%	6,687,601,985
事業費用		1,891,211,813	△14.59%	2,214,364,537
前年度未払金		269,940,848	△67.55%	831,896,443
建設改良費		1,085,440,642	38.95%	781,191,113
企業債償還金		2,236,575,352	△13.00%	2,570,706,051
受益者負担金還付		827,550	皆増	-
一時借入金返済		-	-	-
短期貸付金		-	-	-
前払金		207,607,180	△25.22%	277,629,735
契約保証金返還		3,100,650	△29.07%	4,371,150
還付金		2,886,893	△33.43%	4,336,583
その他預り金		-	-	-
補助金返還金		375,889	△87.90%	3,106,373
収支差引額		762,164,779	8.12%	704,926,950
前年度末現金預金残高		4,444,744,051	18.85%	3,739,817,101
当年度末現金預金残高		5,206,908,830	17.15%	4,444,744,051

## (5) 費用構成の推移

(税抜・単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度		
		構成比	対前年度比	構成比	対前年度比	
費用合計		4,608,843,911	100.00%	△0.41%	4,628,012,697	100.00%
維持管理費①		984,851,552	21.37%	△1.85%	1,003,378,613	21.68%
職員給与費		113,572,569	2.46%	△11.23%	127,937,312	2.76%
動力費		154,014,978	3.34%	6.06%	145,210,443	3.14%
光熱水費		931,660	0.02%	△6.68%	998,389	0.02%
通信運搬費		3,978,516	0.09%	△2.31%	4,072,431	0.09%
修繕費		180,554,217	3.92%	△7.23%	194,617,469	4.21%
材料費		1,660,129	0.04%	△22.04%	2,129,357	0.05%
薬品費		61,520,000	1.33%	4.61%	58,807,000	1.27%
路面復旧費		-	0.00%	-	-	0.00%
委託料		413,554,182	8.97%	0.45%	411,685,485	8.90%
その他		55,065,301	1.19%	△4.93%	57,920,727	1.25%
資本費②		3,623,992,359	78.63%	△0.02%	3,624,634,084	78.32%
支払利息		1,317,262,640	28.58%	△3.67%	1,367,402,670	29.55%
減価償却費		2,211,472,996	47.98%	△0.29%	2,217,794,267	47.92%
その他		95,256,723	2.07%	141.54%	39,437,147	0.85%
公費負担分		2,459,983,138	53.38%	1.48%	2,424,131,028	52.38%
維持管理費①'		23,763,000	0.52%	△25.72%	31,990,000	0.69%
資本費②'		2,436,220,138	52.86%	1.84%	2,392,141,028	51.69%
使用料対象経費③		2,148,860,773	46.62%	△2.50%	2,203,881,669	47.62%
維持管理費①-①'		961,088,552	20.85%	△1.06%	971,388,613	20.99%
資本費②-②'		1,187,772,221	25.77%	△3.63%	1,232,493,056	26.63%

(税抜・単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度	
			対前年度比		対前年度比
年間有収水量 (m <sup>3</sup> ) ④		12,609,991	1.41%		12,434,959
汚水処理原価 (円/m <sup>3</sup> ) ③/④		170.41	△3.85%		177.23
維持管理分		76.22	△2.43%		78.12
資本費分		94.19	△4.97%		99.12
使用料収入 (円) ⑤		2,357,035,030	△2.64%		2,421,041,475
使用料単価 (円/m <sup>3</sup> ) ⑤/④		186.92	△4.00%		194.70

## (6) 固定資産の推移

### ア 有形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
土地		3,542,700,412	0.00%	3,542,700,412
施設用地		3,542,700,412	0.00%	3,542,700,412
建物		6,803,261,080	△1.61%	6,914,798,691
施設用建物		6,802,212,872	△1.61%	6,913,668,732
その他建物		1,048,208	△7.23%	1,129,959
構築物		84,967,335,632	△0.40%	85,306,978,339
排水設備		77,653,885,352	△0.33%	77,907,716,873
処理設備		6,626,567,322	△1.49%	6,726,783,246
その他構築物		686,882,958	2.14%	672,478,220
機械及び装置		15,805,663,257	△3.14%	16,317,473,017
電気設備		4,800,486,477	△3.24%	4,961,210,104
内燃設備		292,340,048	△4.21%	305,188,480
ポンプ設備		1,819,802,753	△0.94%	1,836,984,013
滅菌設備		236,897,702	△2.45%	242,850,848
その他機械装置		8,656,136,277	△3.51%	8,971,239,572
車両運搬具		3,391,873	△20.83%	4,284,559
工具器具及び備品		25,809,239	△9.32%	28,463,207
建設仮勘定		873,242,534	33.96%	651,885,721

(注) 金額は減価償却累計額を減じた純額で掲載している。

### イ 無形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
地上権		256,854	△25.00%	342,472
地役権		1,893,774	△6.32%	2,021,612



(7) 企業債残高の推移

ア 借入先別内訳

(単位:円)

借入先		年度	平成23年度		平成22年度
				対前年度比	
財政 金融 資本	特別会計からの引継額		-	-	-
	借入額		286,100,000	△6.56%	306,200,000
	返済額		889,330,904	△0.94%	897,786,400
	年度末未償還残高		21,386,714,833	△2.74%	21,989,945,737
地方 金融 機関 共同 機構	特別会計からの引継額		-	-	-
	借入額		517,700,000	88.25%	275,000,000
	返済額		967,509,118	2.09%	947,663,994
	年度末未償還残高		20,067,607,592	△2.19%	20,517,416,710
保 険 易 資 生 金 命	特別会計からの引継額		-	-	-
	借入額		-	-	-
	返済額		763,663,888	5.30%	725,255,657
	年度末未償還残高		17,847,062,816	△4.10%	18,610,726,704
合 計	特別会計からの引継額		-	-	-
	借入額		803,800,000	38.30%	581,200,000
	返済額		2,620,503,910	1.94%	2,570,706,051
	年度末未償還残高		59,301,385,241	△2.97%	61,118,089,151

イ 利率別年度末残高

(単位:円)

利率	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
	1.0%未満	131,596,837	4.48%	125,955,667
	1.0%以上2.0%未満	22,211,304,529	△0.57%	22,339,434,978
	2.0%以上3.0%未満	28,718,384,937	△3.66%	29,810,726,394
	3.0%以上4.0%未満	4,957,933,981	△5.66%	5,255,455,331
	4.0%以上5.0%未満	3,282,164,957	△8.49%	3,586,516,781
	5.0%以上6.0%未満	-	-	-
	6.0%以上7.0%未満	-	-	-
	7.0%以上7.5%未満	-	-	-
	7.5%以上8.0%未満	-	-	-
	8.0%以上	-	-	-

(8) 繰入金の推移

(単位:円)

項目		年度	平成23年度		平成22年度
				対前年度比	
損 益 勘 定 繰 入 金	営業収益		-	-	-
	基準内繰入金		-	-	-
	基準外繰入金		-	-	-
資本 勘 定 繰 入 金	営業外収益		2,385,323,000	△0.96%	2,408,478,000
	基準内繰入金		2,320,941,000	1.72%	2,281,774,000
	基準外繰入金		64,382,000	△49.19%	126,704,000
合 計	計		2,385,323,000	△0.96%	2,408,478,000
	基準内繰入金		2,320,941,000	1.72%	2,281,774,000
	基準外繰入金		64,382,000	△49.19%	126,704,000
資本 勘 定 繰 入 金	資本勘定繰入金		304,462,000	△17.29%	368,091,000
	基準内繰入金		297,783,000	△18.19%	363,990,000
	基準外繰入金		6,679,000	62.86%	4,101,000
合 計	計		2,689,785,000	△3.13%	2,776,569,000
	基準内繰入金		2,618,724,000	△1.02%	2,645,764,000
	基準外繰入金		71,061,000	△45.67%	130,805,000

## (9) 経営分析

## ア 労働の生産性

項目		平成23年度		平成22年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
平均給与 (千円)	上田市	8,736	↓402	9,138	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの職員給与費を示し、高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			10,199		
労働生産性 (千円)	上田市	181,375	↑8,369	173,006	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの営業収益を示し高いほどよい。
	全国平均			115,607		
労働分配率 (%)	上田市	4.82	↓0.46	5.28	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうち、職員に分配される割合を示し高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			8.82		
職員1人あたり有収水量 (㎡/人)	上田市	969,999	↑81,788	888,211	$\frac{\text{有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	高いほど効率的な経営がなされていると言える。
	全国平均			538,759		

## イ 施設の効率性

項目		平成23年度		平成22年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
施設利用率 (%)	上田市	50.25	↑0.28	49.97	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	施設の能力のうち、実際に利用されている割合を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			65.91		
負荷率 (%)	上田市	60.81	↓1.67	62.48	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{1日最大処理水量}} \times 100$	高いほどよい。なお、この値が低いとピーク時以外に利用しない容量が生じ、非効率となる。
	全国平均			74.72		
最大稼働率 (%)	上田市	82.63	↑2.65	79.98	$\frac{\text{1日最大処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	高いほどよいが、100%に近い場合は施設能力が限界に近いため、注意が必要である。
	全国平均			88.20		
有収率 (%)	上田市	87.14	↑0.73	86.41	$\frac{\text{有収水量}}{\text{年間処理水量}} \times 100$	処理水量のうち、実際に使用料収入に結びつく水量の割合。高いほどよい。
	全国平均			70.31		
管渠使用効率 (㎡/m)	上田市	16.00	↓0.08	16.08	$\frac{\text{年間処理水量}}{\text{管渠総延長}}$	管1mあたり、年間どのくらいの汚水が流れたかをみる指標。高いほど効率的である。
	全国平均			44.20		

ウ 経営資本の効率性及び財政状態の健全性

項目		平成23年度		平成22年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
経営資本 営業利益率 (%)	上田市	△0.77	↓0.09	△0.68	$\frac{\text{営業利益}}{\text{平均経営資本}} \times 100$	投下した経営資本と営業利益との関係を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			0.74		
営業収益 営業利益率 (%)	上田市	△38.47	↓5.17	△33.30	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうちどの程度の割合が利益であるのかを示す指標。高いほどよい。
	全国平均			17.61		
経営資本 回転率 (回)	上田市	0.02	0.00	0.02	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均経営資本}}$	投下した経営資本と営業収益との関係を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			0.04		
経常収支比率 (%)	上田市	103.15	↓1.58	104.73	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$	経常的な収支の関係を表す指標。100%以上なら経常利益が出ている。高いほどよい。
	全国平均			103.60		
使用料単価 (円/㎡)	上田市	186.92	↓7.78	194.70	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1㎡当たりの使用料。高いほど使用料水準が高いことを示す。
	全国平均			135.01		
汚水処理原価 (円/㎡)	上田市	170.41	↓6.82	177.23	$\frac{\text{汚水処理費用}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1㎡当たりの処理費用。高いほど使用料水準を高くする必要がある。
	全国平均			132.65		
企業債 元利償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	167.06	↑4.40	162.66	$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	企業債発行額が事業規模に適正かどうかを判断する基準。低いほどよい。
	全国平均			143.18		
企業債 元金償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	111.18	↑5.00	106.18	$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債返済に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			98.35		
企業債利息対 料金収入比率 (%)	上田市	55.89	↓0.59	56.48	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債利息に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			44.84		
減価償却率 (%)	上田市	2.01	↑0.01	2.00	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{減価償却対象資産}} \times 100$	償却資産に投資した資金の回収速度を示す。高いほど回収が早くなる。
	全国平均			1.99		

(注) 平均経営資本=(総資本(負債資本合計)-建設仮勘定-投資)の前年度末当年度末平均

(注) 減価償却費対象資産=有形固定資産+無形固定資産-(土地+建設仮勘定)+減価償却費

項目		平成23年度		平成22年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
固定資産 構成比率 (%)	上田市	95.12	↓0.48	95.60	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$	資産合計に対する固定資産の割合を示す指標。低い方が望ましい。
	全国平均			97.79		
自己資本 構成比率 (%)	上田市	48.15	↑0.95	47.20	$\frac{\text{資本}}{\text{総資本}} \times 100$	企業の自己資本調達度を判断する指標。50%以上が望ましい。
	全国平均			55.94		
固定比率 (%)	上田市	197.54	↓5.01	202.55	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本}} \times 100$	自己資本で固定資産をどの程度賅っているかをみる指標。理論上は100%以下が望ましい。
	全国平均			174.81		
固定負債 構成比率 (%)	上田市	51.22	↓1.35	52.57	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本に対する固定負債の割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			42.89		
固定資産 長期資本比率 (%)	上田市	95.72	↓0.10	95.82	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本+固定負債}} \times 100$	固定資産への投資の健全性をみる指標。100%以下がよい。
	全国平均			98.94		
流動比率 (%)	上田市	774.99	↓1,129.57	1,904.56	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	企業の短期的な支払能力をみる指標。100%以上で高いほどよい。
	全国平均			188.37		
酸性試験比率 (当座比率) (%)	上田市	768.27	↓1,067.11	1,835.38	$\frac{\text{現金預金+未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	流動比率よりもさらに即時的な支払能力をみる指標。高いほどよい。
	全国平均			155.74		

(注) この表では、借入資本金を資本ではなく固定負債に分類して算出を行っている。

\* 全国平均は、法適用(財務適用を含む)の公共下水道事業及び特定環境公共下水道事業の平均である。

\* 出典:地方公営企業年鑑



### 3 業務の状況

#### (1) 業務量

年度		平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
A	行政区域内人口 (人)	158,693	△0.15%	158,926
B	対象区域内人口 (人)	127,795	0.00%	127,790
C	整備済人口 (人)	126,149	0.65%	125,337
D	処理区域内人口 (人)	126,003	0.61%	125,239
E	水洗化人口 (人)	111,703	2.19%	109,306
C/A	整備率 (対行政区域内) (%)	79.49	/	78.87
C/B	整備率 (対対象区域内) (%)	98.71		98.08
D/A	普及率 (対行政区域内) (%)	79.40	/	78.80
D/B	普及率 (対対象区域内) (%)	98.60		98.00
E/A	水洗化率 (対行政区域内) (%)	70.39	/	68.78
E/B	水洗化率 (対対象区域内) (%)	87.41		85.54
E/D	水洗化率 (対処理区域内) (%)	88.65		87.28
F	処理区域内戸数 (戸)	50,416	0.81%	50,013
G	水洗化戸数 (戸)	44,317	2.37%	43,289
G/F	水洗化率 (%)	87.90	/	86.56
	整備面積 (ha)	4,272.74	0.81%	4,238.54
	処理可能面積 (ha)	4,268.66	0.77%	4,235.94
	使用料調定件数 (件)	283,580	2.62%	276,346
H	年間処理水量 (m <sup>3</sup> )	14,470,510	0.55%	14,391,104
I	年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	12,609,991	1.41%	12,434,959
I/H	有収率 (%)	87.14	/	86.41

(注) 人口は、外国人登録者を含まない。

(2) 水洗化人口の推移

(単位:人)

事業・処理区	年度	平成23年度末		平成22年度末	
		水洗化率	対前年度比		
上田公共下水道事業		88,110	89.12%	2.00%	86,379
上田処理区		47,830	92.92%	1.85%	46,960
南部処理区		23,983	87.30%	2.26%	23,453
別所温泉処理区		1,309	91.41%	△0.83%	1,320
中塩田処理区		7,865	82.18%	1.44%	7,753
神川東処理区		7,123	79.82%	3.34%	6,893
丸子公共下水道事業		18,413	86.24%	3.82%	17,735
丸子処理区(丸子分区)		12,673	87.00%	5.40%	12,024
西内処理区		1,129	92.92%	△4.00%	1,176
丸子処理区(依田分区)		4,611	82.81%	1.68%	4,535
真田公共下水道事業		5,180	89.57%	△0.23%	5,192
菅平処理区		747	95.89%	△1.97%	762
真田処理区		4,433	88.59%	0.07%	4,430
計		111,703	88.65%	2.19%	109,306

(注) 人口は、外国人登録者を含まない。

(3) 処理可能面積の推移

(単位:ha)

事業・処理区	年度	平成23年度末		平成22年度末
		対前年度比		
上田公共下水道事業		3,179.03	0.58%	3,160.77
上田処理区		1,776.08	0.22%	1,772.24
南部処理区		748.47	1.69%	736.06
別所温泉処理区		68.12	0.00%	68.12
中塩田処理区		330.25	0.34%	329.14
神川東処理区		256.11	0.35%	255.21
丸子公共下水道事業		763.63	1.93%	749.17
丸子処理区(丸子分区)		498.32	1.71%	489.93
西内処理区		85.00	0.00%	85.00
丸子処理区(依田分区)		180.31	3.48%	174.24
真田公共下水道事業		326.00	0.00%	326.00
菅平処理区		172.00	0.00%	172.00
真田処理区		154.00	0.00%	154.00
計		4,268.66	0.77%	4,235.94

(4) 受益者負担金・分担金の状況

(1㎡あたり・単位:円)

区分・処理区	期間	平成18年3月6日～
上田地域		560
丸子地域		810

(5) 収納状況の推移

ア 下水道使用料

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
					前年との差	
平成22年度	2,542,093,514	2,514,703,352	27,390,162	98.92%	△0.04	29,460,124
平成23年度	2,474,886,753	2,447,850,358	27,036,395	98.91%	△0.01	24,502,682

(注) それぞれ、翌年度5月末日時点の数値である。

イ 受益者負担金

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
					前年との差	
平成22年度	135,881,520	128,904,950	6,976,570	94.87%	2.52	10,339,530
平成23年度	89,970,380	84,237,440	5,732,940	93.63%	△1.24	8,776,650

(注) それぞれ、3月末日時点の数値である。

(6) 下水道使用料の納付方法(1期当たり平均)

(単位:件)

納付方法	年度	平成23年度	
			構成比
口座振替		23,273	83.48%
直接納付		4,604	16.52%
コンビニエンスストア		3,155	11.32%
その他		1,449	5.20%
合計		27,877	100.00%

(注) 旧上田市で実施していたコンビニ収納を平成18年7月から全地域で始めた。

## (7) 下水道排水設備資金融資利子補給制度

### ア 制度の概要

融資限度額	100万円	利率	各金融機関の定める利率（市の利子補給率は1.9%以内）
償還方法	元金均等又は元利均等によるほか融資機関の定める方法		
利子補給期間	5年以内		
利子補給要件	① 下水道排水設備資金であること。（公共・特環区域内の一般住宅） ② 建築物の所有者又は所有者の同意を得た占有者 ③ 市税、受益者負担金、水道料金等を滞納していない者 ④ 供用開始後3年以内に排水設備工事が完了見込みの者。		
借入手続	各金融機関、上下水道局サービス課または各地域自治センター上下水道課窓口にて手続きをする。		

### イ 融資利用状況

年度	確認申請戸数	融資利用戸数	利用率	利子補給件数	融資金額	利子補給額
	(戸)	(戸)	(%)	(件)	(千円)	(千円)
平成17年度	291	0	0.00	0	-	-
18年度	2,263	3	0.13	37	2,600	217
19年度	2,103	3	0.14	30	3,000	168
20年度	1,868	2	0.11	27	1,526	142
21年度	1,388	1	0.07	19	1,000	98
22年度	1,180	0	0.00	10	-	50
23年度	1,414	0	0.00	7	-	23

(注) 平成17年度の数値は、合併前の旧上田市、丸子町の数値を含めない。  
平成20年度は地方公営企業法を適用した特環真田、菅平処理区の数値を含む。

### ウ 制度の変遷

年度	融資限度額	約定利率	本人利率	市負担率	利子補給期間	備考
平成17年度	100万円	各金融機関 取決めによる		1.9%以内	5年以内	
18年度						
19年度						
20年度						
21年度						
22年度						
23年度	↓					↓



## 4 施設の状況

### (1) 処理場の状況

#### ア 上田市下水浄化センター

処理区 上田処理区/神川東処理区  
 位置 上田市秋和29番地  
 敷地面積 約53,600㎡  
 処理方式 標準活性汚泥法  
 供用開始 昭和47年7月1日  
 放流先 千曲川  
 計画処理水量

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日平均	36,900m <sup>3</sup> /日	33,600m <sup>3</sup> /日	28,200m <sup>3</sup> /日
日最大	46,400m <sup>3</sup> /日	42,000m <sup>3</sup> /日	35,250m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	68,200人	65,775人	

(注)計画処理人口には、観光人口を含む。

BOD:250mg/L・SS:180mg/L

BOD:15mg/L・SS:30mg/L

計画流入水質  
 計画放流水質  
 主要施設

施設名称	形式及び能力
管理棟	1階 RC造 事務所、宿直室、電気室、更衣室 2階 RC造 水質検査室、会議室、更衣室
沈砂棟	鉄骨造平屋建 延べ面積: 412.29㎡ 沈砂池 平行流重力式 長8.0m×幅1.0m×深さ0.75m 2池 長8.0m×幅1.6m×深さ0.75m 1池
汚水ポンプ室	立軸渦巻斜流ポンプ φ300×5.5m×10.0m <sup>3</sup> ×15kW 1台 φ400×5.5m×20.0m <sup>3</sup> ×15kW 1台 φ300×5.0m×11.0m <sup>3</sup> ×15kW 1台 φ400×5.0m×22.0m <sup>3</sup> ×30kW 1台
1系流量計	1系流入流量計 超音波式流量計 伝播時間差式 φ900 1基 1系放流流量計 超音波式流量計 伝播時間差式 φ1000 1基
最初沈殿池	平行流長方形 RC造 長30.0m×幅10.0m×深さ2.8m×2池 3系列
反応タンク	散気式旋回流方式 RC造 長35.0m×幅6.0m×深さ5.0m×2池 5系列
最終沈殿池	平行流長方形 RC造 長28.0m×幅4.0m×深さ3.5m×2池 1系列 長28.0m×幅4.1m×深さ3.0m×2池 2系列
塩素滅菌室	塩素注入機 2kg/時 2台
送風機	多段式ターボブロワ φ300×70m <sup>3</sup> /min×5,800mmHg×130kW 2台 多段式ターボブロワ(インレットペーン) φ300×80m <sup>3</sup> /min×56.8kpa×130kW 1台
脱臭機	活性炭吸着方式 299m <sup>3</sup> /min 1台 脱臭ファン 270m <sup>3</sup> /min×2.4Kpa×18.5kw 1台 生物脱臭方式 角形充填塔式 29m <sup>3</sup> /min 1台 脱臭ファン 29m <sup>3</sup> /min×3.5Kpa×5.5kw 1台
砂ろ過器	移床式連続砂ろ過器 5.0m <sup>2</sup> 1,000m <sup>3</sup> /日 2台
スカム処理室	スカム分離機 回転ドラムスクリーン φ800×長28.0m 1台
汚泥ポンプ室	返送汚泥ポンプ φ200×6.3m <sup>3</sup> /min×14m×30kW 2台 余剰汚泥ポンプ φ80×0.7m <sup>3</sup> /min×16m×7.5kW 2台
汚泥貯留槽	内径7.0m×深4.0m・容量308m <sup>3</sup>
機械濃縮棟	RC造 延べ面積: 80.60㎡ 常圧浮上濃縮装置(NIAS) 内径2.3m×高3.2m×2.2kW 2基
汚泥消化タンク	円錐形 RC造 嫌気性加温式段消化 φ12.0×9.0m 2槽
ガスタンク	有水式ガスホルダ 内径9.4m×高8.4m・容量500m <sup>3</sup> 2基

汚泥処理施設

施設名称	形式及び能力
汚泥処理棟	RC造 延べ面積: 706.6㎡ ボイラー設備 炉筒煙管ボイラー 1台
新汚泥処理棟	RC造 地下1階 地上3階 延べ床面積: 2,345.44㎡ 常圧浮上濃縮装置 浮上面積 7.2㎡ φ3.2×3.9mH 9.2kW 2基 遠心脱水機 5㎡/時 15kW 3基 活性炭吸着方式 44㎡/min 1台 脱臭ファン 44㎡/min×2.0Kpa×5.5kw 1台 生物脱臭方式 角形充填塔式 44㎡/min 1台 監視制御施設 第1系列、第2系列、汚泥処理、焼却設備 受変電施設 第1系列、第2系列、汚泥処理、焼却設備
消化タンク棟	RC造 地上4階 地下1階 延べ面積: 1,019㎡ 温水器150,000kcal/min 熱交換器124,400kcal/min 各1基 消化汚泥引抜きポンプ φ100×1.0㎡/min×20m×7.5kw 2台 濃縮汚泥移送リレーポンプ φ80×11㎡/min×30m×3.7kw 2台 汚泥循環ポンプ φ100×1.0㎡/min×25m×11kw 2台 消化槽:動力制御盤 コントロールセンタ 補助リレー盤 一式 脱硫装置:動力制御盤 監視制御装置 一式
消化タンク	PC造 2,400㎡ φ16m H=26.5m 1基 スクリー式攪拌機 11kw 1台 ドラフトチューブ φ500×13.5m 1台
脱硫棟	鉄骨造 平屋 延べ面積: 172㎡ 高機能脱硫装置 85N㎡/h×0.9MPa×4kw 1基 消化ガス圧縮機 85N㎡/h×0.9MPa×45kw(VVVF) 2基 高圧水給水ポンプ 35㎡/h×140m×22kw(VVVF) 2基 受水槽 FRP10㎡ 1基 生物脱臭方式 角形充填塔式 2.8㎡/min 1基 余剰ガス燃焼装置 φ1.7m H=10m 170N㎡/h 1基
ガスホルダ	横型円筒形ガスホルダ φ3.0m L=9.5m 0.97MPa 容量74㎡ 1基
バイオガス充填機	第2種製造 72N㎡/日 19.6MPa 1基
トイレ棟	男子(小便器1基、洋式便器1基)女子(洋式便器1基) 手洗器各1台 延べ面積: 15.7㎡
焼却棟	鉄骨造 延べ面積: 731.21㎡ 流動床式汚泥焼却炉 能力25t/日 1基 空気予熱器 60.4㎡×1,520MJ/h×650℃ 1基 白煙防止予熱器 60.7㎡×1,063MJ/h×300℃ 1基 サイクロン φ565mm×高5,175mm 5,400㎡/h 1基 電気集塵機 乾式上向流式 6,100㎡ 55kW 1基
電気棟	RC造 地下1階 地上2階 延べ面積: 707.72㎡

第2系列水処理施設

施設名称	形式及び能力
水処理棟	RC造 地上2階 延べ面積: 1,681.5㎡ 送風機室、脱臭機室、換気機械室、電気室、スカム処理室、砂ろ過機室、塩素注入室
流量計	流入流量計 超音波式流量計 伝播時間差式 φ600 1基 放流流量計 電磁式流量計 潜水式 φ400 1基
最初沈殿池	平行流長方形 長18.0m×幅3.5m×深さ3.0m×2池 1/2列
反応タンク	散気式全面曝気方式、水中攪拌式曝気方式 長53.1m×幅7.5m×深さ5.5m×1池 1/2列
最終沈殿池	平行流長方形 長45.0m×幅3.5m×深さ3.5m×2池 1/2列
送風機	ルーツ式ブロワ φ150×24m³/min×75.5Kpa×55kw 2台
脱臭機	活性炭吸着方式 30m³/min 1/2台 脱臭ファン 30m³/min×2Kpa×3.7kw 1/2台
スカム分離機	スカム分離機 脱水機構付ドラムスクリーン φ780×長3.5m×2.4m³/min×1.5kw 1台
消毒設備	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ φ25×0.1~0.55l/min×0.4kw 2台
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ150×2.2m³/min×4m×3.7kW 2台 余剰汚泥ポンプ φ100×0.7m³/min×4m×2.2kW 2台
電気計装設備	変電設備 6kv 一式 運転操作設備 コントロールセンタ、補助継電器盤、プログラマブル コントローラ、動力制御盤、インバータ式可変速制御装置 一式 計装設備 一式

イ 南部クリーンパーク(南部終末処理場)

処 理 区 南部処理区/中塩田処理区  
 位 置 上田市下之条1155-15  
 敷 地 面 積 約40,000㎡  
 処 理 方 式 標準活性汚泥法  
 供用開始年月日 平成11年12月1日  
 放 流 先 鯉座川  
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	15,200㎡/日	14,000㎡/日	16,800㎡/日
日 最 大	19,400㎡/日	17,900㎡/日	21,450㎡/日
計画処理人口	41,600人	39,558人	

(注)計画処理人口には、観光人口を含む。

BOD:200mg/L・SS:190mg/L  
 BOD:15mg/L・SS:30mg/L

計 画 流 入 水 質  
 計 画 放 流 水 質  
 主 要 施 設

施設名称	形式及び能力
管理棟	1階 事務室、作業員控室、宿直室、理化学実験室、自家発電機室 2階 会議室、電気室、管理制御室 自家発電機 単純開放サイクル1軸式ガスタービン 581PS 交流発電機 500kVA、6,600V 1台
沈殿池	平行重力式 長6.0m×幅2.0m×深2.0m 1池
水中ポンプ	水中ベレードレスポンプ φ200mm×3.7㎡/分×13m×15kW 2台 φ250mm×7.4㎡/分×13m×37kW 2台
流量計	電磁流量計 φ300mm 1基
最初沈殿池	平行流式長方形沈殿池 長14.9m×幅5.1m×深3.0m 6池
反応タンク	水中攪拌式曝気方式 長43.9m×幅10.6m×深5.5m 2池 散気式全面曝気方式、水中攪拌式曝気方式 長43.9m×幅10.6m×深5.5m 1池
最終沈殿池	平行流式長方形沈殿池 長39.9m×幅5.1m×深3.5m 6池
塩素混和池	次亜塩素酸ソーダ流入ポンプ 0.04~0.20/分 2台 0.02~0.40/分 2台
送風機	ルーツ式ブロア φ150mm×25㎡/分×60.8kpa×55kW 4台
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ150mm×2.6㎡/分×6.5m×7.5kW 2台 φ150mm×2.5㎡/分×5.0m×5.5kW 2台 余剰汚泥ポンプ φ100mm×0.7㎡/分×13m×7.5kW 4台 初沈生汚泥ポンプ φ100mm×0.6㎡/分×15m×7.5kW 4台
重力濃縮機	直径6.7m×深3.6m・容量 127㎡ 2台
汚泥処理棟	造粒濃縮機 360kgDS/時 II型 1.5kw 1台 汚泥脱水機 ベルトプレス ろ布幅2.0m 1台 汚泥脱水機 圧入式スクレープレス φ800 290 kgDS/h 1台

ウ 丸子浄化センター

処 理 区 丸子処理区(丸子分区・依田分区)  
 位 置 上田市生田2600  
 敷 地 面 積 約30,000m<sup>2</sup>  
 処 理 方 式 オキシデーションディッチ法  
 供 用 開 始 平成11年3月27日  
 放 流 先 依田川  
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	9,500m <sup>3</sup> /日	8,800m <sup>3</sup> /日	7,100m <sup>3</sup> /日
日 最 大	11,700m <sup>3</sup> /日	10,800m <sup>3</sup> /日	8,800m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	20,100人	19,266人	

計画流入水質  
 計画放流水質  
 主要施設

BOD:250mg/L・SS:210mg/L  
 BOD:15mg/L・SS:30mg/L

施設名称	形式及び能力
管理棟	地上2階建 RC造 延べ床面積: 421.86m <sup>2</sup> 1階 会議室、水質試験室、倉庫 2階 事務室、集中監視室
沈砂池ポンプ棟	地上2階地下2階 延べ床面積: 773.56m <sup>2</sup> 水中汚水ポンプ φ150mm×2.5m <sup>3</sup> ×21m×15kW 2台 φ250mm×5.0m <sup>3</sup> ×20m×30kW 2台 揚砂ポンプ φ100mm×0.3m <sup>3</sup> ×27m×22kW 1台 破碎機 立軸ドラム回転式 1.5kw 1台 スクリーンユニット 1,200×3,750×1,300mm 1.54kW 1台 活性炭吸着塔 立形3層式 16m <sup>3</sup> /min 1台
反応タンク	オキシデーションディッチ RC造 43.6m×23.55m×5.15m 実長150.2m×幅5.5m×深3.0m 4池
最終沈殿池	RC造 直径 20.8m×深さ 4.75m 4池 掻寄機 中央駆動支柱形 φ20.0m×水深3.5m×0.4kw 4台
塩素混和池	地上1階地下1階 RC造 延べ床面積: 69.68m <sup>2</sup> φ1,600mm、H=2,000mm 最大貯留容量6.3m <sup>3</sup> 2基
曝気装置	縦軸型 機械式 φ2300×22kW 酸素供給能力28.8kgO <sub>2</sub> /kWH以上×22kW 6基 酸素供給能力46.2kgO <sub>2</sub> /kWH以上×30kW 2基
汚泥棟	地上3階 地下1階 RC造 延べ床面積: 1,395.16m <sup>2</sup> 脱水機 多重円盤型スクリーンプレス(5軸) 2.0kW 2台 ケーキホッパ 角形電動開閉式 12m <sup>3</sup> 1台 活性炭吸着塔 立形3層式 10m <sup>3</sup> /min 1基
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ100×1.7m <sup>3</sup> /min×8m×5.5kW 6台 返送汚泥ポンプ φ150×3.4m <sup>3</sup> /min×7m×1.1kW 1台 余剰汚泥ポンプ φ80×0.6m <sup>3</sup> /min×13m×3.7kW 3台 φ100×0.6m <sup>3</sup> /min×18m×5.5kW 2台

エ 別所温泉浄化センター(別所温泉終末処理場)

処 理 区	別所温泉処理区
位 置	上田市別所温泉宇山王田9-1
敷 地 面 積	約9,940㎡
処 理 方 式	オキシデーションディッチ法
供 用 開 始	平成7年12月1日
放 流 先	湯川
計 画 処 理 水 量	

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	900m <sup>3</sup> /日	900m <sup>3</sup> /日	1,700m <sup>3</sup> /日
日 最 大	1,260m <sup>3</sup> /日	1,240m <sup>3</sup> /日	2,400m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	4,900人	4,837人	

(注)計画処理人口には、観光人口を含む。

BOD:170mg/L・SS:90mg/L

BOD:15mg/L・SS:30mg/L

計画流入水質  
計画放流水質  
主要施設

施設名称	形式及び能力
管理棟	地上2階建 RC造 延べ床面積: 512.76㎡ 1階 会議室、水質試験室 2階 電気室、倉庫
反応タンク	オキシデーションディッチ RC造 長130.6m×幅4.0m×深2.5m 2池
最終沈殿池	RC造 直径14.0m×深さ3.5m 2池 掻寄機 中央駆動式懸垂形 φ14m×水深3.5m×0.4kW 2台
塩素接触タンク	RC造 長19.5m×幅1.0m×深1.25m 塩素接触装置 導入水溶解型 175m <sup>3</sup> /時 1池
曝気装置	スクリーパー形曝気機 酸素供給能力2.0kgO <sub>2</sub> /kWh以上×4.5kW 6台
汚泥分配槽	鋼板製分配槽 約1.0W×3.0L×1.5H
機械棟	地上1階 地下1階 RC造 延べ床面積: 702.94㎡ 造粒濃縮装置 ベストユニット 処理量0.1tDS/時 7.75kW 1基 脱水機 ベルトプレス ろ布幅1.0m 2.25kW 1台 ケーキホッパー 鋼板製角型電動カットゲージ式 6m <sup>3</sup> 1基 活性炭吸着塔 立型充填塔(カートリッジ) 20m <sup>3</sup> /min 1基
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ150×1.3m <sup>3</sup> /min×9m×3.7kW 3台 余剰汚泥ポンプ φ125×8.3~25m <sup>3</sup> /時×10mH×11kW 2台
砂ろ過器	移床式上向流連続砂ろ過器 100m <sup>3</sup> /日 1基

オ 西内浄化センター

処理区 西内処理区  
 位置 上田市平井1756-5  
 敷地面積 約11,670㎡  
 処理方式 オキシデーションディッチ法  
 供用開始 昭和62年12月15日  
 放流先 内村川  
 計画処理水量

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日平均	2,000㎡/日	1,900㎡/日	2,600㎡/日
日最大	2,500㎡/日	2,400㎡/日	3,300㎡/日
計画処理人口	3,700人	3,651人	

(注)計画処理人口には、観光人口を含む。

BOD:100mg/L・SS:80mg/L  
 BOD:15mg/L・SS:30mg/L

計画流入水質  
 計画放流水質  
 主要施設

施設名称	形式及び能力
管理機械棟	地上2階地下1階 RC造 延べ床面積: 796.64㎡ B1階 機械室 1階 事務室兼監視室、水質試験室、機械室 2階 会議室、電気室
反応タンク	オキシデーションディッチ RC造 長52.4m×幅10.4m×深5.2m 実長98m×幅4.6m×深3.1m 3池
最終沈殿池	RC造 直径10.8m×深さ5.1m 2池 直径14.3m×深さ5.1m 2池 掻寄機 中央駆動式懸垂形 φ10m×水深5.1m×0.4kW 2台 中央駆動式懸垂形 φ13m×水深2.5m×0.4kW 2台
塩素接触タンク	塩素接触装置 導入水型 φ420×H900 1基
曝気装置	横軸ローター φ1,000×2,500mmL 2基×3池 ベベルヘリカル減速機 減速比1/18インバータ制御 200V×60Hz 6基
機械棟	脱水機 多重円盤外銅スクリュープレス 1基 脱水機 ベルトプレス長4.4m×幅1.35m×高2m 2.65kW 1台 コンベア トラフ形コンベア ベルト500mm×機長13m15° 1台 ケーキホッパー 角形鋼板製電動式ホッパー 4㎡ 1基 活性炭吸着塔 角形定着式鋼板製吸着棟 20㎡/min 1基
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ100×0.77㎡/min×4m×1.5kW 2台 返送汚泥ポンプ φ150×1.5㎡/min×4m×1.5kW 2台 余剰汚泥ポンプ φ65×0.4㎡/min×10m×1.5kW 2台

カ 菅平浄化センター

処 理 区 菅平処理区  
 位 敷 地 面 積 上田市菅平高原1278-2826  
 敷 地 面 積 約22,000m<sup>2</sup>  
 処 理 方 法 オキシデーションデイツチ法  
 供 用 開 始 昭和60年6月24日  
 放 流 先 神川  
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	1,900m <sup>3</sup> /日	1,900m <sup>3</sup> /日	1,900m <sup>3</sup> /日
日 最 大	4,500m <sup>3</sup> /日	4,400m <sup>3</sup> /日	4,500m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	9,200人	9,016人	

(注) 計画処理人口には、観光人口を含む。

BOD:350mg/L・SS:200mg/L  
 BOD:15mg/L・SS:30mg/L

計画流入水質  
 計画放流水質  
 主要施設

施設名称	形式及び能力
管理棟	地上2階地下2階 RC造 延べ床面積: 1,631.7m <sup>2</sup> 1階 自家発電気室、宿直室、受変電気室 2階 事務室、水質試験室、会議室、中央管理室
沈砂池棟	RC造 延べ床面積: 180m <sup>2</sup> エアレーション沈砂池 長2.0×幅2.0×深さ2.5m 2池
調整槽	長16.3m×幅3.73×深さ3.1m 4池 ブローア φ80mm×3m <sup>3</sup> ×3.5mAq×3.7kW 2台 φ100mm×6.4m <sup>3</sup> ×3.5mAq×7.5kW 2台
流量計	パーシャルフリューム流量計 スロート幅 9cm 1基
オキシデーション デイツチ棟	平屋建 RC造 延べ床面積: 496.77m <sup>2</sup>
反応タンク (OD)	オキシデーションデイツチ RC造 水路長55.6m×幅6.2m×有効水深5.0m 2池
最終沈殿池	地上1階 地下1階 RC造 放射流式円形 RC造 内径19m×深さ4.3m 2池
汚泥棟	地上1階 地下1階 RC造 延べ面積: 383.06m <sup>2</sup> 脱水機室、搬出室、換気機械室



キ 真田浄化センター

処 理 区	真田処理区
住 地 所	上田市真田町長6247-1
敷 地 面 積	約5,570㎡
処 理 方 式	オキシデーションディッチ法
供 用 開 始	平成9年4月1日
放 流 先	神川
計 画 処 理 水 量	

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	1,600m <sup>3</sup> /日	1,600m <sup>3</sup> /日	2,500m <sup>3</sup> /日
日 最 大	2,000m <sup>3</sup> /日	2,000m <sup>3</sup> /日	3,200m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	5,000人	4,978人	

計画流入水質  
計画放流水質  
主要施設

BOD:260mg/L・SS:180mg/L  
BOD:15mg/L・SS:30mg/L

施設名称	形式及び能力
管理汚泥棟	地上2階地下1階 RC造 延べ床面積: 1,092㎡ 1階 事務・管理制御室、水質試験室、会議室、宿直室 2階 換気機械室 地下1階 電気室、脱水機室、搬出室、汚泥貯留槽、濃縮タンク 遠心脱水機 処理能力 7m <sup>3</sup> /日 1基
反応タンク	オキシデーションディッチ RC造 水路長120.4m×幅9.0m×有効水深3.0m 2池
最終沈殿池	RC造 直径 16.0m×有効水深 3.5m 放射流円形 2池
塩素接触水路	RC造 水路幅1.0m×水路長31m×深さ1.1m 1水路
汚泥貯留濃縮槽	内径4.0m×深さ3.0m 1槽
汚泥貯留槽	幅4.0m×長さ4.0m×深さ3.0m 1槽

## (2) ポンプ場の状況

### ア 上塩尻中継ポンプ場

処 理 区 上田処理区  
住 所 上田市上塩尻彦坊941-14  
敷 地 面 積 2,000m<sup>2</sup>  
供 用 開 始 平成2年12月

#### 主 要 施 設

施設名称	形式及び能力
汚水ポンプ棟	RC造 2階建 延べ床面積: 646.44m <sup>2</sup>
流入ゲート	外ネジ式鋳鉄製角形ゲート(電動自動下降式) W500×H750×0.4kW 2門
自動除塵機	全面掻揚形間欠式 目巾200mm×75°×0.75kw 1台
しき搬出コンベア	No.1 トラフ形ベルトコンベア W500×L約8m×1.5kw 1台 No.2 横棧耳付傾斜コンベア W500×水平9.4m×1.5kW 1台
揚砂ポンプ	水中汚水ポンプ φ100×0.75m <sup>3</sup> /分×29m×11kw 1台
沈砂掻寄機	スクリーコンベア式 φ300×1.3m <sup>3</sup> /時×0.75kw 1台
しき脱水機	スクリー式 約1m <sup>3</sup> /時×5.5kw+0.4kw 1台
汚水ポンプ	スクリー遠心型水中ポンプ φ200×5.3m <sup>3</sup> /分×45kw 3台
脱臭設備	活性炭吸着塔 二層カートリッジ式 26m <sup>3</sup> /分 1台 脱臭ファン 耐食性ターボファン 2.2kw 1台
遠方監視制御装置	屋内自立形 200bit/s 1面
自家発電機	搭載形(ディーゼル機関) 3φ3W 420V 60Hz 100KVA 300PS 1台

### イ 下塩尻中継ポンプ場

処 理 区 上田処理区  
住 所 上田市下塩尻字下川原 1688  
敷 地 面 積 2,000m<sup>2</sup>  
供 用 開 始 平成4年10月

#### 主 要 施 設

施設名称	形式及び能力
汚水ポンプ棟	RC造 1階建 延べ床面積: 295.76m <sup>2</sup>
流入ゲート	外ネジ式鋳鉄製角形ゲート(電動式) W400×H600×0.4kw 1門
破碎機	立軸回転式 7,000m <sup>3</sup> /日 φ381×42rpm×0.75kw 1台
汚水ポンプ	吸込スクリー付遠心型水中ポンプ φ150×2.4m <sup>3</sup> /分×27m×22kw 3台
ポンプ井攪拌機	水中プロペラ式 φ200×7.2m <sup>3</sup> /分×1,130rpm×1.1kw 1台
脱臭設備	活性炭吸着塔 三層カートリッジ式 10m <sup>3</sup> /分 1台 脱臭ファン 片吸込ターボファン 1.5kw 1台
遠方監視制御装置	屋内自立形 200bit/s 1面
自家発電機	搭載形(ディーゼル機関) 3φ3W 420V 60Hz 100KVA 300PS 1台

ウ 神川東中継ポンプ場

処 理 区 神川東処理区  
 住 所 上田市岩下字加賀川原15-3  
 敷 地 面 積 2,365m<sup>2</sup>  
 供 用 開 始 平成15年12月

主 要 施 設

施設名称	形式及び能力
汚水ポンプ棟	RC造 2階建 地下1階 延べ床面積: 444.32m <sup>2</sup>
流入ゲート	主流入ゲート 外ネジ式丸形鋳鉄製(電動式) φ600×0.4kw 1門 流入ゲート 外ネジ式角形鋳鉄製(手動式) W600×H600 2門
自動除塵機	ダブルチェーン式背面かき揚げ形 目巾2.5mm×60° ×0.4kw 1台
しよ脱水機	二軸対向スクリー式 600L/H投入形 0.75kw×200V×60Hz 1台
汚水ポンプ	吸込スクリー付水中汚水ポンプ φ200×3.8m <sup>3</sup> /分×22m×30kw 2台
脱臭設備	活性炭吸着塔 カートリッジ式 14m <sup>3</sup> /分 1台 脱臭ファン 片吸込ターボファン 1.5kw 1台
給水装置	給水ユニット 40L/分×22m 0.4kw×2 1台
井戸ポンプ	水中井戸ポンプ 160L/分×40m 2.2kw 1台
自家発電機	搭載形(ディーゼル機関) 3φ3W 200V 60Hz 175KVA 1台

### (3) 管渠延長等の状況

#### ア 上田処理区

(単位:m)

管種・口径	年度	年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
			布設	除却	
ヒューム管	350mm以下	7,684.0	0.0	0.0	7,684.0
	400～500mm	5,696.1	0.0	0.0	5,696.1
	600～800mm	12,317.6	0.0	0.0	12,317.6
	900mm以上	2,868.3	0.0	0.0	2,868.3
	ヒューム管延長計	28,566.0	0.0	0.0	28,566.0
陶管	250mm以下	19,325.6	0.0	0.0	19,325.6
	300mm	3,027.2	0.0	0.0	3,027.2
	350～800mm	699.5	0.0	0.0	699.5
	陶管延長計	23,052.3	0.0	0.0	23,052.3
塩化ビニール管	200mm以下	161,161.4	1,457.6	0.0	159,703.8
	250mm	95,841.0	0.0	0.0	95,841.0
	300～800mm	7,762.0	0.0	0.0	7,762.0
	塩化ビニール管延長計	264,764.4	1,457.6	0.0	263,306.8
FRP管(全口径)	3,615.1	0.0	0.0	3,615.1	
鋳鉄管(全口径)	5,189.7	0.0	0.0	5,189.7	
鋼管(全口径)	405.9	0.0	0.0	405.9	
その他	204.7	0.0	0.0	204.7	
管路延長計	325,798.1	1,457.6	0.0	324,340.5	

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成23年度		平成22年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	723	0	0	723
	750mm(0号)	443	0	0	443
	900mm(1号)	8,162	23	0	8,139
	1,200mm(2号)	356	0	0	356
	1,500mm(3号)	61	0	0	61
	1,800mm	3	0	0	3
	小判型	28	0	0	28
	矩形	3	0	0	3
	特殊	79	0	0	79
	小口径・楕円	3,278	51	0	3,227
	マンホール計	13,136	74	0	13,062
マンホールポンプ	30	0	0	30	

## イ 南部処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成23年度		平成22年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	1,069.4	0.0	0.0	1,069.4
	400~500mm	9,455.3	0.0	0.0	9,455.3
	600~800mm	2,618.9	0.0	0.0	2,618.9
	900mm以上	229.5	0.0	0.0	229.5
	ヒューム管延長計	13,373.1	0.0	0.0	13,373.1
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	127,156.4	2,722.5	0.0	124,433.9
	250mm	5,820.1	0.0	0.0	5,820.1
	300~800mm	2,242.7	0.0	0.0	2,242.7
	塩化ビニール管延長計	135,219.2	2,722.5	0.0	132,496.7
FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0	
鋳鉄管(全口径)	1,896.7	0.0	0.0	1,896.7	
鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	688.5	0.0	0.0	688.5	
管路延長計	151,177.5	2,722.5	0.0	148,455.0	

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成23年度		平成22年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	3	0	0	3
	750mm(0号)	344	0	0	344
	900mm(1号)	3,259	50	0	3,209
	1,200mm(2号)	377	0	0	377
	1,500mm(3号)	15	1	0	14
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	1	0	0	1
	小口径・楕円	2,649	85	0	2,564
	マンホール計	6,648	136	0	6,512
	マンホールポンプ	20	1	1	20

ウ 丸子処理区(丸子分区)

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成23年度		平成22年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	3,880.9	0.0	0.0	3,880.9
	400~500mm	2,438.4	0.0	0.0	2,438.4
	600~800mm	2,830.9	0.0	0.0	2,830.9
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	9,150.2	0.0	0.0	9,150.2
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	108,840.2	2,997.4	0.0	105,842.8
	250mm	419.8	0.0	0.0	419.8
	300~800mm	70.3	0.0	0.0	70.3
	塩化ビニール管延長計	109,330.3	2,997.4	0.0	106,332.9
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	铸铁管(全口径)	18.8	18.8	0.0	0.0
	鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	35.6	0.0	0.0	35.6
	管路延長計	118,534.9	3,016.2	0.0	115,518.7

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成23年度		平成22年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	0	0	0	0
	900mm(1号)	4,554	62	0	4,492
	1,200mm(2号)	60	0	0	60
	1,500mm(3号)	3	1	0	2
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	432	0	0	432
	小口径・楕円	3,474	69	0	3,405
	マンホール計	8,523	132	0	8,391
	マンホールポンプ	13	2	0	11

(注) マンホール・マンホールポンプの設置個数は、依田分区を含む。

エ 別所温泉処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成23年度		平成22年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	400~500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
陶管	250mm以下	608.8	0.0	0.0	608.8
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	608.8	0.0	0.0	608.8
塩化ビニール管	200mm以下	11,362.2	0.0	0.0	11,362.2
	250mm	349.7	0.0	0.0	349.7
	300~800mm	832.6	0.0	0.0	832.6
	塩化ビニール管延長計	12,544.5	0.0	0.0	12,544.5
FRP管(全口径)		87.0	0.0	0.0	87.0
铸铁管(全口径)		263.1	0.0	0.0	263.1
鋼管(全口径)		0.0	0.0	0.0	0.0
その他		0.0	0.0	0.0	0.0
管路延長計		13,503.4	0.0	0.0	13,503.4

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成23年度		平成22年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	5	0	0	5
	900mm(1号)	451	0	0	451
	1,200mm(2号)	4	0	0	4
	1,500mm(3号)	2	0	0	2
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	0
	小口径・楕円	186	0	0	186
	マンホール計	648	0	0	648
マンホールポンプ	4	0	0	4	

オ 中塩田処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成23年度		平成22年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	400～500mm	719.7	0.0	0.0	719.7
	600～800mm	1,929.3	0.0	0.0	1,929.3
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	2,649.0	0.0	0.0	2,649.0
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	60,580.8	971.8	0.0	59,609.0
	250mm	8,586.4	0.0	0.0	8,586.4
	300～800mm	678.1	0.0	0.0	678.1
	塩化ビニール管延長計	69,845.3	971.8	0.0	68,873.5
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	铸铁管(全口径)	1,907.8	0.0	0.0	1,907.8
	鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0
	管路延長計	74,402.1	971.8	0.0	73,430.3

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成23年度		平成22年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	71	0	0	71
	900mm(1号)	1,481	17	0	1,464
	1,200mm(2号)	21	0	0	21
	1,500mm(3号)	1	0	0	1
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	6	0	0	6
	小口径・楕円	1,324	24	0	1,300
	マンホール計	2,904	41	0	2,863
マンホールポンプ	11	0	0	11	



## カ 神川東処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成23年度		平成22年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	698.7	0.0	0.0	698.7
	400～500mm	1,175.0	0.0	0.0	1,175.0
	600～800mm	50.8	0.0	0.0	50.8
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	1,924.5	0.0	0.0	1,924.5
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	46,641.4	538.5	0.0	46,102.9
	250mm	3,080.4	0.0	0.0	3,080.4
	300～800mm	418.6	0.0	0.0	418.6
	塩化ビニール管延長計	50,140.4	538.5	0.0	49,601.9
FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0	
铸铁管(全口径)	1,976.9	0.0	0.0	1,976.9	
鋼管(全口径)	138.0	0.0	0.0	138.0	
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	
管路延長計	54,179.8	538.5	0.0	53,641.3	

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成23年度		平成22年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	35	0	0	35
	900mm(1号)	1,248	10	0	1,238
	1,200mm(2号)	13	0	0	13
	1,500mm(3号)	3	0	0	3
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	2	0	0	2
	小口径・楕円	1,110	15	0	1,095
	マンホール計	2,411	25	0	2,386
マンホールポンプ	13	0	0	13	

キ 丸子処理区(依田分区)

(単位:m)

管種・口径	年度	年度末 延長	平成23年度		平成22年度 年度末 延長
			布設	除却	
ヒューム管	350mm以下	598.0	0.0	0.0	598.0
	400～500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	598.0	0.0	0.0	598.0
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	62,829.4	882.6	0.0	61,946.8
	250mm	599.4	0.0	0.0	599.4
	300～800mm	58.7	0.0	0.0	58.7
	塩化ビニール管延長計	63,487.5	882.6	0.0	62,604.9
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋳鉄管(全口径)	189.0	0.0	0.0	189.0
	鋼管(全口径)	20.5	0.0	0.0	20.5
	その他	210.7	0.0	0.0	210.7
	管路延長計	64,505.7	882.6	0.0	63,623.1

(注) マンホール・マンホールポンプの設置個数は、丸子分区に含まれている。

ク 西内処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成23年度		平成22年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	10,069.1	0.0	0.0	10,069.1
	400~500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	10,069.1	0.0	0.0	10,069.1
陶管	250mm以下	2,055.3	0.0	0.0	2,055.3
	300mm	495.3	0.0	0.0	495.3
	350~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	2,550.6	0.0	0.0	2,550.6
塩化ビニール管	200mm以下	6,232.3	0.0	0.0	6,232.3
	250mm	54.9	0.0	0.0	54.9
	300~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	塩化ビニール管延長計	6,287.2	0.0	0.0	6,287.2
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋳鉄管(全口径)	2,232.1	0.0	0.0	2,232.1
	鋼管(全口径)	31.8	0.0	0.0	31.8
	その他	284.0	0.0	0.0	284.0
	管路延長計	21,454.8	0.0	0.0	21,454.8

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成23年度		平成22年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	47	0	0	47
	900mm(1号)	660	0	0	660
	1,200mm(2号)	0	0	0	0
	1,500mm(3号)	4	0	0	4
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	0
	小口径・楕円	191	0	0	191
	マンホール計	902	0	0	902
	マンホールポンプ	8	0	0	8

## ケ 菅平処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成23年度		平成22年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	4,942.3	0.0	0.0	4,942.3
	400~500mm	220.1	0.0	0.0	220.1
	600~800mm	39.0	0.0	0.0	39.0
	900mm以上	285.9	0.0	0.0	285.9
	ヒューム管延長計	5,487.3	0.0	0.0	5,487.3
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	7,432.6	0.0	0.0	7,432.6
	250mm	7,228.3	0.0	0.0	7,228.3
	300~800mm	1,415.2	0.0	0.0	1,415.2
	塩化ビニール管延長計	16,076.1	0.0	0.0	16,076.1
FRP管(全口径)	104.4	0.0	0.0	104.4	
鋳鉄管(全口径)	1,780.2	0.0	0.0	1,780.2	
鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	102.2	0.0	0.0	102.2	
管路延長計	23,550.2	0.0	0.0	23,550.2	

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成23年度		平成22年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	12	0	0	12
	900mm(1号)	621	0	0	621
	1,200mm(2号)	3	0	0	3
	1,500mm(3号)	9	0	0	9
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	0
	小口径・楕円	21	0	0	21
	マンホール計	666	0	0	666
	マンホールポンプ	7	0	0	7

コ 真田処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成23年度		平成22年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	1,155.4	0.0	0.0	1,155.4
	400~500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	1,155.4	0.0	0.0	1,155.4
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	54,635.9	0.0	0.0	54,635.9
	250mm	828.7	0.0	0.0	828.7
	300~800mm	150.0	0.0	0.0	150.0
	塩化ビニール管延長計	55,614.6	0.0	0.0	55,614.6
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋳鉄管(全口径)	542.8	0.0	0.0	542.8
	鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	254.9	0.0	0.0	254.9
	管路延長計	57,567.7	0.0	0.0	57,567.7

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成23年度		平成22年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	0	0	0	0
	900mm(1号)	1,261	0	0	1,261
	1,200mm(2号)	5	0	0	5
	1,500mm(3号)	4	0	0	4
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	1	0	0	1
	小口径・楕円	1,409	0	0	1,409
	マンホール計	2,680	0	0	2,680
マンホールポンプ	14	0	0	14	



## (4) 処理水量の推移

(単位: m<sup>3</sup>・m<sup>3</sup>/日)

処理場名 項目	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
上田市下水浄化センター			
処理水量	8,027,326	△0.27%	8,049,196
月最大	741,073	△7.01%	796,903
月最小	595,750	0.52%	592,673
晴天時日最大(日付)	26,177 (5/31)	△20.79%	33,047 (8/3)
晴天時日最小(日付)	17,942 (10/9)	△6.36%	19,160 (1/1)
雨天時日最大(日付)	39,121 (5/29)	5.96%	36,921 (7/15)
雨天時日最小(日付)	19,285 (10/15)	1.63%	18,975 (4/11)
日平均	21,990	△0.29%	22,053
南部クリーンパーク			
処理水量	2,975,715	0.93%	2,948,243
月最大	266,408	△2.15%	272,266
月最小	222,639	1.23%	219,925
晴天時日最大(日付)	9,295 (12/31)	△5.39%	9,825 (7/20)
晴天時日最小(日付)	7,473 (1/2)	0.77%	7,416 (5/7)
雨天時日最大(日付)	10,505 (5/29)	6.36%	9,877 (7/15)
雨天時日最小(日付)	7,419 (1/20)	3.39%	7,176 (4/16)
日平均	8,151	0.92%	8,077
別所温泉浄化センター			
処理水量	305,945	0.09%	305,676
月最大	27,204	△0.81%	27,427
月最小	23,756	△0.01%	23,759
晴天時日最大(日付)	1,090 (1/1)	0.37%	1,086 (8/3)
晴天時日最小(日付)	667 (6/29)	2.77%	649 (4/21)
雨天時日最大(日付)	1,262 (5/29)	22.52%	1,030 (6/19)
雨天時日最小(日付)	664 (6/30)	△1.78%	676 (5/19)
日平均	838	0.12%	837
丸子浄化センター			
処理水量	1,589,610	2.30%	1,553,830
月最大	143,180	△2.51%	146,870
月最小	119,300	3.91%	114,810
晴天時日最大(日付)	5,160 (5/31)	4.24%	4,950 (8/26)
晴天時日最小(日付)	3,970 (5/1)	1.79%	3,900 (5/7)
雨天時日最大(日付)	5,910 (5/29)	3.68%	5,700 (7/16)
雨天時日最小(日付)	3,850 (4/9)	2.39%	3,760 (2/11)
日平均	4,354	2.28%	4,257
西内浄化センター			
処理水量	661,988	8.70%	609,015
月最大	64,668	6.41%	60,772
月最小	44,761	12.66%	39,732
晴天時日最大(日付)	2,495 (9/23)	18.92%	2,098 (10/29)
晴天時日最小(日付)	1,305 (4/10)	30.37%	1,001 (2/1)
雨天時日最大(日付)	3,484 (9/22)	21.39%	2,870 (7/15)
雨天時日最小(日付)	1,378 (4/9)	1.40%	1,359 (1/16)
日平均	1,812	8.57%	1,669
菅平浄化センター			
処理水量	526,982	△0.66%	530,495
月最大	91,826	△10.06%	102,101
月最小	17,828	△18.80%	21,956
晴天時日最大(日付)	3,530 (8/13)	△19.18%	4,368 (8/11)
晴天時日最小(日付)	484 (11/18)	△15.97%	576 (12/2)
雨天時日最大(日付)	3,559 (8/20)	△19.30%	4,410 (8/12)
雨天時日最小(日付)	550 (10/30)	△3.68%	571 (10/22)
日平均	1,443	△0.69%	1,453
真田浄化センター			
処理水量	382,944	△2.97%	394,649
月最大	35,729	△4.27%	37,322
月最小	31,225	0.46%	31,083
晴天時日最大(日付)	1,338 (12/31)	△6.17%	1,426 (8/3)
晴天時日最小(日付)	971 (3/27)	△3.29%	1,004 (4/15)
雨天時日最大(日付)	1,354 (2/7)	△20.07%	1,694 (8/2)
雨天時日最小(日付)	959 (5/27)	△2.24%	981 (6/26)
日平均	1,049	△2.96%	1,081

## (5) 水質検査結果

平成23年度

項目			上田	南部	別所	丸子	西内	菅平	真田
流入水 (午前9時測定)	水温 (°C)	平均	19.0	18.2	23.6	17.2	21.4	14.6	17.3
		最大	26.3	25.0	30.5	24.7	27.3	24.7	25.5
		最小	12.0	13.0	17.2	9.2	13.0	7.7	8.5
	pH	平均	7.5	7.7	7.3	7.3	7.1	6.9	7.3
		最大	8.1	8.5	7.8	8.2	7.8	7.5	8.2
		最小	7.0	6.9	6.5	6.5	6.7	6.4	6.8
	透視度	平均	3.4	3.3	4.8	3.4	9.5	6.8	3.7
		最大	4.9	3.8	8.7	4.5	17	17.0	4.2
		最小	2.2	2.5	3.0	2.0	4.0	2.0	2.5
	SS (mg/ℓ)	平均	270	260	140	230	94	130	230
		最大	630	340	350	460	190	830	420
		最小	150	210	32	130	37	18	110
	BOD (mg/ℓ)	平均	340	290	190	300	110	150	300
		最大	450	500	360	450	200	380	440
		最小	210	210	120	220	50	52	210
放流水	水温 (°C)	平均	20.2	19.0	23.4	17.2	18.4	14.7	17.8
		最大	27.6	25.0	30.1	26.4	26.3	24.2	25.2
		最小	13.0	14.6	17.0	9.0	11.0	8.3	11.0
	pH	平均	7.1	7.1	7.0	6.7	6.9	6.5	6.8
		最大	7.5	7.5	7.4	7.0	7.2	6.9	7.2
		最小	6.8	6.9	6.6	6.5	6.3	6.0	6.4
	透視度	平均	91	93	100	> 100	100	99	100
		最大	> 100	> 100	> 100	> 100	> 100	> 100	> 100
		最小	33	72	71	> 100	100	60	90
	SS (mg/ℓ)	平均	3	4	1	1	1	1	1
		最大	8	10	4	4	3	1	3
		最小	1	2	< 1	< 1	< 1	1	1
	BOD (mg/ℓ)	平均	6.4	2.8	1.6	1.6	2.2	1.6	1.8
		最大	12	5.7	2.4	2.8	6.3	4.9	4.8
		最小	1.6	1.1	< 0.1	< 1.0	< 1.0	1.0	1.0
	COD (mg/ℓ)	平均	10	10	4.5	6.6	3.4	4.6	6.5
		最大	16	12	5.5	8.2	5.0	6.8	8.1
		最小	7.4	8.0	3.3	5.2	2.2	2.0	5.2
	大腸菌群数 (ヶ/ml)	平均	0	3	210	14	150	1	10
		最大	0	14	950	220	1,100	25	160
		最小	0	0	0	0	0	0	0
残留塩素 (mg/ℓ)	平均	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.08	0.1	
	最大	0.10	0.05	< 0.05	0.05	0.10	0.20	0.1	
	最小	0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	0.05	0.05	



下水排水基準

	対象物質又は項目	対象事業場・排水量	特定施設を設置している事業場		その他の事業場
			50m <sup>3</sup> /日以上	50m <sup>3</sup> /日未満	
処理困難項目	カドミウム及びその化合物	*1	0.1 [0.05]以下	0.1 [0.05]以下	0.1 [0.05]以下
	シアン化合物	*1	1 [0.5]以下	1 [0.5]以下	1 [0.5]以下
	有機りん化合物		1以下	1以下	1以下
	鉛及びその化合物		0.1以下	0.1以下	0.1以下
	六価クロム化合物	*1	0.5 [0.3]以下	0.5 [0.3]以下	0.5 [0.3]以下
	砒素及びその化合物		0.1以下	0.1以下	0.1以下
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	*1	0.005 [0.003]以下	0.005 [0.003]以下	0.005 [0.003]以下
	アルキル水銀化合物		検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと
	ポリ塩化ビフェニル(PCB)		0.003以下	0.003以下	0.003以下
	トリクロロエチレン		0.3以下	0.3以下	0.3以下
	テトラクロロエチレン		0.1以下	0.1以下	0.1以下
	ジクロロメタン		0.2以下	0.2以下	0.2以下
	四塩化炭素		0.02以下	0.02以下	0.02以下
	1,2-ジクロロエタン		0.04以下	0.04以下	0.04以下
	1,1-ジクロロエチレン		1以下	1以下	1以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン		0.4以下	0.4以下	0.4以下
	1,1,1-トリクロロエタン		3以下	3以下	3以下
	1,1,2-トリクロロエタン		0.06以下	0.06以下	0.06以下
	1,3-ジクロロプロペン		0.02以下	0.02以下	0.02以下
	チラウム		0.06以下	0.06以下	0.06以下
	シマジン		0.03以下	0.03以下	0.03以下
	チオベンカルブ		0.2以下	0.2以下	0.2以下
	ベンゼン		0.1以下	0.1以下	0.1以下
	セレン及びその化合物		0.1以下	0.1以下	0.1以下
	ほう素及びその化合物	*3	10以下	10以下	10以下
	フッ素及びその化合物	*3	8以下	8以下	8以下
	1,4-ジオキサン	*3	0.5以下	0.5以下	0.5以下
環境項目	フェノール類		5以下	5以下	5以下
	銅及びその化合物	*2	3[2]以下	[3以下] 3以下	3以下
	亜鉛及びその化合物	*2/*3	2以下	[5以下] 2以下	2以下
	鉄及びその化合物(溶解性)		10以下	10以下	10以下
	マンガン及びその化合物(溶解性)		10以下	10以下	10以下
物質有害	クロム及びその化合物	*2	2[1]以下	[2以下] 2以下	2以下
	ダイオキシン類	*4	10以下	10以下	10以下
その他の項目	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量	*3/*5	380未満	380未満	380未満
	水素イオン濃度(pH)	*5	5を超え9未満	5を超え9未満	5を超え9未満
	生物学的酸素要求量(BOD)	*5/*6	600未満	600未満	600未満
	浮遊物質質量(SS)	*5/*6	600未満	600未満	600未満
	ノルマルヘキサン 鉱油類		5以下	5以下	5以下
	抽出物質含有量 動植物油脂類		30以下	30以下	30以下
温度	*5	45未満	45未満	45未満	
よう素消費量		220未満	220未満	220未満	

- ・単位は、ダイオキシン類はpg-TEQ/l、pHは水素指数、温度は°C、その他はmg/lで示す。
- ・ 内は直罰が適用される基準を、それ以外は除害施設の設置等に係る基準を示す。
- ・\*1 カドミウム、シアン、六価クロム、総水銀の[ ]内の数値は上乘せ基準を示し、昭和54年10月31日において既に設置されている排水量が500m<sup>3</sup>/日未満の特定施設設置者等を除き適用される。
- ・\*2 銅、亜鉛、クロムの[ ]内の数値は上乘せ基準を示し、水質汚濁防止法施行令別表第1の26,27,47,49,52,53,58,61,62,63,65,66の各号に掲げる施設を設置し排水量が500m<sup>3</sup>/日以上又は50m<sup>3</sup>/日未満の事業場に適用される。
- ・\*3 ほう素、ふっ素、アンモニア性窒素等含有量は業種ごとに平成25年6月20日まで、1,4-ジオキサンは業種ごとに平成26年5月24日又は平成27年5月24日まで、亜鉛は業種ごとに平成28年12月10日までそれぞれ暫定基準が適用される。
- ・\*4 ダイオキシン類の直罰基準は、ダイオキシン類対策特別措置法第2条第2項による特定施設を設置する事業場に適用される。
- ・\*5 アンモニア性窒素等含有量、pH、BOD、SS、温度は、排水量が終末処理場で処理される量の4分の1以上である事業場について、上乘せ基準が適用される場合がある。
- ・\*6 BOD、SSは、排水量が10m<sup>3</sup>/日未満である場合には適用されない。
- ・農業集落排水は、その他の事業場に係る排除基準が適用される。ただし、[ ]内の数値は適用されない。

(6) 電力(動力)使用量の推移

ア 動力用電力使用量の推移

(単位:kwh)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
上田市下水浄化センター			
水処理			
流入他	777,100	3.77%	748,900
プロフ	960,660	4.21%	921,820
汚泥処理			
既設汚泥	66,610	△5.57%	70,540
動力1次	1,492,030	1.73%	1,466,590
汚泥焼却	1,407,900	△1.73%	1,432,740
その他	445,830	△11.46%	503,510
計	5,150,130	0.12%	5,144,100
上塩尻ポンプ場	89,530	△3.43%	92,710
下塩尻ポンプ場	56,340	2.21%	55,120
神川東ポンプ場	88,095	0.56%	87,608
南部クリーンパーク			
水処理棟			
プロフ	641,273	△1.56%	651,448
その他	340,647	35.12%	252,112
管理棟			
沈砂池ポンプ棟(動力き電)	225,580	△9.31%	248,735
汚泥棟(動力き電)	118,570	△13.49%	137,065
管理棟(動力き電)	31,110	△44.97%	56,530
照明き電	67,750	12.39%	60,280
その他	46,270	△15.61%	54,830
計	1,471,200	0.70%	1,461,000
別所温泉浄化センター			
水処理	169,504	△9.80%	187,926
汚泥処理	70,658	2.46%	68,960
その他	35,606	△0.81%	35,896
計	275,768	△5.81%	292,782
丸子浄化センター			
水処理	861,081	1.03%	852,300
汚泥処理	50,354	△4.01%	52,457
その他	137,955	△0.09%	138,083
計	1,049,390	0.63%	1,042,840
西内浄化センター			
水処理・その他	199,921	4.93%	190,527
汚泥処理	8,951	△4.53%	9,376
計	208,872	4.49%	199,903
菅平浄化センター			
水処理	188,843	10.19%	171,384
汚泥処理	23,396	3.60%	22,583
その他	342,821	△3.95%	356,903
計	555,060	0.76%	550,870
真田浄化センター			
水処理	195,480	△1.96%	199,380
汚泥処理	60,130	△15.30%	70,990
その他	45,350	△8.83%	49,740
計	300,960	△5.98%	320,110

イ 燃料使用量の推移(上田市下水浄化センター)

年度	A 重油使用量				消化ガス使用量		
	搬入量	焼却炉	ボイラー	合計	ボイラー	焼却炉	合計
	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
22	0	0	0	0	0	318,047	318,047
23	0	0	0	0	0	318,596	318,596

年度	都市ガス使用量		
	焼却炉	温水ボイラー	合計
			m <sup>3</sup>
23	222,606	48,161	270,767

(7) 薬品使用量の推移

ア 消毒用薬品(塩素滅菌：次亜塩素酸ナトリウム)

(単位：ℓ・mg/ℓ)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
上田市下水浄化センター			
1 注入量	90,280	19.24%	75,710
系 注入率	1.99		1.63
2 注入量	13,886	1.00%	13,748
系 注入率	1.08		1.17
南部クリーンパーク			
注入量	26,216	△14.01%	30,489
注入率	0.93		1.30
丸子浄化センター			
注入量	12,910	△29.24%	18,246
注入率	1.06		1.57
菅平浄化センター			
注入量	4,710	18.00%	3,992
注入率	1.31		1.03

イ 消毒用薬品(塩素滅菌：固形塩素)

(単位：kg)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
別所温泉浄化センター	141	4.44%	135
西内浄化センター	133	△43.64%	236
真田浄化センター	293	△4.56%	307

ウ 高分子凝集剤

(単位：kg)

		平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
上田市下水浄化センター	濃縮	10,470	△3.15%	10,811
上田市下水浄化センター	脱水	10,254	9.27%	9,384
南部クリーンパーク	脱水	5,393	△3.25%	5,574
別所温泉浄化センター	脱水	296	34.56%	220
丸子浄化センター	脱水	1,788	0.99%	1,770
西内浄化センター	脱水	109	△19.38%	135
菅平浄化センター	脱水	303	3.66%	292
真田浄化センター	脱水	1,457	7.45%	1,356

エ 無機凝集剤

(単位：kg)

	平成23年度		平成22年度
		対前年度比	
上田市下水浄化センター	0		0
南部クリーンパーク	0		0
別所温泉浄化センター	3,814	15.68%	3,297
丸子浄化センター	43,203	△3.61%	44,820
西内浄化センター	4,865	△19.41%	6,037
菅平浄化センター	8,424	3.60%	8,131
真田浄化センター	0		0



## 農業集落排水事業編



# 1 事業の概要

## (1) 事業の沿革

上田市の農業集落排水事業は、上田地域の下組地区が昭和 61 年に事業化され、以後上田地区 18 地区、丸子地域 3 地区、真田地域 3 地区、武石地域 3 地区、合計 27 地区 27 施設で事業を進めてきました。

平成元年に最初の下組地区が供用開始となり、平成 16 年には最後の殿城地区が供用開始となり全 27 地区で計画面積 1,209ha、計画人口 41,790 人の整備が終了しております。

今後は、効率的な維持管理を目指し、コスト縮減及び廃棄物の再資源化に取り組み、循環型社会の形成を目指していきます。その一環として、平成 20 年度から平成 21 年度にかけ下組地区を下之郷地区へ統合する機能強化事業に着手し、平成 22 年度から農業集落排水処理施設は 1 箇所減となり 26 箇所となっている。

## (2) 事業のあゆみ

### ア 上田地域

上田地域の農業集落排水事業は、昭和 61 年に下組地区が事業採択され事業に着手した。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成元年には下組地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成 16 年に上田地域で最後の殿城地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っている。

また、農業集落排水事業計画は、当初昭和 61 年の下組地区 17.5ha の着手から各地区を追加し、平成 10 年には殿城地区を加えて現在 825.5ha となっている。

昭和60年	9月	下組地区陳情
昭和61年	5月	下組地区事業採択
	12月	仁古田地区陳情
昭和62年	3月	上田市農業集落排水事業費分担金条例及び施行規程施行
昭和63年	3月	下之郷地区陳情
	5月	仁古田地区事業採択
	7月	岡地区陳情
	12月	下小島地区陳情
	12月	古安曾地区陳情
平成元年	3月	上田市農業集落排水施設条例及び施行規程施行
	5月	下組地区供用開始
		下之郷地区事業採択
	9月	保野舞田地区陳情
		富士山地区陳情
	12月	浦里地区陳情
平成 3年	2月	室賀地区陳情
	5月	岡地区事業採択
	7月	仁古田地区供用開始
	8月	小井田地区陳情

平成 3年	8月	豊殿南部地区陳情
	9月	八木沢地区陳情
平成 4年	1月	林之郷地区陳情
	3月	小泉地区陳情
	4月	山田地区陳情
	5月	下小島地区事業採択 小井田地区事業採択
	6月	殿城地区陳情
平成 5年	5月	古安曾地区事業採択 保野舞田地区事業採択
平成 6年	4月	岡地区供用開始
	5月	富士山地区事業採択 豊殿南部地区事業採択
平成 7年	1月	下之郷地区供用開始 下小島地区供用開始
	5月	八木沢地区事業採択 浦里地区事業採択
	10月	小井田地区供用開始
平成 8年	5月	室賀地区事業採択 林之郷地区事業採択
平成 9年	5月	山田地区事業採択 小泉地区事業採択
平成10年	4月	古安曾地区供用開始 保野舞田地区供用開始 殿城地区事業採択 仁古田地区処理機能強化事業採択
平成11年	3月	豊殿南部地区供用開始 富士山地区供用開始
	12月	八木沢地区供用開始 浦里地区供用開始
平成13年	4月	地方公営企業法を全部適用
	7月	林之郷地区供用開始
	12月	室賀地区供用開始
平成14年	4月	山田地区供用開始
	10月	小泉地区供用開始
平成16年	4月	殿城地区供用開始
平成20年	4月	下組・下之郷地区資源循環統合補助事業採択
平成22年	4月	下組・下之郷地区統合及び下組処理場廃止



## イ 丸子地域

丸子地域の農業集落排水事業は、平成4年に藤原田地区が事業採択され事業に着手した。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成7年には藤原田地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成12年に丸子地域で最後の和子地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っている。

また、農業集落排水事業計画は、当初平成4年の藤原田地区17haの着手から、平成6年に荻窪地区17ha、平成8年には和子地区27haを追加し、現在61haとなっている。

平成4年度	藤原田地区事業採択承認 藤原田地区管渠工事着手 丸子町農業集落排水事業分担金条例制定
平成5年度	藤原田地区処理施設建設工事着手
平成6年度	荻窪地区事業採択承認 荻窪地区管渠工事着手 丸子町農業集落排水施設条例制定
平成7年度	藤原田地区供用開始(4月1日) 藤原田地区事業完了
平成8年度	和子地区事業採択承認 和子地区管渠工事着手 荻窪地区処理施設建設工事着手
平成10年度	荻窪地区供用開始(4月1日)
平成12年度	和子地区供用開始(4月1日)
平成17年度	地方公営企業法を全部適用

## ウ 真田地域

真田地域の農業集落排水事業は、昭和63年に本原地区が事業採択され事業に着手した。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成3年には本原地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成12年に真田地域で最後の本原南地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っている。

また、農業集落排水事業計画は、当初昭和63年の本原地区32haの着手から、平成4年に上洗馬地区22ha、平成8年には本原南地区68haを追加し、現在122haとなっている。

昭和63年	4月	本原地区事業採択承認
平成元年	2月	本原地区管渠工事着手
平成2年	9月	本原地区処理施設建設工事着手
平成3年	4月	本原地区供用開始(4月20日)
	10月	本原地区事業完了
平成4年	4月	上洗馬地区事業採択承認
	7月	上洗馬地区管渠工事着手

平成5年	9月	上洗馬地区処理施設建設工事着手
平成7年	4月	上洗馬地区供用開始(4月26日)
平成8年	3月	上洗馬地区事業完了
	5月	本原南地区事業採択承認
	12月	本原南地区管渠工事着手
平成10年	12月	本原南地区処理施設建設工事着手
平成12年	12月	本原南地区供用開始(12月8日)
平成13年	10月	本原南地区事業完了
平成20年	4月	地方公営企業法を全部適用

## エ 武石地域

武石地域の農業集落排水事業は、平成5年に武石地区が事業採択され、事業に着手した。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成9年には武石地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成14年に武石地域で最後の余里小沢根地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っている。

また、農業集落排水事業計画は、当初平成5年の武石地区153haの着手から、平成7年に本入地区28ha、平成9年には余里小沢根地区13.7haを追加し、現在194.7haとなっている。

平成5年	3月	武石村農業集落排水事業分担金徴収条例制定
	4月	武石地区事業採択承認
	10月	武石地区管渠工事着手
平成6年	11月	武石地区処理施設建設工事着手
平成7年		本入地区事業採択承認
	12月	本入地区管渠工事着手
平成9年	3月	武石村農業集落排水施設条例制定
	4月	武石地区供用開始(4月1日)
		余里小沢根地区事業採択承認
平成10年	6月	余里小沢根地区管渠工事着手
	10月	本入地区処理施設建設工事着手
平成12年	4月	本入地区供用開始(4月1日)
	12月	余里小沢根地区処理施設建設工事着手
平成14年	4月	余里小沢根地区供用開始(4月1日)
平成20年	4月	地方公営企業法を全部適用



## (3) 事業計画

	対象集落	事業年度	採択 年度	供用開始 年月日	計画			排除 方式
					面積 (ha)	人口 (人)	戸数 (戸)	
下組	(平成22年、下之郷地区へ統合し廃止)	S61～S63	S61	H1. 5. 12	17. 5	650	160	分流式
仁古田	仁古田	S63～H5	S63	H3. 7. 17	41. 0	1, 400	261	分流式
岡	岡	H3～H6	H3	H6. 4. 1	28. 0	940	214	分流式
下之郷	下之郷、下組	H1～H7	H1	H7. 1. 1	55. 0	2, 700	443	分流式
下小島	下小島	H4～H7	H4	H7. 1. 1	16. 0	660	153	分流式
小井田	小井田	H4～H8	H4	H7. 10. 1	11. 0	300	70	分流式
古安曾	石神、鈴子、平井寺、柳沢	H5～H11	H5	H10. 4. 1	142. 0	2, 820	584	分流式
保野舞田	保野、舞田	H5～H11	H5	H10. 4. 1	75. 0	2, 990	609	分流式
豊殿南部	森、大日木、漆戸	H6～H11	H6	H11. 3. 1	18. 0	730	195	分流式
富士山	中組、奈良尾	H6～H11	H6	H11. 3. 1	52. 0	1, 610	353	分流式
八木沢	八木沢、八舞	H7～H12	H7	H11. 12. 1	45. 0	1, 800	416	分流式
浦里	越戸、浦野、藤之木	H7～H12	H7	H11. 12. 1	52. 0	2, 600	681	分流式
林之郷	林之郷	H8～H13	H8	H13. 7. 1	19. 0	1, 320	239	分流式
室賀	上室賀、下室賀、ひばりヶ丘	H8～H14	H8	H13. 12. 1	75. 0	2, 780	655	分流式
山田	山田	H9～H13	H9	H14. 4. 1	14. 0	550	105	分流式
小泉	小泉	H9～H14	H9	H14. 10. 1	68. 0	2, 990	626	分流式
殿城	矢沢、赤坂、下郷、宮之上、岩清水	H10～H16	H10	H16. 4. 1	95. 0	2, 460	620	分流式
布引	下之郷の一部	H6～H8	H6	H9. 10. 1	2. 0	180	18	分流式
藤原田	藤原田	H4～H7	H4	H7. 4. 3	17. 0	420	114	分流式
荻窪	荻窪	H6～H10	H6	H10. 4. 1	17. 0	670	140	分流式
和子	和子、下和子	H8～H12	H8	H12. 4. 1	27. 0	1, 060	266	分流式
本原	上原、下郷沢、中原、出早、町原の一部	S63～H4	S63	H3. 4. 20	32. 0	1, 270	306	分流式
上洗馬	田中、下横道、中横道、上横道	H4～H7	H4	H7. 4. 26	22. 0	970	234	分流式
本原南	大畑、下原、中原、表木、町原の一部	H8～H13	H8	H12. 12. 8	68. 0	2, 960	674	分流式
武石	鳥屋、沖、藪合、中島、七ヶ、片羽、堀の内、市ノ瀬、腰越の一部	H5～H9	H5	H9. 4. 1	153. 0	3, 570	820	分流式
本入	下本入、権現、下小寺尾、上小寺尾、唐沢、築地原	H7～H12	H7	H12. 4. 1	28. 0	870	255	分流式
余里小沢根	小沢根、余里	H9～H13	H9	H14. 4. 1	13. 7	520	169	分流式
					1, 203. 2	41, 790	9, 380	

計画汚水量			処理水の放流先名称
日最大 (m <sup>3</sup> /日)	日平均 (m <sup>3</sup> /日)	時間最大 (m <sup>3</sup> /hr)	
214.5	175.5	21.13	一級河川 駒瀬川
462.0	378.0	45.50	一級河川 浦野川
310.2	253.8	30.55	一級河川 浦野川
891.0	729.0	87.75	一級河川 尻無川
217.8	178.2	21.45	一級河川 産川
99.0	81.0	9.75	一級河川 瀬沢川
930.6	761.4	91.65	農業用排水路 ⇒ 一級河川 尻無川
986.7	807.3	97.18	一級河川 湯川
240.9	197.1	23.73	道路側溝 ⇒ 一級河川 神川
531.3	434.7	52.33	一級河川 尾根川
594.0	486.0	58.50	準用河川 腰巻川
858.0	702.0	84.50	用悪水路 ⇒ 一級河川 浦野川
435.6	356.4	42.90	道路側溝 ⇒ 一級河川 神川
917.4	750.6	90.35	一級河川 室賀川
181.5	148.5	17.88	農業用排水路 ⇒ 一級河川 追開沢川
986.7	807.3	97.18	農業用排水路 ⇒ 一級河川 浦野川
811.8	664.2	79.95	一級河川 神川
59.4	48.6	5.85	普通河川 三郎川
139.0	114.0	13.70	普通河川 郷尻沢川
222.0	181.0	21.80	一級河川 内村川
350.0	286.2	34.50	一級河川 内村川
419.0	219.0	41.30	農業用排水路 ⇒ 一級河川 神川
320.0	150.0	31.50	一級河川 洗馬川
800.0	390.0	78.80	農業用排水路 ⇒ 一級河川 神川
1,176.1	964.0	116.00	一級河川 依田川
286.7	235.0	28.30	一級河川 武石川
172.0	141.0	16.90	砂防河川 小沢根川
13,613.2	10,639.8	1,340.93	



## 2 財政の状況

### (1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移

(税込・単位:円)

項目	平成23年度		平成22年度
	年度	対前年度比	
農業集落排水事業収益	1,191,192,854	△3.93%	1,239,871,126
営業収益	401,936,502	△2.25%	411,200,832
営業外収益	789,256,352	△4.76%	828,670,294
特別利益	-	—	-
農業集落排水事業費用	1,297,363,039	△2.42%	1,329,512,690
営業費用	977,890,071	△1.65%	994,270,696
営業外費用	319,472,968	△4.70%	335,241,994
特別損失	-	—	-
収支差引額	△106,170,185	18.44%	△89,641,564

(税込・単位:円)

項目	平成23年度		平成22年度
	年度	対前年度比	
損益勘定留保資金発生額	476,671,194	△7.30%	514,219,813
減価償却費	582,841,379	△2.37%	597,010,621
固定資産除却費	-	皆減	6,850,756
固定資産売却損	-	—	-
固定資産譲渡損	-	—	-
繰延勘定償却	-	—	-
固定資産除却損	-	—	-
消費税資本的収支調整額(△)	△11,470,332	3.60%	△11,071,955
欠損金(△)	△94,699,853	20.53%	△78,569,609
欠損金処理額	-	—	-
その他	-	—	-
損益勘定留保資金補てん額	423,665,457	△3.18%	437,581,478
過年度不足分補てん額	-	—	-
過年度分修正	-	—	-
損益勘定留保資金残高	837,256,985	6.76%	784,251,248

## (2) 資本的収支及び補てん財源の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
資本的収入		282,482,000	△2.71%	290,339,000
企業債		-	—	-
県補助金		-	皆減	3,155,000
受益者分担金		-	—	-
工事負担金		29,486,000	3.92%	28,374,000
他会計補助金		252,996,000	△2.25%	258,810,000
固定資産売却代金		-	—	-
貸付金返還金		-	—	-
他会計長期借入金		-	—	-
他会計出資金		-	—	-
その他資本的収入		-	—	-
資本的支出		706,147,457	△3.96%	735,285,478
建設改良費		6,871,722	△71.65%	24,239,683
企業債償還金		699,275,735	0.76%	693,988,078
補助金返還金		-	皆減	17,057,717
受益者分担金返還金		-	—	-
他会計長期借入金返還金		-	—	-
投資		-	—	-
開発費		-	—	-
退職給与金		-	—	-
試験研究費		-	—	-
災害損失		-	—	-
その他資本的支出		-	—	-
収支差引額		△423,665,457	△4.78%	△444,946,478
翌年度繰越充当額		-	—	-

(税込・単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
補てん財源		423,665,457	△4.78%	444,946,478
消費税資本的収支調整額		-	—	-
繰越工事資金		-	皆減	7,365,000
引継金		-	—	-
損益勘定留保資金		423,665,457	△3.18%	437,581,478
利益剰余金処分量		-	—	-
減債積立金		-	—	-
建設改良積立金		-	—	-
未処分利益剰余金		-	—	-
その他		-	—	-
補てん不足額		-	—	-



## (3) 財務諸表の推移

## ア 比較損益計算書

(単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
営業収益		382,802,015	△2.25%	391,624,730
農業集落排水使用料		382,690,115	△2.26%	391,522,430
一般会計負担金		-	—	-
受託事業収益		-	—	-
その他営業収益		111,900	9.38%	102,300
営業費用		962,966,843	△1.70%	979,574,006
管理渠費		52,858,077	△4.79%	55,515,361
処理場費		275,278,695	0.93%	272,748,855
受託事業費		-	—	-
水質規制費		221,800	16.68%	190,100
普及促進費		17,540	15.97%	15,124
業務費		8,925,210	2.58%	8,700,854
総係費		42,824,142	11.11%	38,542,335
減価償却費		582,841,379	△2.37%	597,010,621
資産減耗費		-	皆減	6,850,756
その他営業費用		-	—	-
営業利益・損失		△580,164,828	△1.32%	△587,949,276
営業外収益		789,374,028	△4.75%	828,769,045
受取利息及び配当金		1,238,464	△57.22%	2,894,832
他会計補助金		787,894,000	△4.54%	825,397,000
その他雑収益		241,564	△49.38%	477,213
営業外費用		303,909,053	△4.85%	319,389,378
支払利息及び企業債取扱諸費		301,534,421	△4.93%	317,160,909
繰延勘定償却		-	—	-
その他雑支出		2,374,632	6.56%	2,228,469
経常利益・損失		△94,699,853	20.53%	△78,569,609
特別利益		-	—	-
固定資産売却益		-	—	-
過年度損益修正益		-	—	-
その他特別利益		-	—	-
特別損失		-	—	-
固定資産売却損		-	—	-
過年度損益修正損		-	—	-
その他特別損失		-	—	-
当年度純利益・損失		△94,699,853	20.53%	△78,569,609
前年度繰越利益剰余金・欠損金		△545,442,596		△466,872,987
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金		△640,142,449		△545,442,596

## イ 剰余金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
利益剰余金	前年度繰入額	-	—	-
	前年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	-	—	-
	積立金合計	-	—	-
(欠損金)の部	前年度利益剰余金処分額	-	—	-
	減債積立金	-	—	-
	前年度欠損金処理額	-	—	-
	前年度純利益・損失	△94,699,853	20.53%	△78,569,609
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金	△640,142,449	17.36%	△545,442,596	
資本剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	-	—	-
	前年度処分高	-	—	-
	当年度末残高	4,757,430	0.00%	4,757,430
資本剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	-	皆減	3,004,762
	前年度処分高	-	—	-
	当年度末残高	43,067,905	0.00%	43,067,905
資本剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	242,481,333	△2.24%	248,047,334
	前年度処分高	-	—	-
	当年度末残高	1,453,857,458	20.02%	1,211,376,125
資本剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	-	—	-
	前年度処分高	-	—	-
	当年度末残高	273,646	0.00%	273,646
資本剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	28,203,111	3.55%	27,236,071
	前年度処分高	-	—	-
	当年度末残高	198,039,036	16.61%	169,835,925
翌年度繰越資本剰余金		1,699,995,475	18.94%	1,429,311,031

ウ 比較貸借対照表

(単位:円)

項目	年度	平成23年度末		平成22年度末	
			対前年度比		
固	定	資産	32,887,076,953	△1.72%	33,463,373,834
有	形	固定資産	32,878,514,945	△1.72%	33,454,811,826
	土	建物	945,424,130	0.00%	945,424,130
	建	構	1,442,680,635	△1.73%	1,468,041,441
	機	械	27,177,167,782	△1.47%	27,582,212,139
	車	及	3,299,500,042	△4.24%	3,445,469,991
	工	運	29,900	△81.82%	164,450
	具	器	6,604,074	3.33%	6,391,293
	建	設	7,108,382	0.00%	7,108,382
無	形	固定資産	8,562,008	0.00%	8,562,008
	地	上	4,462,553	0.00%	4,462,553
	地	役	2,227,455	0.00%	2,227,455
	電	話	1,872,000	0.00%	1,872,000
流	動	資産	1,063,297,332	8.08%	983,785,758
	現	金	1,007,110,111	8.87%	925,035,611
	現	預	-	-	-
	未	収	56,187,221	△4.36%	58,750,147
	営	業	56,187,221	△4.36%	58,750,147
	営	業	-	-	-
	そ	の	-	-	-
	前	払	-	-	-
繰	延	勘	-	-	-
	資	産	33,950,374,285	△1.44%	34,447,159,592
固	定	負債	192,341,321	22.98%	156,401,855
	引	当	192,341,321	22.98%	156,401,855
	修	繕	183,675,250	24.04%	148,071,480
	退	職	8,666,071	4.03%	8,330,375
流	動	負債	33,699,026	△21.87%	43,132,655
	未	払	33,409,478	△22.35%	43,023,330
	営	業	29,633,378	△23.99%	38,987,900
	営	業	3,677,400	△6.85%	3,947,700
	そ	の	98,700	12.50%	87,730
	そ	の	289,548	164.85%	109,325
	預	り	289,548	164.85%	109,325
	負	債	226,040,347	13.28%	199,534,510
資	本	金	32,664,480,912	△2.10%	33,363,756,647
	自	己	19,474,322,960	0.00%	19,474,322,960
	引	継	19,474,322,960	0.00%	19,474,322,960
	借	入	13,190,157,952	△5.03%	13,889,433,687
	企	業	13,190,157,952	△5.03%	13,889,433,687
剰	余	金	1,059,853,026	19.91%	883,868,435
	資	本	1,699,995,475	18.94%	1,429,311,031
	受	贈	4,757,430	0.00%	4,757,430
	受	補	43,067,905	0.00%	43,067,905
	他	会	1,453,857,458	20.02%	1,211,376,125
	受	益	273,646	0.00%	273,646
	工	事	198,039,036	16.61%	169,835,925
	利	益	△640,142,449	17.36%	△545,442,596
	当	年	△640,142,449	17.36%	△545,442,596
	資	本	33,724,333,938	△1.53%	34,247,625,082
	負	債	33,950,374,285	△1.44%	34,447,159,592

## (4) 資金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
収入		1,474,730,356	△5.42%	1,559,238,149
事業収益		1,147,085,691	△3.94%	1,194,144,835
前年度未収金		45,162,665	△39.59%	74,754,314
企業債		-	-	-
県補助金		-	皆減	3,155,000
受益者負担金		-	-	-
工事負担金		29,486,000	3.92%	28,374,000
他会計補助金		252,996,000	△2.25%	258,810,000
一時借入金		-	-	-
短期貸付金		-	-	-
前払金		-	-	-
契約保証金		-	-	-
還付預り金		-	-	-
その他預り金		-	-	-
特別会計引継金		-	-	-
支出		1,392,655,856	△1.25%	1,410,289,487
事業費用		630,829,235	0.34%	628,721,146
前年度未払金		43,023,330	12.78%	38,146,380
建設改良費		6,773,022	△66.05%	19,951,953
企業債償還金		699,275,735	0.76%	693,988,078
一時借入金返済		-	-	-
短期貸付金		-	-	-
前払金		12,086,800	1.08%	11,958,190
契約保証金返還		-	-	-
還付金		667,734	43.28%	466,023
その他預り金		-	-	-
補助金返還金		-	皆減	17,057,717
収支差引額		82,074,500	△44.90%	148,948,662
前年度末現金預金残高		925,035,611	19.19%	776,086,949
当年度末現金預金残高		1,007,110,111	8.87%	925,035,611

## (5) 費用構成の推移

(税抜・単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度		
		構成比	対前年度比	構成比	対前年度比	
費用合計		1,266,875,896	100.00%	△2.47%	1,298,963,384	100.00%
維持管理費①		382,500,096	30.19%	1.21%	377,941,098	29.10%
職員給与費		39,396,921	3.11%	10.04%	35,803,585	2.76%
動力費		62,610,067	4.94%	7.08%	58,468,836	4.50%
光熱水費		654,005	0.05%	△6.13%	696,707	0.05%
通信運搬費		4,475,697	0.35%	△1.27%	4,533,131	0.35%
修繕費		70,787,800	5.59%	△4.59%	74,195,948	5.71%
材料費		20,000	0.00%	35.14%	14,800	0.00%
薬品費		2,342,580	0.18%	△0.09%	2,344,672	0.18%
路面復旧費		-	0.00%	-	-	0.00%
委託料		187,748,496	14.82%	△0.38%	188,461,018	14.51%
その他		14,464,530	1.14%	7.76%	13,422,401	1.03%
資本費②		884,375,800	69.81%	△3.98%	921,022,286	70.90%
支払利息		301,534,421	23.80%	△4.93%	317,160,909	24.42%
減価償却費		582,841,379	46.01%	△2.37%	597,010,621	45.96%
その他		-	0.00%	皆減	6,850,756	0.53%
公費負担分		785,561,220	62.01%	0.47%	781,851,104	60.19%
維持管理費①'		239,340	0.02%	16.62%	205,224	0.02%
資本費②'		785,321,880	61.99%	0.47%	781,645,880	60.17%
使用料対象経費③		481,314,676	37.99%	△6.92%	517,112,280	39.81%
維持管理費①-①'		382,260,756	30.17%	1.20%	377,735,874	29.08%
資本費②-②'		99,053,920	7.82%	△28.93%	139,376,406	10.73%

(税抜・単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度	
			対前年度比		対前年度比
年間有収水量 (m <sup>3</sup> ) ④		2,088,438	△0.39%	2,096,558	0.96%
汚水処理原価 (円/m <sup>3</sup> ) ③/④		230.47	△6.56%	246.65	△11.20%
維持管理分		183.04	1.59%	180.17	△3.90%
資本費分		47.43	△28.65%	66.48	△64.02%
使用料収入 (円) ⑤		382,690,115	△2.26%	391,522,430	△0.92%
使用料単価 (円/m <sup>3</sup> ) ⑤/④		183.24	△1.88%	186.75	△1.86%

(6) 固定資産の推移

ア 有形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
土地		945,424,130	0.00%	945,424,130
施設用地		945,424,130	0.00%	945,424,130
建物		1,442,680,635	△1.73%	1,468,041,441
施設用建物		1,442,680,635	△1.73%	1,468,041,441
構築物		27,177,167,782	△1.47%	27,582,212,139
排水設備		23,579,174,604	△1.49%	23,936,293,389
処理設備		3,375,851,967	△1.14%	3,414,872,465
その他構築物		222,141,211	△3.85%	231,046,285
機械及び装置		3,299,500,042	△4.24%	3,445,469,991
電気設備		807,225,171	△4.75%	847,447,521
ポンプ設備		402,185,650	△4.85%	422,680,408
滅菌設備		124,734,449	△1.24%	126,298,190
その他機械装置		1,965,354,772	△4.08%	2,049,043,872
車両運搬具		29,900	△81.82%	164,450
工具器具及び備品		6,604,074	3.33%	6,391,293
建設仮勘定		7,108,382	0.00%	7,108,382

(注) 金額は減価償却累計額を減じた純額で掲載している。

イ 無形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
地上権		4,462,553	0.00%	4,462,553
地役権		2,227,455	0.00%	2,227,455
電話加入権		1,872,000	0.00%	1,872,000

## (7) 企業債残高の推移

## ア 借入先別内訳

(単位:円)

借入先	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
財政 金融 資	借入額	-	-	-
	返済額	445,669,635	△0.13%	446,237,142
	年度末未償還残高	8,676,573,464	△4.89%	9,122,243,099
地方 金融 公	借入額	-	-	-
	返済額	253,606,100	2.36%	247,750,936
	年度末未償還残高	4,513,584,488	△5.32%	4,767,190,588
簡易 生命 保	借入額	-	-	-
	返済額	-	-	-
	年度末未償還残高	-	-	-
合 計	借入額	-	-	-
	返済額	699,275,735	0.76%	693,988,078
	年度末未償還残高	13,190,157,952	△5.03%	13,889,433,687

## イ 利率別年度末残高

(単位:円)

利率	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
起債前借		-	-	-
1.0%未満		-	-	-
1.0%以上2.0%未満		3,725,317,118	△4.97%	3,919,982,013
2.0%以上3.0%未満		7,509,437,296	△4.80%	7,888,303,588
3.0%以上4.0%未満		1,257,249,881	△5.69%	1,333,145,883
4.0%以上5.0%未満		698,153,657	△6.66%	748,002,203
5.0%以上6.0%未満		-	-	-
6.0%以上7.0%未満		-	-	-
7.0%以上7.5%未満		-	-	-
7.5%以上8.0%未満		-	-	-
8.0%以上		-	-	-

## (8) 繰入金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
損 益	営業収益	-	-	-
	基準内繰入金	-	-	-
	基準外繰入金	-	-	-
勘 定 繰 入 金	営業外収益	787,894,000	△4.54%	825,397,000
	基準内繰入金	585,760,000	0.04%	585,520,000
	基準外繰入金	202,134,000	△15.73%	239,877,000
入 金	計	787,894,000	△4.54%	825,397,000
	基準内繰入金	585,760,000	0.04%	585,520,000
	基準外繰入金	202,134,000	△15.73%	239,877,000
資本 勘 定 繰 入 金	定繰入金	252,996,000	△2.25%	258,810,000
	基準内繰入金	250,320,000	△2.29%	256,179,000
	基準外繰入金	2,676,000	1.71%	2,631,000
合 計		1,040,890,000	△4.00%	1,084,207,000
	基準内繰入金	836,080,000	△0.67%	841,699,000
	基準外繰入金	204,810,000	△15.55%	242,508,000

## (9) 経営分析

## ア 労働の生産性

項目		平成23年度		平成22年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
平均給与 (千円)	上田市	7,879	↓1,072	8,951	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの職員給与費を示し、高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			7,478		
労働生産性 (千円)	上田市	76,560	↓21,346	97,906	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの営業収益を示し高いほどよい。
	全国平均			60,399		
労働分配率 (%)	上田市	10.29	↑1.15	9.14	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうち、職員に分配される割合を示し高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			12.38		
職員1人あたり有収水量 (ml/人)	上田市	417,688	↓106,452	524,140	$\frac{\text{有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	高いほど効率的な経営がなされていると言える。
	全国平均			377,477		

## イ 施設の効率性

項目		平成23年度		平成22年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
施設利用率 (%)	上田市	57.16	↑0.73	56.43	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	施設の能力のうち、実際に利用されている割合を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			48.79		
負荷率 (%)	上田市	66.83	↓3.64	70.47	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{1日最大処理水量}} \times 100$	高いほどよい。なお、この値が低いとピーク時以外に利用しないう容量が生じ、非効率となる。
	全国平均			59.52		
最大稼働率 (%)	上田市	85.53	↑5.46	80.07	$\frac{\text{1日最大処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	高いほどよいが、100%に近い場合は施設能力が限界に近いため、注意が必要である。
	全国平均			81.97		
有収率 (%)	上田市	95.40	↓1.87	97.27	$\frac{\text{有収水量}}{\text{年間処理水量}} \times 100$	処理水量のうち、実際に使用料収入に結びつく水量の割合。高いほどよい。
	全国平均			89.45		
管渠使用効率 (m/m)	上田市	7.69	↑0.12	7.57	$\frac{\text{年間処理水量}}{\text{管渠総延長}}$	管1mあたり、年間どのくらいの汚水が流れたかをみる指標。高いほど効率的である。
	全国平均			6.11		



ウ 経営資本の効率性及び財政状態の健全性

項目		平成23年度		平成22年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
経営資本 営業利益率 (%)	上田市	△ 1.70	0.00	△ 1.70	$\frac{\text{営業利益}}{\text{平均経営資本}} \times 100$	投下した経営資本と営業利益との関係を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			△ 1.83		
営業収益 営業利益率 (%)	上田市	△ 151.56	↓ 1.43	△ 150.13	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうちどの程度の割合が利益であるのかを示す指標。高いほどよい。
	全国平均			△ 191.44		
経営資本 回転率 (回)	上田市	0.01	0.00	0.01	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均経営資本}}$	投下した経営資本と営業収益との関係を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			0.01		
経常収支比率 (%)	上田市	92.52	↓ 1.43	93.95	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$	経常的な収支の関係を表す指標。100%以上なら経常利益が出ている。高いほどよい。
	全国平均			92.60		
使用料単価 (円/m)	上田市	183.24	↓ 3.51	186.75	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1m当たりの使用料。高いほど使用料水準が高いことを示す。
	全国平均			154.91		
汚水処理原価 (円/m)	上田市	230.47	↓ 16.18	246.65	$\frac{\text{汚水処理費用}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1m当たりの処理費用。高いほど使用料水準を高くする必要がある。
	全国平均			291.03		
企業債 元利償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	261.52	↑ 3.26	258.26	$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	企業債発行額が事業規模に適正かどうかを判断する基準。低いほどよい。
	全国平均			352.10		
企業債 元金償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	182.73	↑ 5.48	177.25	$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債返済に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			237.50		
企業債利息対 料金収入比率 (%)	上田市	78.79	↓ 2.22	81.01	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債利息に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			114.60		
減価償却率 (%)	上田市	1.79	↓ 0.01	1.80	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{減価償却対象資産}} \times 100$	償却資産に投資した資金の回収速度を示す。高いほど回収が早くなる。
	全国平均			1.68		

(注) 平均経営資本=(総資本(負債資本合計)-建設仮勘定-投資)の前年度末当年度末平均

(注) 減価償却費対象資産=有形固定資産+無形固定資産-(土地+建設仮勘定)+減価償却費

項目		平成23年度		平成22年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
固定資産 構成比率 (%)	上田市	96.87	↓ 0.27	97.14	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$	資産合計に対する固定資産の割合を示す指標。低い方が望ましい。
	全国平均			98.55		
自己資本 構成比率 (%)	上田市	60.48	↑ 1.38	59.10	$\frac{\text{資本}}{\text{総資本}} \times 100$	企業の自己資本調達度を判断する指標。50%以上が望ましい。
	全国平均			55.95		
固定比率 (%)	上田市	160.16	↓ 4.21	164.37	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本}} \times 100$	自己資本で固定資産をどの程度賅っているかをみる指標。理論上は100%以下が望ましい。
	全国平均			175.96		
固定負債 構成比率 (%)	上田市	39.42	↓ 1.36	40.78	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本に対する固定負債の割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			43.37		
固定資産 長期資本比率 (%)	上田市	96.96	↓ 0.31	97.27	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本+固定負債}} \times 100$	固定資産への投資の健全性をみる指標。100%以下がよい。
	全国平均			99.13		
流動比率 (%)	上田市	3,155.28	↑ 874.46	2,280.82	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	企業の短期的な支払能力をみる指標。100%以上で高いほどよい。
	全国平均			212.02		
酸性試験比率 (当座比率) (%)	上田市	3,155.28	↑ 874.46	2,280.82	$\frac{\text{現金預金+未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	流動比率よりもさらに即時的な支払能力をみる指標。高いほどよい。
	全国平均			204.89		

(注) この表では、借入資本金を資本ではなく固定負債に分類して算出を行っている。

\* 全国平均は、法適用(財務適用を含む)の農業集落排水事業及び小規模集合排水処理施設事業の平均である。

\* 出典:地方公営企業年鑑

### 3 業務の状況

#### (1) 業務量

年度		平成23年度		平成22年度
			対前年度比	
A	行政区域内人口 (人)	158,693	△0.15%	158,926
B	対象区域内人口 (人)	27,522	△0.65%	27,703
C	整備済人口 (人)	27,522	△0.65%	27,703
D	処理区域内人口 (人)	27,522	△0.65%	27,703
E	水洗化人口 (人)	24,751	0.22%	24,696
C/A	整備率 (対行政区域内) (%)	17.34	/	17.43
C/B	整備率 (対対象区域内) (%)	100.00		100.00
D/A	普及率 (対行政区域内) (%)	17.34	/	17.43
D/B	普及率 (対対象区域内) (%)	100.00		100.00
E/A	水洗化率 (対行政区域内) (%)	15.60	/	15.54
E/B	水洗化率 (対対象区域内) (%)	89.93		89.15
E/D	水洗化率 (対処理区域内) (%)	89.93		89.15
F	処理区域内戸数 (戸)	10,145	1.00%	10,045
G	水洗化戸数 (戸)	8,954	1.90%	8,787
G/F	水洗化率 (%)	88.26	/	87.48
	整備面積 (ha)	1,202.20	0.00%	1,202.20
	処理可能面積 (ha)	1,202.20	0.00%	1,202.20
	使用料調定件数 (件)	53,495	1.35%	52,782
H	年間処理水量 (m <sup>3</sup> )	2,189,222	1.57%	2,155,471
I	年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	2,088,438	△0.39%	2,096,558
I/H	有収率 (%)	95.40	/	97.27

(注) 人口は、外国人登録者を含まない。

## (2) 水洗化人口の推移

(単位:人)

事業・処理区	年度	平成23年度末		平成22年度末	
		水洗化率	対前年度比		
上田農業集落排水事業		16,710	89.1%	0.58%	16,614
下組		579	96.5%	△3.66%	601
仁古田		945	95.6%	△1.36%	958
下之郷		1,254	92.5%	0.88%	1,243
岡		632	89.9%	△2.02%	645
下小島		313	94.0%	8.30%	289
小井田		195	95.6%	△1.52%	198
古安曾		1,758	93.4%	△0.90%	1,774
保野舞田		1,871	93.0%	△1.11%	1,892
豊殿南部		431	86.5%	△1.15%	436
富士山		1,240	93.2%	1.31%	1,224
浦里		1,377	90.5%	△0.51%	1,384
八木沢		892	93.6%	1.25%	881
室賀		1,508	82.3%	2.45%	1,472
林之郷		537	84.2%	0.94%	532
山田		231	95.5%	△0.86%	233
小泉		1,741	89.4%	3.88%	1,676
殿城		1,206	70.6%	2.55%	1,176
丸子農業集落排水事業		1,368	95.8%	△0.94%	1,381
藤原田		361	100.0%	△2.43%	370
荻窪		340	95.0%	△2.58%	349
和子		667	94.1%	0.76%	662
真田農業集落排水事業		3,410	94.5%	0.21%	3,403
本原		1,105	98.9%	△0.72%	1,113
上洗馬		631	97.4%	△4.39%	660
本原南		1,674	90.8%	2.70%	1,630
武石農業集落排水事業		3,231	87.4%	△1.19%	3,270
武石		2,429	89.3%	△0.86%	2,450
本入		465	80.7%	△2.11%	475
余里小沢根		337	84.3%	△2.32%	345
上田小規模集合排水処理施設事業		32	78.0%	14.29%	28
布引		32	78.0%	14.29%	28
計		24,751	89.9%	0.22%	24,696

(注) 人口は、外国人登録者を含まない。

### (3) 加入金の状況

(単位:円)

区分・処理区		期間
一般住宅	下組	平成18年3月6日～
	仁古田	678,000
	岡	
	下之郷	
	下小島	
	小井田	
	古安曾	
	保野舞田	
	豊殿南部	
	富士山	
八木沢		
浦里		
林之郷		
室賀		
山田		
小泉		
殿城		
布引		
	藤原田	660,000
	荻窪	670,000
	和子	550,000
	本原	400,000
	上洗馬	
	本原南	
	武石	
	本入	
	余里小沢根	
その他	全地区	管理者が定める。

### (4) 収納状況の推移

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
					前年との差	
平成22年度	411,098,532	406,542,933	4,555,599	98.89%	0.15	2,011,094
平成23年度	401,824,602	397,579,538	4,245,064	98.94%	0.05	2,069,997

(注) それぞれ、翌年度5月末日時点の数値である。

### (5) 農集排使用料の納付方法(1期当たり平均)

(単位:件)

納付方法	年度	平成23年度	
		件数	構成比
口座振替		5,142	87.66%
直接納付		724	12.34%
コンビニエンスストア		504	8.59%
その他		220	3.75%
合計		5,866	100.00%

(注) 旧上田市で実施していたコンビニ収納を平成18年7月から全地域で始めた。

## 4 施設の状況

### (1) 処理場の状況

処理場名	処理方式	位置	系列数	構造	延べ床面積(m <sup>2</sup> )
下組	JARUS-Ⅲ型	上田市富士山字下川原1742-2	平成22年4月	廃止	
仁古田	JARUS-Ⅲ型	上田市仁古田字花之木477-1	2系列	RC造	168.82
岡	JARUS-Ⅲ型	上田市岡字久保93-1	2系列	RC造	208.07
下之郷	JARUS-OD型	上田市下之郷字西原田436	1系列	RC造	588.43
下小島	JARUS-Ⅲ型	上田市本郷字北沖1170-2	2系列	RC造	201.98
小井田	JARUS-Ⅲ型	上田市芳田字井戸田388-2	1系列	RC造	106.51
古安曾	JARUS-OD型	上田市古安曾字三ヶ沖2585	1系列	RC造	531.91
保野舞田	JARUS-OD型	上田市保野字才勝木981-2	1系列	RC造	524.74
豊殿南部	JARUS-Ⅲ型	上田市漆戸字長峰226-1	2系列	RC造	221.96
富士山	JARUS-Ⅲ型	上田市富士山字上大吹3012	2系列	RC造	277.03
八木沢	JARUS-Ⅲ型	上田市八木沢字久保田1	2系列	RC造	333.12
浦里	JARUS-OD型	上田市越戸字湯道158-1	1系列	RC造	452.70
林之郷	JARUS-XⅣ型	上田市林之郷字中河原482-3	1系列	RC造	415.27
室賀	JARUS-OD型	上田市下室賀字嶽ノ里164-1	1系列	RC造	633.49
山田	JARUS-XⅣ型	上田市山田字長丁473-3	1系列	RC造	131.40
小泉	JARUS-XⅣ型	上田市小泉字醬油久保1302-28	2系列	RC造	478.41
殿城	JARUS-XⅣ型	上田市殿城字川原618	1系列	RC造	508.14
布引	JARUS-S型	上田市下之郷字中布引乙714-4	1系列	RC造	10.00
藤原田	JARUS-Ⅲ型	上田市藤原田794-1	1系列	RC造	143.37
荻窪	JARUS-Ⅲ型	上田市東内3129-1	1系列	RC造	168.78
和子	JARUS-OD型	上田市東内1147	1系列	RC造	253.50
本原	JARUS-Ⅲ型	上田市真田町本原1988-1	1系列	RC造	142.4
上洗馬	JARUS-Ⅲ型	上田市真田町傍陽5107	2系列	RC造	271.5
本原南	JARUS-OD型	上田市真田町本原679-1外	1系列	RC造	261.8
武石	JARUS-OD型	上田市武石沖5番地	1系列	RC造	623.04
本入	JARUS-Ⅲ型	上田市武石下本入93番地1	1系列	RC造	173.29
余里小沢根	JARUS-Ⅲ型	上田市武石小沢根834番地	1系列	RC造	152.95

- ・JARUS-S型 ……(接触ばっ気方式)  
槽内に設置した接触材の表面に好気性微生物を固着させ、ばっ気攪拌により微生物が汚水中の有機物を分解する方式
- ・JARUS-Ⅲ型 ……(嫌気濾床併用接触ばっ気方式)  
「汚水と嫌気性微生物が接触して、汚水中の有機物を分解する方式」と「槽内に設置した接触材の表面に好気性微生物を固着させ、ばっ気攪拌により微生物が汚水中の有機物を分解する方式」を組み合わせた方式
- ・JARUS-OD型 ……(オキシデーションディッチ方式)  
反応槽としての循環水路(OD槽)と沈澱槽から構成され、循環水路内にばっ気装置を設け、これにより汚水と活性汚泥を混合・循環させながら酸素を供給し処理を行う方式
- ・JARUS-XⅣ型 ……(連続流入間欠ばっ気方式)  
汚水の流入を連続で受け入れつつ、ばっ気槽での運転(嫌気・好気)を制御機器等を活用して間欠で行う方式

## (2) 管渠延長等の状況

## ア 管路延長の状況

(単位:m)

処理区	年度	平成23年度		平成22年度 年度末 延長	
		年度末 延長	布設		除却
上田地区	下組	4,333	0	0	4,333
	仁古田	7,426	0	0	7,426
	岡	6,880	0	0	6,880
	下之郷	12,025	0	0	12,025
	下小島	3,568	0	0	3,568
	小井田	2,948	0	0	2,948
	古安曾	20,905	0	0	20,905
	保野舞田	16,053	0	0	16,053
	豊殿南部	5,333	0	0	5,333
	富士山	13,108	0	0	13,108
	八木沢	10,278	0	0	10,278
	浦里	13,718	0	0	13,718
	林之郷	5,182	0	0	5,182
	室賀	21,167	0	0	21,167
	山田	4,283	0	0	4,283
	小泉	21,245	0	0	21,245
	殿城	20,422	0	0	20,422
	布引	506	0	0	506
丸子地区	藤原田	4,295	0	0	4,295
	荻窪	5,138	0	0	5,138
	和子	9,083	0	0	9,083
真田地区	本原	7,424	0	0	7,424
	上洗馬	7,797	0	0	7,797
	本原南	13,755	0	0	13,755
武石地区	武石	27,475	0	0	27,475
	本入	12,735	0	0	12,735
	余里小沢根	7,508	0	0	7,508
合計		284,590	0	0	284,590

イ マンホールポンプの設置状況

(単位:箇所)

処理区	年度	年度末 箇所数	平成23年度		平成22年度 年度末 箇所数
			布設	除却	
上田地区	下組	6	0	0	6
	仁古田	1	0	0	1
	岡	9	0	0	9
	下之郷	10	0	0	10
	下小島	1	0	0	1
	小井田	2	0	0	2
	古安曾	7	0	0	7
	保野舞田	8	0	0	8
	豊殿南部	2	0	0	2
	富士山	6	0	0	6
	八木沢	12	0	0	12
	浦里	6	0	0	6
	林之郷	3	0	0	3
	室賀	9	0	0	9
	山田	4	0	0	4
	小泉	7	0	0	7
	殿城	10	0	0	10
	布引	0	0	0	0
丸子地区	藤原田	0	0	0	0
	荻窪	7	0	0	7
	和子	1	0	0	1
真田地区	本原	0	0	0	0
	上洗馬	0	0	0	0
	本原南	2	0	0	2
武石地区	武石	16	0	0	16
	本入	4	0	0	4
	余里小沢根	8	0	0	8
合計		141	0	0	141

## (3) 処理水量の推移

(単位: m<sup>3</sup>)

処理場名	平成23年度		平成22年度
	平成22年4月	対前年度比	
下組	平成22年4月	廃止	
仁古田	117,271	2.28%	114,661
岡	66,270	△5.33%	70,000
下之郷	165,565	3.16%	160,499
下小島	32,022	△1.51%	32,512
小井田	17,005	△0.46%	17,083
古安曾	148,628	0.44%	147,976
保野舞田	169,512	△2.34%	173,570
豊殿南部	37,375	1.01%	37,003
富士山	112,410	5.49%	106,562
八木沢	73,466	2.69%	71,539
浦里	95,709	2.92%	92,997
林之郷	46,134	2.57%	44,980
室賀	115,573	△1.90%	117,808
山田	26,468	△14.10%	30,811
小泉	151,051	4.39%	144,700
殿城	108,943	1.54%	107,295
布引	5,064	15.99%	4,366
小計	1,488,466	0.96%	1,474,362
丸子地区			
藤原田	28,215	△0.07%	28,236
荻窪	29,305	4.38%	28,075
和子	52,011	0.17%	51,923
小計	109,531	1.20%	108,234
真田地区			
本原	94,693	△3.55%	98,178
上洗馬	47,505	△4.20%	49,587
本原南	157,712	11.07%	141,993
小計	299,910	3.50%	289,758
武石地区			
武石	234,754	1.92%	230,338
本入	33,259	4.37%	31,867
余里小沢根	23,602	12.86%	20,912
小計	291,615	3.00%	283,117
合計	2,189,522	1.58%	2,155,471



## (4) 電力(動力)量の推移

(単位:kwh)

(単位:kwh)

処理区	平成23年度		平成22年度	
		対前年度比		
下組	4月	0	△100.00%	6,021
	5月	0	△100.00%	117
	6月	0		0
	7月	0		0
	8月	0		0
	9月	0		0
	10月	0		0
	11月	0		0
	12月	0		0
	1月	0		0
	2月	0		0
	3月	0		0
	合計	0	△100.00%	6,138
仁古田	4月	11,455	△12.80%	13,137
	5月	13,520	14.82%	11,775
	6月	11,266	39.10%	8,099
	7月	13,020	22.70%	10,611
	8月	13,845	19.66%	11,570
	9月	13,918	30.75%	10,645
	10月	13,028	20.51%	10,811
	11月	11,458	3.76%	11,043
	12月	11,435	10.71%	10,329
	1月	13,003	1.64%	12,793
	2月	10,469	△1.04%	10,579
	3月	9,817	△12.30%	11,194
	合計	146,234	10.29%	132,586
岡	4月	10,418	10.37%	9,439
	5月	10,093	△1.17%	10,213
	6月	8,757	△1.51%	8,891
	7月	10,952	19.90%	9,134
	8月	8,809	△2.87%	9,069
	9月	9,133	17.15%	7,796
	10月	9,893	1.32%	9,764
	11月	8,638	△6.33%	9,222
	12月	8,588	1.95%	8,424
	1月	10,583	△2.76%	10,883
	2月	7,847	1.98%	7,695
	3月	7,273	△13.80%	8,437
	合計	110,984	1.85%	108,967
下之郷	4月	22,833	16.97%	19,520
	5月	22,260	2.06%	21,811
	6月	23,915	3.26%	23,159
	7月	23,410	9.48%	21,383
	8月	23,586	△6.35%	25,186
	9月	23,763	△3.05%	24,511
	10月	22,492	△4.82%	23,631
	11月	22,661	1.51%	22,323
	12月	20,703	0.47%	20,607
	1月	22,128	1.74%	21,750
	2月	22,884	1.26%	22,600
	3月	21,130	2.52%	20,611
	合計	271,765	1.75%	267,092
下小島	4月	7,230	△12.33%	8,247
	5月	8,091	△13.80%	9,386
	6月	7,328	△10.68%	8,204
	7月	8,777	4.29%	8,416
	8月	9,280	△1.12%	9,385
	9月	8,863	7.50%	8,245
	10月	9,444	2.83%	9,184
	11月	8,249	4.66%	7,882
	12月	7,810	△0.56%	7,854
	1月	8,265	△3.16%	8,535
	2月	7,017	3.63%	6,771
	3月	7,182	17.70%	6,102
	合計	97,536	△0.69%	98,211

処理区	平成23年度		平成22年度	
		対前年度比		
小井田	4月	4,628	△1.51%	4,699
	5月	4,751	8.40%	4,383
	6月	4,048	△0.17%	4,055
	7月	4,410	△8.24%	4,806
	8月	4,055	△6.39%	4,332
	9月	4,525	△0.29%	4,538
	10月	4,117	4.10%	3,955
	11月	4,283	4.36%	4,104
	12月	4,230	△3.91%	4,402
	1月	4,728	△5.33%	4,994
	2月	3,832	2.32%	3,745
	3月	4,256	22.40%	3,477
	合計	51,863	0.72%	51,490
古安曾	4月	18,330	△9.21%	20,190
	5月	18,670	△3.86%	19,419
	6月	19,104	△4.78%	20,062
	7月	18,574	△5.61%	19,678
	8月	19,161	△7.14%	20,634
	9月	19,280	△8.44%	21,057
	10月	18,691	△8.26%	20,373
	11月	19,045	829.02%	2,050
	12月	18,431	△4.77%	19,355
	1月	19,077	△3.39%	19,746
	2月	18,703	△5.12%	19,712
	3月	18,717	6.73%	17,537
	合計	225,783	2.72%	219,813
保野舞田	4月	16,630	△3.96%	17,316
	5月	16,295	△1.21%	16,495
	6月	18,023	△0.23%	18,064
	7月	17,665	△5.19%	18,632
	8月	19,121	△2.22%	19,556
	9月	21,235	9.65%	19,367
	10月	20,223	7.30%	18,848
	11月	20,261	15.49%	17,543
	12月	19,643	15.26%	17,042
	1月	20,573	15.90%	17,751
	2月	20,164	14.43%	17,622
	3月	19,030	26.56%	15,036
	合計	228,863	7.31%	213,272
豊殿南部	4月	7,973	1.77%	7,834
	5月	8,098	10.06%	7,358
	6月	6,881	6.35%	6,470
	7月	7,429	△5.36%	7,850
	8月	6,937	△3.83%	7,213
	9月	7,816	3.52%	7,550
	10月	7,096	△0.56%	7,136
	11月	7,281	5.78%	6,883
	12月	6,645	△8.72%	7,280
	1月	7,936	△5.65%	8,411
	2月	6,509	△4.42%	6,810
	3月	7,010	17.56%	5,963
	合計	87,611	0.98%	86,758
富士山	4月	21,292	△1.88%	21,701
	5月	22,993	12.05%	20,521
	6月	17,684	△7.61%	19,140
	7月	24,064	7.07%	22,475
	8月	20,166	3.72%	19,442
	9月	22,716	7.76%	21,081
	10月	20,868	3.51%	20,161
	11月	20,868	4.13%	20,040
	12月	19,917	37.88%	14,445
	1月	22,323	63.54%	13,650
	2月	18,187	98.20%	9,176
	3月	19,887	51.76%	13,104
	合計	250,965	16.76%	214,936

(単位:kwh)

処理区	平成23年度		平成22年度	
		対前年度比		
八木沢	4月	14,298	2.60%	13,936
	5月	14,096	5.85%	13,317
	6月	11,927	△6.04%	12,694
	7月	13,272	△11.67%	15,025
	8月	12,286	△9.03%	13,505
	9月	14,019	△1.72%	14,264
	10月	12,693	△7.05%	13,655
	11月	13,121	△2.86%	13,508
	12月	12,240	△10.19%	13,629
	1月	14,539	△5.55%	15,393
	2月	11,834	△1.90%	12,063
	3月	12,597	16.19%	10,842
合計	156,922	△3.03%	161,831	
浦里	4月	14,999	△4.89%	15,770
	5月	15,897	5.66%	15,045
	6月	16,841	5.12%	16,020
	7月	15,522	0.56%	15,435
	8月	16,239	0.07%	16,228
	9月	16,490	△9.11%	18,143
	10月	15,308	△4.82%	16,083
	11月	15,629	△0.17%	15,655
	12月	15,374	△7.29%	16,583
	1月	15,328	△3.02%	15,806
	2月	15,154	5.98%	14,299
	3月	14,828	7.67%	13,772
合計	187,609	△0.65%	188,839	
林之郷	4月	10,146	38.04%	7,350
	5月	7,159	△0.20%	7,173
	6月	7,437	1.20%	7,349
	7月	7,233	△2.40%	7,411
	8月	7,510	△3.32%	7,768
	9月	7,850	3.22%	7,605
	10月	7,456	3.83%	7,181
	11月	7,441	3.16%	7,213
	12月	7,169	4.84%	6,838
	1月	7,250	△2.45%	7,432
	2月	7,294	△6.14%	7,771
	3月	6,951	0.06%	6,947
合計	90,896	3.25%	88,038	
室賀	4月	16,850	△6.28%	17,980
	5月	16,743	△5.88%	17,789
	6月	17,583	△3.20%	18,164
	7月	17,228	△2.75%	17,716
	8月	17,888	△4.13%	18,658
	9月	18,296	△4.07%	19,073
	10月	16,818	△5.63%	17,822
	11月	17,320	△4.87%	18,207
	12月	16,480	△6.48%	17,621
	1月	17,724	△5.91%	18,837
	2月	17,312	△6.40%	18,496
	3月	15,013	△5.75%	15,929
合計	205,255	△5.10%	216,292	
山田	4月	6,975	9.95%	6,344
	5月	6,982	△0.91%	7,046
	6月	6,367	4.24%	6,108
	7月	7,509	2.92%	7,296
	8月	6,639	△3.45%	6,876
	9月	7,696	5.37%	7,304
	10月	6,451	1.96%	6,327
	11月	6,644	4.56%	6,354
	12月	6,810	7.14%	6,356
	1月	6,939	△4.49%	7,265
	2月	6,231	3.99%	5,992
	3月	7,017	17.16%	5,989
合計	82,260	3.79%	79,257	

(単位:kwh)

処理区	平成23年度		平成22年度	
		対前年度比		
小泉	4月	19,777	△4.13%	20,629
	5月	19,589	△0.68%	19,723
	6月	20,388	△2.30%	20,869
	7月	20,115	△0.78%	20,274
	8月	20,704	△1.78%	21,080
	9月	20,576	△6.32%	21,964
	10月	19,639	△5.75%	20,838
	11月	20,205	△1.50%	20,512
	12月	19,751	△0.92%	19,934
	1月	20,558	1.20%	20,315
	2月	20,467	△1.09%	20,692
	3月	19,016	2.55%	18,544
合計	240,785	△1.87%	245,374	
殿城	4月	18,149	△4.93%	19,090
	5月	17,522	△1.56%	17,799
	6月	18,751	0.63%	18,633
	7月	17,858	△4.24%	18,649
	8月	18,485	△1.32%	18,732
	9月	18,661	△2.25%	19,090
	10月	17,822	△0.66%	17,941
	11月	18,630	2.38%	18,197
	12月	16,902	△5.34%	17,855
	1月	17,682	△8.28%	19,279
	2月	18,676	△1.37%	18,935
	3月	17,532	10.17%	15,913
合計	216,670	△1.56%	220,113	
布引	4月	992	△2.36%	1,016
	5月	1,095	△22.29%	1,409
	6月	986	△22.85%	1,278
	7月	1,352	△1.53%	1,373
	8月	1,136	△27.96%	1,577
	9月	1,115	4.79%	1,064
	10月	1,263	11.18%	1,136
	11月	1,136	40.07%	811
	12月	1,166	8.47%	1,075
	1月	1,457	25.06%	1,165
	2月	1,213	24.67%	973
	3月	1,176	42.03%	828
合計	14,087	2.79%	13,705	
藤原田	4月	5,490	△29.58%	7,796
	5月	5,577	△3.96%	5,807
	6月	5,614	29.77%	4,326
	7月	5,491	△12.65%	6,286
	8月	4,753	△18.84%	5,856
	9月	5,341	△8.59%	5,843
	10月	4,869	5.18%	4,629
	11月	5,279	12.87%	4,677
	12月	4,582	△9.82%	5,081
	1月	5,085	△1.30%	5,152
	2月	4,629	△8.95%	5,084
	3月	4,625	△10.23%	5,152
合計	61,335	△6.63%	65,689	
荻窪	4月	6,646	△29.94%	9,486
	5月	8,396	△15.93%	9,987
	6月	8,343	△0.26%	8,365
	7月	8,560	△0.89%	8,637
	8月	9,079	△6.49%	9,709
	9月	8,570	0.68%	8,512
	10月	9,697	2.22%	9,486
	11月	8,548	1.39%	8,431
	12月	8,628	2.78%	8,395
	1月	10,037	△2.59%	10,304
	2月	8,107	△4.01%	8,446
	3月	8,601	11.56%	7,710
合計	103,212	△3.96%	107,468	

(単位:kwh)

処理区	平成23年度		平成22年度	
		対前年度比		
和子	4月	10,476	8.75%	9,633
	5月	11,233	4.91%	10,707
	6月	9,676	4.47%	9,262
	7月	10,022	1.93%	9,832
	8月	10,505	△5.31%	11,094
	9月	10,146	4.10%	9,746
	10月	10,835	△2.30%	11,090
	11月	9,684	3.99%	9,312
	12月	9,215	△1.83%	9,387
	1月	9,346	△19.47%	11,605
	2月	6,690	△31.45%	9,759
	3月	9,970	10.81%	8,997
	合計	117,798	△2.18%	120,424
本原	4月	15,605	△2.24%	15,962
	5月	13,125	0.83%	13,018
	6月	12,292	△5.35%	12,987
	7月	15,903	△1.65%	16,169
	8月	13,251	3.62%	12,788
	9月	16,406	29.01%	12,717
	10月	13,057	△17.15%	15,759
	11月	13,240	5.25%	12,580
	12月	15,552	3.11%	15,083
	1月	14,239	2.19%	13,933
	2月	13,013	1.42%	12,830
	3月	16,438	26.39%	13,005
	合計	172,121	3.17%	166,831
上洗馬	4月	9,137	0.24%	9,115
	5月	11,232	23.72%	9,079
	6月	8,879	△22.62%	11,474
	7月	9,049	△1.50%	9,186
	8月	11,529	△0.87%	11,630
	9月	9,060	3.19%	8,780
	10月	8,960	1.12%	8,860
	11月	11,092	△1.02%	11,206
	12月	9,683	4.06%	9,305
	1月	11,903	25.39%	9,493
	2月	9,442	△1.32%	9,568
	3月	9,425	△17.78%	11,463
	合計	119,391	0.19%	119,160
本原南	4月	15,097	△1.71%	15,360
	5月	19,786	26.01%	15,702
	6月	15,324	△21.19%	19,443
	7月	15,272	△2.45%	15,656
	8月	19,683	△2.12%	20,110
	9月	15,375	△0.58%	15,464
	10月	15,048	36.03%	11,062
	11月	18,362	1.27%	18,132
	12月	15,635	2.36%	15,275
	1月	18,606	20.52%	15,438
	2月	14,810	△0.44%	14,876
	3月	14,988	△19.82%	18,693
	合計	197,986	1.42%	195,211
武石	4月	25,184	△1.28%	25,510
	5月	25,075	1.91%	24,605
	6月	26,283	2.98%	25,523
	7月	25,687	0.95%	25,445
	8月	26,691	△0.56%	26,842
	9月	26,458	△2.32%	27,086
	10月	25,162	△1.52%	25,551
	11月	26,796	4.13%	25,734
	12月	24,088	△3.37%	24,928
	1月	25,242	△2.39%	25,859
	2月	25,110	△3.30%	25,966
	3月	23,346	1.30%	23,047
	合計	305,122	△0.32%	306,096

(単位:kwh)

処理区	平成23年度		平成22年度	
		対前年度比		
本入	4月	6,327	△4.08%	6,596
	5月	7,356	0.22%	7,340
	6月	6,602	6.52%	6,198
	7月	7,581	8.36%	6,996
	8月	6,735	△9.33%	7,428
	9月	7,764	13.86%	6,819
	10月	6,528	△3.04%	6,733
	11月	6,707	△2.84%	6,903
	12月	6,073	0.03%	6,071
	1月	7,631	△2.57%	7,832
	2月	6,256	2.09%	6,128
	3月	6,505	9.07%	5,964
	合計	82,065	1.30%	81,008
余里小沢根	4月	4,000	9.56%	3,651
	5月	3,867	△3.95%	4,026
	6月	3,505	4.88%	3,342
	7月	4,143	5.88%	3,913
	8月	3,801	0.85%	3,769
	9月	4,226	4.66%	4,038
	10月	3,547	△2.61%	3,642
	11月	3,951	7.16%	3,687
	12月	3,879	10.04%	3,525
	1月	3,938	△6.79%	4,225
	2月	3,751	7.08%	3,503
	3月	4,035	14.99%	3,509
	合計	46,643	4.04%	44,830
合計	4月	320,937	△3.72%	333,328
	5月	329,501	2.63%	321,049
	6月	313,804	△1.37%	318,179
	7月	330,098	0.55%	328,285
	8月	331,874	△2.40%	340,037
	9月	339,298	2.11%	332,301
	10月	321,005	△0.20%	321,658
	11月	326,529	8.05%	302,209
	12月	310,629	1.29%	306,679
	1月	336,120	2.52%	327,847
	2月	305,601	1.84%	300,091
	3月	306,365	6.46%	287,766
	合計	3,871,761	1.37%	3,819,429



# 付録



# 1 長野県内の上下水道料金比較

## (1) 県内19市等上下水道料金一覧表

(口径13mm又は家庭用:1か月:20m<sup>3</sup>使用)

(平成24年4月1日現在・税込・単位:円)

	水道料金		公共下水道使用料		農業集落排水使用料		合計	
長野市	11	2,961円	11	3,373円	11	3,373円	10	6,334円
松本市	16	2,600円	17	3,000円	5	3,670円	16	5,600円
上田市	15	2,619円	5	3,649円	6	3,649円	12	6,268円
岡谷市	18	2,236円	15	3,129円		—	18	5,365円
飯田市	13	2,842円	12	3,270円	12	3,270円	15	6,112円
諏訪市	19	1,728円	18	2,977円		—	19	4,705円
須坂市	6	3,150円	7	3,470円	8	3,470円	6	6,620円
小諸市	12	2,940円	6	3,580円	13	3,250円	9	6,520円
伊那市	3	3,444円	4	3,727円	4	3,727円	3	7,171円
駒ヶ根市	6	3,150円	14	3,150円	16	2,730円	11	6,300円
中野市	6	3,150円	10	3,412円	10	3,412円	7	6,562円
大町市	14	2,730円	8	3,460円	9	3,460円	14	6,190円
飯山市	1	4,100円	8	3,460円	7	3,480円	2	7,560円
茅野市	17	2,467円	19	2,976円		—	17	5,443円
塩尻市	10	2,997円	2	3,814円	2	3,814円	4	6,811円
佐久市	2	3,517円	1	4,305円	1	4,305円	1	7,822円
千曲市	5	3,170円	16	3,097円	15	3,097円	13	6,267円
東御市	4	3,349円	13	3,202円	14	3,202円	8	6,551円
安曇野市	9	3,000円	3	3,780円	3	3,780円	5	6,780円
19市平均		2,955円		3,412円		3,481円		6,367円

(参考)

県水地区		3,170円		3,649円		3,649円		6,819円
------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------

(注) 合計は、水道料金と公共下水道使用料の合計である

## (2) 長野県内の水道使用量別料金比較

	料金体系	口径13mm又は家庭用							
		5m <sup>3</sup>		10m <sup>3</sup>		20m <sup>3</sup>		50m <sup>3</sup>	
長野市	用途別 口径別	12	1,149円	12	1,396円	11	2,961円	7	8,662円
松本市	口径別	10	1,160円	8	1,500円	16	2,600円	14	7,640円
上田市	その他	17	859円	18	1,149円	15	2,619円	15	7,369円
岡谷市	口径別	6	1,334円	7	1,544円	18	2,236円	19	5,491円
飯田市	用途別 口径別	13	1,066円	14	1,362円	13	2,842円	12	7,702円
諏訪市	用途別	19	762円	19	762円	19	1,728円	18	5,949円
須坂市	口径別	14	1,020円	10	1,480円	6	3,150円	9	8,570円
小諸市	口径別 その他	16	900円	11	1,470円	12	2,940円	13	7,660円
伊那市	口径別	7	1,291円	1	1,900円	3	3,444円	3	9,408円
駒ヶ根市	口径別	4	1,350円	3	1,890円	6	3,150円	4	9,110円
中野市	口径別	18	834円	13	1,386円	6	3,150円	10	8,442円
大町市	用途別 口径別	8	1,260円	16	1,260円	14	2,730円	16	7,140円
飯山市	口径別	1	1,900円	1	1,900円	1	4,100円	1	10,700円
茅野市	口径別	9	1,207円	16	1,260円	17	2,467円	17	6,510円
塩尻市	口径別	3	1,392円	4	1,787円	10	2,997円	6	8,777円
佐久水道企業団	用途別 口径別	11	1,155円	5	1,680円	2	3,517円	5	9,030円
千曲市	口径別	4	1,350円	15	1,350円	5	3,170円	8	8,630円
東御市	その他	15	997円	6	1,669円	4	3,349円	2	9,649円
安曇野市	口径別	2	1,500円	8	1,500円	9	3,000円	11	8,100円
19市平均	——		1,183円		1,487円		2,955円		8,134円

長和町	——		924円		1,207円		2,625円		8,200円
立科町	用途別		1,554円		1,554円		3,330円		9,320円
青木村	——		1,430円		1,880円		3,830円		9,680円

(参考)

県水地区	口径別		1,350円		1,350円		3,170円		8,630円
------	-----	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------

(注1) 料金体系の「その他」は、用途別・口径別以外の体系があることを示す。



(平成24年4月1日現在・1ヶ月料金・税込)

口径50mm又は工場用								現行料金 適用年月日	平均 改定率
100m <sup>3</sup>		200m <sup>3</sup>		500m <sup>3</sup>		1,000m <sup>3</sup>			
11	27,877 円	9	53,497 円	3	130,357 円	2	258,457 円	平成22年6月1日	7.71%
4	37,800 円	6	54,600 円	11	105,000 円	13	189,000 円	平成19年8月1日	△5.56%
7	33,579 円	11	50,879 円	13	102,779 円	12	189,279 円	平成21年4月1日	△1.00%
1	47,197 円	3	58,747 円	15	93,397 円	19	151,147 円	平成11年4月1日	9.80%
15	23,586 円	16	39,786 円	17	88,386 円	18	169,386 円	平成20年4月1日	5.77%
19	15,996 円	19	33,846 円	18	87,396 円	16	176,646 円	平成16年4月1日	11.30%
8	31,350 円	10	53,080 円	7	118,290 円	5	231,160 円	平成8年5月1日	27.90%
13	24,710 円	14	44,660 円	12	104,510 円	8	214,760 円	平成14年6月1日	8.20%
2	43,585 円	1	66,055 円	2	133,465 円	3	245,815 円	平成22年10月1日	0.00%
5	35,820 円	4	56,720 円	4	125,700 円	9	212,950 円	平成10年6月1日	4.92%
10	29,736 円	8	53,571 円	5	125,076 円	4	244,251 円	平成24年4月1日	0.00%
17	18,270 円	18	35,070 円	19	85,470 円	17	169,470 円	平成15年4月1日	7.07%
14	23,800 円	13	45,800 円	8	111,800 円	7	221,800 円	平成13年9月1日	10.90%
9	29,925 円	12	48,825 円	10	105,525 円	11	200,025 円	平成14年7月1日	△6.00%
3	40,487 円	2	61,487 円	6	124,487 円	6	229,487 円	平成19年10月20日	△5.13%
6	35,752 円	7	54,127 円	9	109,252 円	10	201,127 円	平成24年4月1日	△3.00%
18	17,730 円	17	35,930 円	16	90,530 円	15	181,530 円	平成17年4月1日	18.50%
16	23,299 円	5	54,799 円	1	149,299 円	1	306,799 円	平成11年5月1日	12.70%
12	25,600 円	15	43,600 円	14	97,600 円	14	187,600 円	平成22年9月1日	△0.70%
	29,795 円		49,741 円		109,912 円		209,510 円	—	—

	—		—		—		—	平成21年4月1日	0.00%
	21,210 円		45,990 円		125,370 円		272,370 円	平成22年4月1日	△5.38%
	19,430 円		38,930 円		97,430 円		194,930 円	平成18年4月1日	5.00%

	17,730 円		35,930 円		90,530 円		181,530 円	平成14年4月1日	8.50%
--	----------	--	----------	--	----------	--	-----------	-----------	-------

(3) 長野県内の公共下水道使用量別使用料比較

		使用料体系	5m <sup>3</sup>		10m <sup>3</sup>		20m <sup>3</sup>		50m <sup>3</sup>	
長野市	従量制	従量制	12	1,420円	9	1,746円	11	3,373円	11	8,949円
松本市	従量制	従量制	14	1,380円	17	1,380円	17	3,000円	15	8,400円
上田市	従量制	従量制	6	1,574円	5	1,919円	5	3,649円	10	9,079円
岡谷市	従量制	従量制	11	1,449円	16	1,449円	15	3,129円	14	8,442円
飯田市	従量制	従量制	17	1,185円	14	1,505円	12	3,270円	3	10,340円
諏訪市	従量制	従量制	15	1,371円	18	1,371円	18	2,977円	17	8,112円
須坂市	従量制	従量制	18	1,120円	10	1,620円	7	3,470円	9	9,460円
小諸市	従量制	従量制	19	890円	7	1,780円	6	3,580円	8	9,530円
伊那市	従量制	従量制	1	2,047円	2	2,047円	4	3,727円	5	10,027円
駒ヶ根市	従量制	従量制	9	1,520円	3	1,990円	14	3,150円	12	8,630円
中野市	従量制	従量制	8	1,522円	13	1,522円	10	3,412円	4	10,258円
大町市	従量制	従量制	7	1,570円	12	1,570円	8	3,460円	6	9,660円
飯山市	従量制	従量制	13	1,400円	4	1,940円	8	3,460円	13	8,480円
茅野市	従量制	従量制	16	1,370円	19	1,370円	19	2,976円	18	8,111円
塩尻市	従量制	従量制	4	1,764円	8	1,764円	2	3,814円	2	10,704円
佐久市	従量制	従量制	2	1,890円	1	2,625円	1	4,305円	1	11,655円
千曲市	従量制	従量制	10	1,470円	15	1,470円	16	3,097円	19	8,085円
東御市	従量制	従量制	5	1,575円	11	1,575円	13	3,202円	16	8,295円
安曇野市	従量制	従量制	2	1,890円	6	1,890円	3	3,780円	6	9,660円
19市平均	—	—		1,495円		1,712円		3,412円		9,257円
長和町	従量制	従量制		1,176円		1,575円		3,570円		14,847円
坂城町	従量制	従量制		1,470円		1,470円		3,098円		8,085円
立科町	従量制	従量制		2,200円		2,830円		4,090円		7,870円
青木村	従量制	従量制		1,550円		1,955円		3,975円		10,035円

(平成24年4月1日現在・1ヶ月料金・税込)

100m <sup>3</sup>		200m <sup>3</sup>		500m <sup>3</sup>		1,000m <sup>3</sup>		現行料金 適用年月日	平均 改定率
9	19,816 円	9	44,596 円	6	124,396 円	6	272,446 円	平成18年6月1日	8.00%
11	18,630 円	10	40,680 円	10	110,190 円	10	228,840 円	平成13年4月1日	9.40%
12	18,579 円	15	38,079 円	17	97,379 円	18	196,879 円	平成21年4月1日	0.00%
13	18,417 円	14	38,367 円	16	98,217 円	16	197,967 円	平成10年4月1日	0.00%
2	23,840 円	2	53,440 円	2	145,240 円	2	300,240 円	平成22年4月1日	7.80%
15	17,719 円	12	38,719 円	11	104,659 円	11	220,684 円	平成21年4月1日	9.84%
6	21,480 円	6	45,530 円	9	117,660 円	9	242,610 円	平成16年4月1日	10.44%
7	20,710 円	7	45,390 円	7	119,410 円	7	256,440 円	平成18年7月20日	0.00%
5	22,627 円	4	50,452 円	4	138,127 円	4	287,752 円	平成23年4月1日	14.50%
14	18,290 円	16	37,610 円	14	101,870 円	14	208,970 円	平成6年11月30日	0.00%
4	23,278 円	5	49,948 円	5	131,638 円	5	276,538 円	平成19年4月1日	0.00%
8	20,680 円	8	44,830 円	8	119,380 円	8	250,630 円	平成19年6月1日	7.70%
18	17,430 円	18	36,430 円	15	99,630 円	13	212,630 円	平成24年4月1日	1.80%
16	17,718 円	13	38,718 円	12	104,658 円	12	220,683 円	平成22年4月1日	10.32%
3	23,604 円	3	52,504 円	3	143,404 円	3	298,404 円	平成19年10月20日	5.06%
1	25,305 円	1	54,705 円	1	147,105 円	1	315,105 円	平成24年4月1日	0.00%
19	16,747 円	19	34,597 円	19	89,197 円	19	181,072 円	平成15年9月1日	0.00%
17	17,482 円	17	37,432 円	18	97,282 円	17	197,032 円	平成18年4月1日	△5.90%
10	19,635 円	11	40,635 円	13	103,635 円	15	208,635 円	平成22年10月1日	——
	20,105 円		43,298 円		115,425 円		240,714 円	——	——
	31,122 円		63,672 円		161,322 円		324,072 円	平成17年10月1日	0.00%
	16,748 円		34,598 円		89,198 円		181,073 円	平成12年3月22日	——
	14,170 円		26,770 円		64,570 円		127,570 円	平成8年3月15日	0.00%
	20,135 円		40,335 円		100,935 円		201,935 円	平成18年4月1日	——

(4) 長野県内の農業集落排水使用量別使用料比較

		使用料体系			5m <sup>3</sup>		10m <sup>3</sup>		20m <sup>3</sup>		50m <sup>3</sup>	
長野市	従 累 量 進 制	量 進 制	制	13	1,420 円	10	1,746 円	11	3,373 円	10	8,949 円	
松本市	従 累 定	量 進 額	制 制 制	3	2,100 円	4	2,620 円	5	3,670 円	14	6,300 円	
上田市	従 累 量 進 制	量 進 制	制	9	1,574 円	7	1,919 円	6	3,649 円	9	9,079 円	
飯田市	従 累 量 進 制	量 進 制	制	15	1,185 円	15	1,505 円	12	3,270 円	3	10,340 円	
須坂市	従 累 量 進 制	量 進 制	制	16	1,120 円	11	1,620 円	8	3,470 円	8	9,460 円	
小諸市	定 額 制	額 制	制	1	3,250 円	1	3,250 円	13	3,250 円	15	3,250 円	
伊那市	従 累 量 進 制	量 進 制	制	4	2,047 円	5	2,047 円	4	3,727 円	5	10,027 円	
駒ヶ根市	定 額 制	額 制	制	2	2,730 円	2	2,730 円	16	2,730 円	16	2,730 円	
中野市	従 累 量 進 制	量 進 制	制	11	1,522 円	14	1,522 円	10	3,412 円	4	10,258 円	
大町市	従 累 量 進 制	量 進 制	制	10	1,570 円	13	1,570 円	9	3,460 円	6	9,660 円	
飯山市	従 累 量 進 制	量 進 制	制	14	1,390 円	6	1,970 円	7	3,480 円	11	8,330 円	
塩尻市	従 累 定	量 進 額	制 制 制	7	1,764 円	9	1,764 円	2	3,814 円	2	10,704 円	
佐久市	従 累 量 進 制	量 進 制	制	5	1,890 円	3	2,625 円	1	4,305 円	1	11,655 円	
千曲市	従 累 量 進 制	量 進 制	制	12	1,470 円	16	1,470 円	15	3,097 円	13	8,085 円	
東御市	従 累 量 進 制	量 進 制	制	8	1,575 円	12	1,575 円	14	3,202 円	12	8,295 円	
安曇野市	従 累 量 進 制	量 進 制	制	5	1,890 円	8	1,890 円	3	3,780 円	6	9,660 円	
19市平均	—				1,781 円		1,989 円		3,481 円		8,549 円	
立科町	従 定	量 額	制 制		2,200 円		2,830 円		4,090 円		7,870 円	

(参考)

(注1) 駒ヶ根市は、使用口数が最も多い地区の料金。

(平成24年4月1日現在・1ヶ月料金・税込)

100m <sup>3</sup>		200m <sup>3</sup>		500m <sup>3</sup>		1,000m <sup>3</sup>		現行料金 適用年月日	平均 改定率
8	19,816 円	8	44,596 円	6	124,396 円	6	272,446 円	平成21年4月1日	——
14	10,500 円	14	18,900 円	14	44,100 円	14	86,100 円	平成13年4月1日	6.10%
10	18,579 円	10	38,079 円	10	97,379 円	11	196,879 円	平成21年4月1日	0.00%
2	23,840 円	2	53,440 円	2	145,240 円	2	300,240 円	平成22年4月1日	7.80%
6	21,480 円	6	45,530 円	8	117,660 円	8	242,610 円	平成16年4月1日	10.44%
15	3,250 円	15	3,250 円	15	3,250 円	15	3,250 円	平成9年10月1日	——
5	22,627 円	4	50,452 円	4	138,127 円	4	287,752 円	平成23年4月1日	14.50%
16	2,730 円	16	2,730 円	16	2,730 円	16	2,730 円	平成16年8月1日	——
4	23,278 円	5	49,948 円	5	131,638 円	5	276,538 円	平成19年4月1日	——
7	20,680 円	7	44,830 円	7	119,380 円	7	250,630 円	平成19年6月1日	6.00%
13	16,630 円	13	33,830 円	13	88,330 円	12	181,830 円	平成24年4月1日	2.10%
3	23,604 円	3	52,504 円	3	143,404 円	3	298,404 円	平成19年10月20日	5.06%
1	25,305 円	1	54,705 円	1	147,105 円	1	315,105 円	平成24年4月1日	0.00%
12	16,747 円	12	34,597 円	12	89,197 円	13	181,072 円	平成23年1月1日	0.00%
11	17,482 円	11	37,432 円	11	97,282 円	10	197,032 円	平成18年4月1日	5.30%
9	19,635 円	9	40,635 円	9	103,635 円	9	208,635 円	平成22年10月1日	——
	17,886 円		37,841 円		99,553 円		206,328 円	——	——
	14,170 円		26,770 円		64,570 円		127,570 円	平成5年4月1日	——

## 2 長野県内の上下水道事業の経営の状況

### (1) 水道事業

経営(事業)主体	給水人口 (人)	普及率 (対給水区域内人口) (%)	年間 総配水量 (千 $\text{m}^3$ )	年間 有収水量 (千 $\text{m}^3$ )	有収率		給水収益 (千円)	経常損益 (千円)	当年度 純損益 (千円)
						(%)			
長野県	190,507	100.00	21,140.68	18,739.18	1	88.64	3,209,576	383,416	383,416
長野市	281,982	99.82	35,457.93	31,254.43	2	88.15	5,811,323	839,540	815,287
松本市	238,588	100.00	30,095.94	26,254.32	3	87.24	4,256,759	341,248	336,077
上田市	138,149	99.77	18,067.85	15,196.80	9	84.11	2,331,213	206,845	206,766
岡谷市	53,048	100.00	6,889.91	5,866.95	6	85.15	803,269	54,779	69,491
飯田市	103,252	98.88	11,794.99	9,842.78	11	83.45	1,518,224	3,278	2,117
諏訪市	51,712	100.00	9,049.78	7,541.18	12	83.33	870,383	60,570	57,343
須坂市	52,487	99.01	6,387.73	5,463.83	5	85.54	1,046,321	227,053	227,498
小諸市	42,924	99.47	5,956.46	4,861.40	13	81.62	817,283	106,333	106,333
伊那市	67,357	100.00	9,264.10	6,996.30	18	75.52	1,375,177	30,268	19,172
駒ヶ根市	33,460	100.00	4,003.49	3,490.82	4	87.19	675,769	33,850	26,103
中野市	45,887	97.60	5,479.27	4,650.89	7	84.88	819,494	106,693	104,100
大町市	27,595	100.00	4,067.11	2,962.96	20	72.85	445,053	40,218	38,724
飯山市	17,847	100.00	2,605.65	1,932.38	19	74.16	418,944	55,009	55,009
茅野市	55,024	100.00	9,188.79	7,219.46	16	78.57	1,110,163	229,693	231,644
塩尻市	65,245	99.93	8,725.15	6,942.25	15	79.57	1,291,812	19,392	18,749
千曲市	5,562	74.85	664.30	530.46	14	79.85	90,910	409	122
東御市	28,484	100.00	3,704.54	3,133.58	8	84.59	627,664	55,399	50,797
安曇野市	98,346	100.00	13,100.41	10,078.22	17	76.93	1,779,432	115,790	112,564
佐久水道企業団	120,827	99.77	16,259.26	13,604.38	10	83.67	2,841,131	720,674	717,651
長和町	7,054	100.00	1,134.39	812.36		71.61	—	—	—
立科町	8,115	99.99	1,728.46	1,141.90		66.06	239,409	26,504	27,192
青木村	4,762	100.00	506.73	409.48		80.81	—	—	—

(注1) 有収率・労働生産性・施設利用率・経営資本経常利益率・自己資本構成比率の左欄は、県・市及び企業団で比較した順位を示す。

(注2) 長和町・青木村は、地方公営企業法を適用していない。

数値は、平成23年度又は平成24年3月31日現在

企業債残高 (千円)	供給単価 (円/㎡)	給水原価 (円/㎡)	所属職員数			労働生産性 (千円)		施設利用率 (%)		経営資本 営業利益率 (%)		自己資本 構成比率 (%)	
			損益勘定 (人)	資本勘定 (人)	計 (人)								
23,147,894	171.28	158.72	28	17	45	3	116,790	5	61.97	6	2.05	19	51.61
30,635,639	185.94	180.70	101	21	122	14	57,956	12	57.32	11	1.34	18	53.06
9,584,702	162.14	159.45	56	10	66	8	80,860	8	59.93	9	1.49	5	72.63
9,619,293	153.40	151.16	48	8	56	16	48,920	17	54.65	14	0.95	8	66.00
1,702,180	136.91	128.96	14	2	16	15	57,809	18	53.78	8	1.55	4	75.49
8,948,006	154.25	191.58	18	3	21	7	89,233	3	68.98	20	△ 0.14	12	62.78
2,414,569	115.42	107.35	20	0	20	19	44,315	16	54.86	10	1.46	10	64.96
4,585,581	191.50	166.97	19	4	23	13	58,133	10	58.57	4	2.11	6	68.85
2,592,662	168.12	158.22	19	0	19	18	45,587	9	59.61	3	2.20	11	64.35
7,082,689	196.56	202.15	15	6	21	6	92,766	19	48.06	16	0.89	16	60.01
3,191,591	193.58	188.98	10	0	10	11	69,185	15	54.97	12	1.10	17	56.08
4,493,886	176.20	161.48	6	4	10	1	140,584	11	58.52	7	1.56	15	60.84
2,288,855	150.21	156.84	11	3	14	20	43,204	6	61.74	15	0.91	7	66.87
1,956,883	216.80	203.63	6	0	6	10	75,623	1	78.23	13	1.02	13	62.01
1,207,831	153.77	127.83	15	5	20	9	76,468	7	61.42	17	0.80	1	89.96
5,214,934	186.08	201.67	13	6	19	4	106,439	4	66.65	18	0.71	9	65.11
169,644	171.38	176.58	2	1	3	17	46,219	20	42.01	19	0.17	2	88.52
3,925,147	200.30	185.61	5	1	6	2	127,435	13	57.26	2	2.32	20	46.93
10,879,926	176.56	180.15	19	0	19	5	101,218	14	55.49	5	2.08	14	61.42
6,484,257	208.84	170.98	44	5	49	12	68,545	2	77.16	1	2.87	3	75.73
—	164.37	187.98	1	0	1		—		33.74		—		—
969,843	209.66	205.76	3	0	3		81,877		39.32		0.53		79.00
—	218.22	275.94	1	0	1		—		56.63		—		—

## (2) 公共下水道事業

	経営(事業)主体	水洗化人口 (人)	水洗化率 (対処理区域内人口) (%)	年間汚水 処理水量 (m <sup>3</sup> )	年間 有収水量 (m <sup>3</sup> )	有収率		下水道 使用料 (千円)	経常損益 (千円)	当年度 純損益 (千円)
							(%)			
法 適 用	長野市	324,503	94.31	38,817,228	35,589,077	6	91.68	6,798,111	△ 74,382	450
	松本市	222,323	95.47	37,643,607	28,552,567	15	75.85	4,910,677	582,573	582,926
	上田市	114,610	88.53	14,470,510	12,609,991	8	87.14	2,357,035	144,981	144,968
	岡谷市	51,299	96.97	8,141,963	6,106,880	16	75.01	1,040,609	79,556	75,924
	伊那市	33,032	74.27	3,824,792	3,802,347	5	99.41	801,110	△ 29,007	△ 33,372
	駒ヶ根市	14,386	77.30	2,128,555	1,813,390	10	85.19	331,969	△ 83,521	△ 88,659
	茅野市	52,876	98.60	9,023,792	6,762,597	17	74.94	1,180,825	105,137	105,137
	塩尻市	57,126	95.59	7,732,950	6,190,867	13	80.06	1,369,544	98,745	88,012
	千曲市	43,461	76.51	4,757,769	4,757,769	2	100.00	769,548	△ 58,343	△ 62,146
	須坂市	44,040	92.17	4,513,604	4,513,604	2	100.00	860,729	176,962	176,962
	東御市	17,928	92.15	2,251,021	1,903,012	11	84.54	311,729	128,971	124,602
	佐久市	50,598	93.83	6,513,598	5,612,284	9	86.16	1,349,039	72,966	49,920
	諏訪市	49,387	96.18	10,008,613	7,692,242	14	76.86	1,334,277	329,396	325,342
法 非 適 用	飯田市	76,304	87.72	11,716,426	8,034,553	19	68.58	—	—	—
	小諸市	24,391	85.95	2,492,301	2,172,351	7	87.16	—	—	—
	中野市	26,542	84.46	3,150,044	2,586,972	12	82.12	—	—	—
	大町市	13,803	64.16	1,324,063	1,638,388	1	123.74	—	—	—
	飯山市	15,192	88.19	2,214,097	1,625,226	18	73.40	—	—	—
	安曇野市	75,359	89.81	7,023,901	7,023,901	2	100.00	—	—	—
	長和町	5,893	96.21	616,329	541,745		87.90	—	—	—
	坂城町	6,964	65.19	587,701	587,701		100.00	—	—	—
	立科町	2,231	86.01	258,803	264,981		102.39	—	—	—
	青木村	4,013	95.07	296,250	296,250		100.00	—	—	—

(注1) 有収率の左欄は、19市で比較した順位を示す。

(注2) 労働生産性・経営資本経常利益率・自己資本構成比率の左欄は、法適用事業体で比較した順位を示す。

(注3) 施設利用率の左欄は、19市かつ自己処理を行っている事業体で比較した順位を示す。

(注4) 佐久市の数値は、地方公営企業法を適用していない事業を除く。

(注5) 上記によるもののほか、公共・特環・特地を含む。

(注6) 水洗化人口、水洗化率は外国人を含む。



数値は、平成23年度又は平成24年3月31日現在

企業債残高 (千円)	使用料単価 (円/㎡)	汚水処理 原価 (円/㎡)	所属職員数			労働生産性 (千円)	施設利用率 (%)	経営資本 営業利益率 (%)	自己資本 構成比率 (%)				
			損益勘定 (人)	資本勘定 (人)	計 (人)								
110,348,799	191.02	200.92	36	33	69	3	201,130	3	67.32	3	0.11	3	53.45
53,085,444	171.99	155.89	35	7	42	8	141,286	4	66.19	1	0.50	1	60.06
59,301,385	186.92	170.41	13	13	26	5	181,375	10	50.25	8	△ 0.77	6	48.15
12,561,217	170.40	142.83	9	1	10	9	115,885		——	6	△ 0.04	4	50.57
32,143,762	210.69	201.74	14	7	21	12	58,300	9	52.11	10	△ 0.85	12	36.16
9,996,888	183.07	176.09	3	5	8	11	110,851	8	56.28	9	△ 0.82	5	50.53
20,904,990	174.61	146.46	8	4	12	6	153,283		——	12	△ 0.94	11	37.29
25,013,925	221.22	206.02	8	3	11	4	184,995	6	63.80	2	0.20	7	47.72
32,192,323	161.75	172.55	8	7	15	10	113,318		——	11	△ 0.87	10	39.73
23,106,472	190.70	164.27	2	5	7	1	431,259		——	7	△ 0.39	13	28.64
10,537,201	163.81	112.99	6	1	7	13	53,290	13	44.58	13	△ 1.11	9	46.93
20,789,634	240.37	225.33	9	9	18	7	151,607	5	65.85	4	0.11	2	58.90
18,079,983	173.46	174.31	6	5	11	2	221,656		——	5	0.08	8	47.52
——	206.16	253.51	14	11	25		——	2	67.53		——		——
——	185.44	251.44	2	6	8		——	7	57.14		——		——
——	205.86	252.55	5	4	9		——	11	49.40		——		——
——	204.28	217.22	6	5	11		——	12	46.38		——		——
——	181.76	259.98	4	0	4		——	14	38.84		——		——
——	202.03	273.76	9	3	12		——		654.52		——		——
——	224.37	214.86	3	1	4		——		44.06		——		——
——	165.87	169.84	0	4	4		——		——		——		——
——	186.36	189.84	0	0	0		——		42.67		——		——
——	211.42	312.61	1	0	1		——		44.12		——		——

(3) 農業集落排水事業

	経営(事業) 主体	水洗化人口 (人)	水洗化率 (対処理区域内人 口) (%)	年間汚水 処理水量 (m <sup>3</sup> )	年間 有収水量 (m <sup>3</sup> )	有収率		下水道 使用料 (千円)	経常損益 (千円)	当年度 純損益 (千円)
							(%)			
法 適 用	長野市	7,652	88.56	724,293	602,111	15	83.13	110,081	△ 276	0
	上田市	24,918	89.70	2,189,222	2,088,438	8	95.40	382,690	△ 94,700	△ 94,700
	須坂市	2,728	94.07	197,103	197,103	2	100.00	34,841	3,455	3,455
	伊那市	11,092	90.34	963,520	1,033,686	1	107.28	203,479	△ 31,999	△ 33,259
	塩尻市	6,044	90.52	543,220	498,400	11	91.75	100,423	5,350	6,704
	千曲市	4,492	87.14	462,783	407,582	14	88.07	64,520	△ 21,893	△ 21,907
	東御市	8,172	90.99	686,942	653,906	10	95.19	106,779	26,069	25,757
法 非 適 用	松本市	1,320	97.78	133,721	133,721	2	100.00	—	—	—
	飯田市	5,775	90.45	566,788	513,801	12	90.65	—	—	—
	小諸市	7,255	77.56	615,247	615,247	2	100.00	—	—	—
	駒ヶ根市	10,535	91.90	1,010,250	1,010,250	2	100.00	—	—	—
	中野市	10,437	77.32	836,847	797,106	9	95.25	—	—	—
	大町市	921	85.67	97,040	75,386	16	77.69	—	—	—
	飯山市	5,517	90.50	572,189	509,768	13	89.09	—	—	—
	佐久市	10,179	89.17	883,492	844,723	7	95.61	—	—	—
	安曇野市	2,657	87.86	227,577	227,577	2	100.00	—	—	—
	立科町	2,958	90.99	253,628	244,688		96.48	—	—	—

(注1) 有収率・施設利用率の左欄は、19市で比較した順位を示す。

(注2) 労働生産性・経営資本経常利益率・自己資本構成比率の左欄は、法適用事業体で比較した順位を示す。

数値は、平成23年度又は平成24年3月31日現在

企業債残高 (千円)	使用料単価 (円/㎡)	汚水処理 原価 (円/㎡)	所属職員数			労働生産性 (千円)	施設利用率 (%)		経営資本 営業利益率 (%)		自己資本 構成比率 (%)		
			損益勘定 (人)	資本勘定 (人)	計 (人)								
8,570,650	182.83	297.07	4	0	4	7	27,575	9	53.76	7	△ 2.17	7	54.00
13,190,158	183.24	230.47	5	0	5	4	76,560	5	57.16	5	△ 1.70	3	60.48
1,254,819	176.77	190.34	1	0	1	6	34,855	14	48.17	6	△ 1.72	6	54.27
5,881,108	196.85	171.88	1	0	1	1	203,927	10	53.19	3	△ 1.02	5	58.03
3,417,459	201.49	190.94	1	0	1	3	100,513	4	57.21	4	△ 1.44	4	60.23
1,062,580	158.30	194.31	1	0	1	5	66,677	1	71.26	1	△ 1.01	1	74.30
2,968,804	163.29	123.99	1	0	1	2	106,785	7	57.05	2	△ 1.02	2	66.21
——	162.02	173.44	0	0	0		——	11	49.44		——		——
——	193.85	252.88	3	0	3		——	15	46.61		——		——
——	156.86	253.49	3	0	3		——	2	68.42		——		——
——	153.23	231.99	3	0	3		——	6	57.12		——		——
——	191.68	191.68	1	1	2		——	16	42.65		——		——
——	192.16	215.07	0	0	0		——	12	48.98		——		——
——	183.36	232.47	1	0	1		——	8	54.96		——		——
——	262.22	304.82	2	0	2		——	3	57.48		——		——
——	201.25	209.74	0	0	0		——	13	48.26		——		——
——	208.02	211.46	1	0	1		——		45.07		——		——

### 3 上下水道指定工事店の状況

#### (1) 指定工事事業者の推移

指定年月日	給水装置工事事業者			下水道指定工事店			指定工事店計
	新規指定	継続指定	合計	新規指定	継続指定	合計	
平成18年3月6日			275			354	392
4月1日	4	275	279	3	354	357	395
19年4月1日	10	273	283	4	347	351	399
20年4月1日	8	274	282	7	318	325	377
21年4月1日	6	277	283	5	305	310	368
22年4月1日	12	283	295	10	292	302	370
23年4月1日	5	293	298	2	287	289	369
24年4月1日	6	298	304	9	276	285	363

(注) 指定工事店計の欄は、給水装置工事事業者、下水道指定工事店いずれかの指定を受けている者の合計である。

#### (2) 指定工事事業者指定基準

##### ア 給水装置工事事業者

[指定の基準]・・・上田市水道条例第5条第2項及び上田市指定給水装置工事事業者規程

(指定の基準)

第3条 管理者は、前条第1項の指定の申請をしたものが次の各号のいずれにも適合していると認めるときは、同項の指定をしなければならない。

- (1) 事業所ごとに第10条第1項の規定により主任技術者として選任されることとなる者を置く者であること。
- (2) 次に定める機械器具を有する者であること。
  - ア 金切りのこその他の管の切断用の機械器具
  - イ やすり、パイプねじ切り器その他の管の加工用の機械器具
  - ウ トーチランプ、パイプレンチその他の接合用の機械器具
  - エ 水圧テストポンプ
- (3) 次のいずれにも該当しない者であること。
  - ア 成年被後見人若しくは被保佐人又は破産者で復権を得ない者
  - イ 法に違反して、刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
  - ウ 第6条の規定により指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過しない者
  - エ その業務に関し不正又は不誠実な行為をするおそれがあると認めるに足りる相当の理由がある者
  - オ 法人にあって、その役員のうちアからエまでのいずれかに該当する者があるもの

##### イ 下水道指定工事店

[指定の基準]・・・上田市下水道条例

(指定の基準)

第11条 管理者は、前条第1項の申請をした者が次の各号のいずれにも適合していると認めるときは、同項の指定を行う。

- (1) 第13条第1項の規定により責任技術者として登録を受けた者が1人以上常勤していること。
- (2) 営業に必要な設備及び機材を備えていること。
- (3) 長野県内又は管理者の指定する地域に営業所があること。
- (4) 次のいずれにも該当しない者であること。
  - ア 成年被後見人若しくは被保佐人又は破産者で復権を得ないもの
  - イ 第20条の規定により指定工事店の指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過していない者
  - ウ その業務に関し不正又は不誠実な行為をするおそれがあると認めるに足りる相当の理由がある者
  - エ 法人にあっては、その役員のうちアからウまでのいずれかに該当する者があるもの

## 表紙:上下水道局イメージキャラクター「あかりちゃん」

上下水道局では、多くの皆様に親しみを感じていただくため、清流に住むゲンジボタルをイメージしたキャラクターを誕生させました。市民の皆様から御応募いただいた中から選考の結果、「あかりちゃん」と名付けられました。

### ～プロフィール～

性別年齢 : 不明  
性格 : おとなしいが、とにかく明るい  
特技 : 皆にすぐ可愛がられること  
趣味 : むし暑い日の夜の散歩  
夢 : 全ての川や湖がいつまでもきれいなこと  
住所 : 上田市内のきれいな某水辺

